

# 瀬戸内市市民まちづくり意識調査

－ 報告書 －

平成24年7月

瀬戸内市

# ～ 目 次 ～

<b>I</b>	<b>調査の概要</b>	1
<b>II</b>	<b>回答者の属性</b>	3
	1. 性別	3
	2. 年齢	3
	3. 居住年数	5
	4. 職業	6
	5. 現住所への居住のきっかけ	7
	6. 家族構成	8
	7. ふだんの主な交通手段	11
<b>III</b>	<b>調査結果</b>	13
	<b>【1】瀬戸内市がめざしている姿に対する現在の実感度と重要度について</b>	13
	1. 現在の実感度	13
	2. 現在の重要度	19
	3. 実感度と重要度の相関図による分析	26
	<b>【2】瀬戸内市の住みやすさについて</b>	32
	1. 住みやすさ評価	32
	2. 住みやすいと思う理由	34
	3. 住みにくいと思う理由	38
	<b>【3】行動や考えについて</b>	41
	1. 市役所が行うまちづくりの取組への満足感	41
	2. 人権が守られていることについて	43
	3. 「人権・なやみごと相談」窓口認知状況	45
	4. 近所の子どもに会ったときのあいさつや声かけについて	47
	5. 芸術文化活動状況	49
	6. 生涯学習講座活動等への参加状況	50
	7. 地域に貢献する活動状況	51
	8. 運動継続状況	52
	9. 海外文化講座やイベント等への参加希望	53
	10. 健康診断受診状況	54
	11. 「バリアフリー化」進行状況について	55
	12. 日常生活に不自由を感じること	57
	13. 経済的な理由による日常生活の困難さについて	58
	14. 計画的な土地利用について	60
	15. 道路の快適性について	62
	16. 公共交通機関の利用しやすさについて	64
	17. インターネットの活用状況	66

18. ごみのリサイクル実践状況-----	68
19. 省エネの実践状況-----	69
20. 瀬戸内市の景観への満足度-----	70
21. 災害時の非常持出品準備状況-----	72
22. 災害時の避難場所認知状況-----	73
23. 「消費生活」に関する相談窓口認知状況-----	74
24. 農産物購入時の地元産意識-----	75
25. 水産物購入時の地元産意識-----	76
26. 日常生活品の買い物のしやすさについて-----	77
27. 「広報せとうち」購読状況-----	79
28. 瀬戸内市のホームページ閲覧状況-----	80
29. 広報紙やホームページによる市の情報入手-----	81
30. 市政への関心-----	82
31. 市の財政改善状況について-----	84
32. 地域コミュニティ活動参加状況-----	86
33. ボランティア・NPO活動参加経験-----	88
<b>【4】自由意見-----</b>	<b>90</b>

# I 調査の概要

## 【調査目的】

瀬戸内市が目指す、30年後のまちの姿に対する現在の実感度、今後の施策における重要度や市民の行動、思いを聞き市政運営に役立てるとともに、平成23年度を初年度とする第2次総合計画の数値目標に対する現状値を把握するための基礎資料を得る目的で実施した。

## 【調査対象】

満18歳以上の市民 2,000人

## 【抽出方法】

住民基本台帳から無作為抽出

## 【調査方法】

郵送配布、郵送回収

## 【調査期間】

平成24年5月

## 【回収結果】

配布数 ----- 2,000件

有効回収数 ----- 893件

有効回収率 ----- 44.7%

居住地域の内訳（上段：件数、下段：構成比%）

回収数	牛窓地域			長船地域				
	牛窓	鹿忍	長浜	美和	国府	行幸		
893	164	86	46	32	276	39	88	149
100.0	18.4	9.6	5.2	3.6	30.9	4.4	9.9	16.7

回収数	邑久地域								無回答 (注)
	邑久	福田	今城	豊原	本庄	笠加	玉津	裳掛	
418	179	42	59	27	21	19	25	46	35
46.8	20.0	4.7	6.6	3.0	2.4	2.1	2.8	5.2	3.9

(注)無回答には「わからない」を含む

#### 【報告書の見方について】

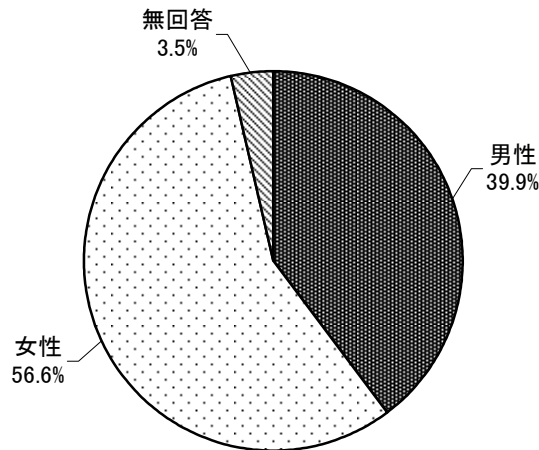
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表, 図表, 文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数<sup>\*</sup>を「n」で標記している。
- (4) 図表中における性別、年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%, 0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。
- (6) 複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (7) 各設問について、平成22年度に実施した同調査(「前回調査」と表記)との比較をおこなっている。
- (8) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

※(例)問Aで1と回答した人のみが、問Bを答える場合の問Bの基数、あるいはクロス集計における「男性」や「20歳代」・・・など、限定された回答者数

## II 回答者の属性

### 1. 性別

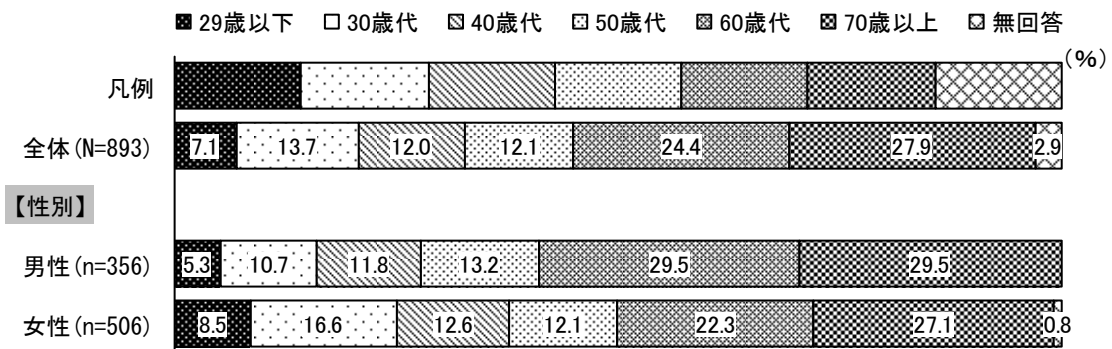
回答者の性別は、「男性」が39.9%、「女性」が56.6%の内訳で、およそ4：6の比率となっている。



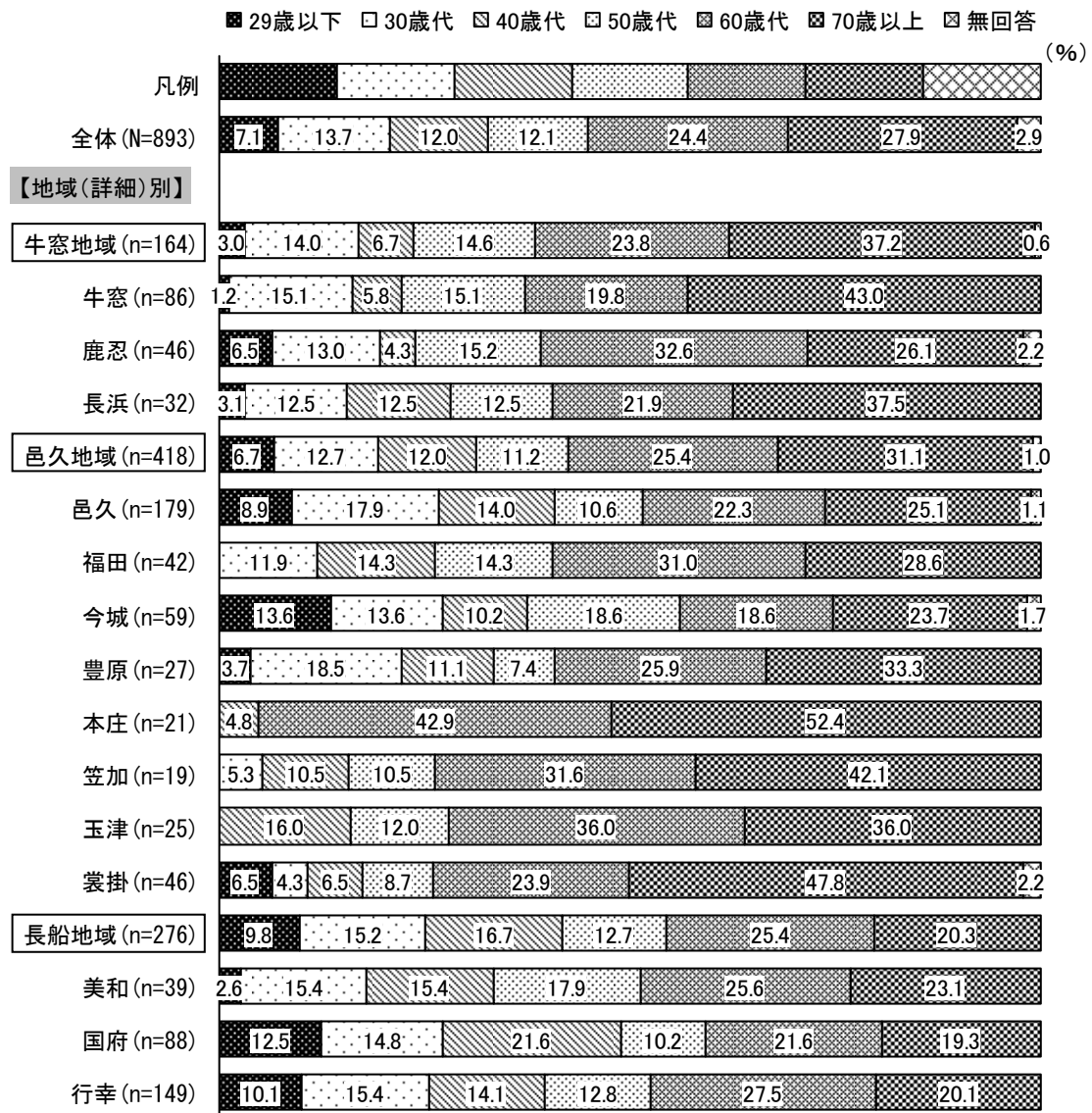
### 2. 年齢

年齢は「70歳以上」が27.9%で最も多く、「60歳代」(24.4%)がそれに続いている。以下「30歳代」(13.7%)、「50歳代」(12.1%)の順で、「50歳以上(合計)」で全体の6割以上(64.4%)を占めている。

性別では、男性は女性に比べ、特に「60歳以上(合計)」の割合が高く、女性は「30歳代以下(合計)」の割合が高くなっている。



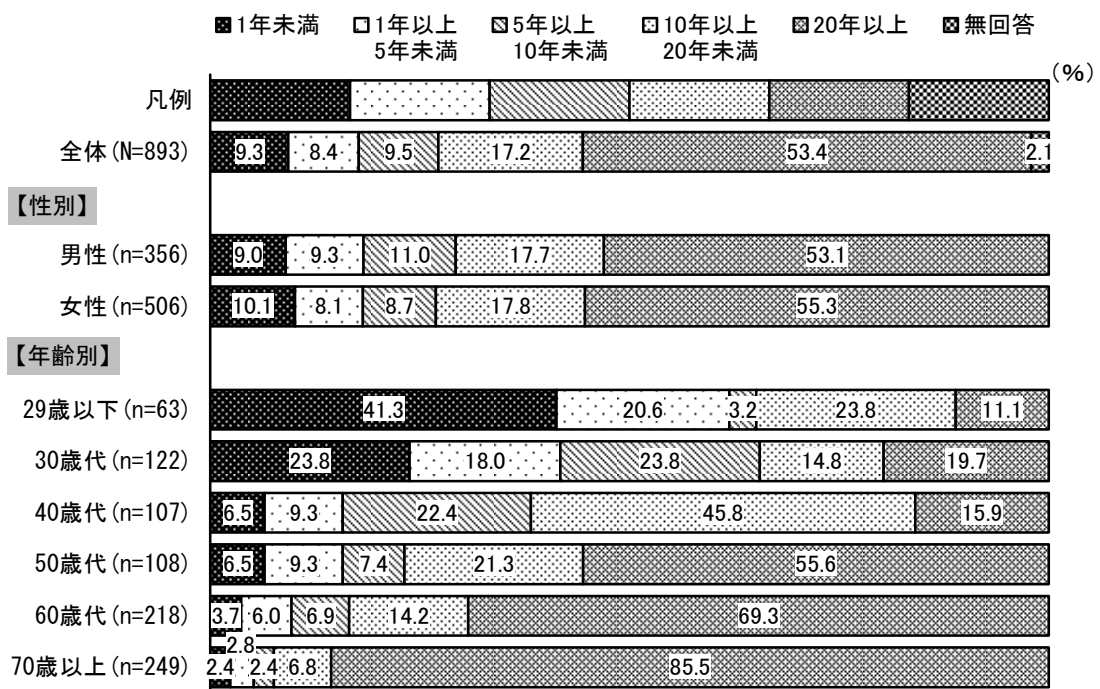
さらに、年齢別構成を地域（詳細）別にみると、牛窓、本庄、笠加、裳掛などで高齢化が目立っており、特に本庄では顕著である。一方、邑久、今城、国府、行幸などでは相対的に若い年齢層が多くみられ、地域差が顕著である。



### 3. 居住年数

居住年数は、「20年以上」が全体の過半数（53.4%）を占め最も多く、「10年以上20年未満」が17.2%でそれに続いている。

性別では大きな男女差は目立たないが、年齢別では、29歳以下で他の年齢層に比べ「1年未満」が多く、40歳代では「10年以上20年未満」が多くなっている。50歳代以上の年齢層ではそれぞれ「20年以上」が5割以上を占め、特に70歳以上では大半を占めているなど、年齢との相関がある。



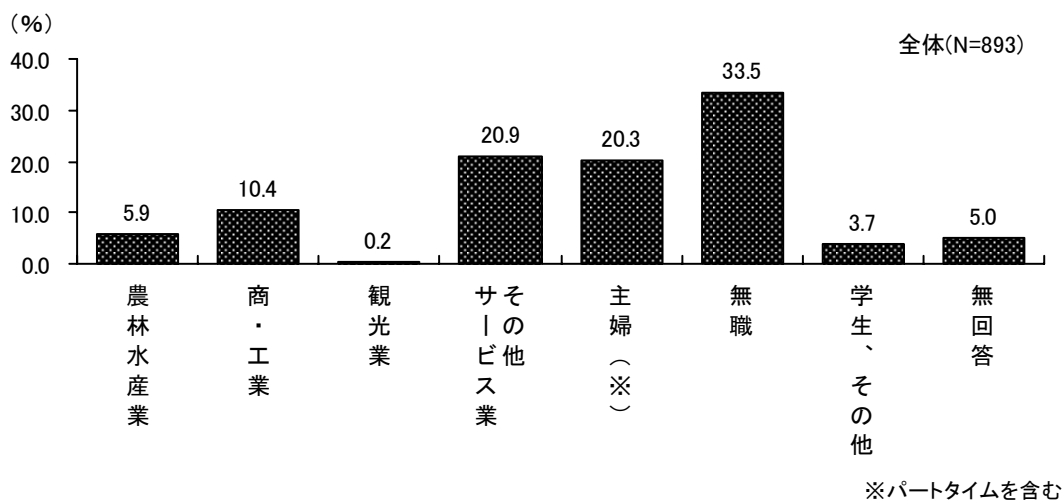


#### 4. 職業

職業は、全体では「無職」が3割(33.5%)を占め最も多く、以下「その他サービス業」(20.9%)、「主婦(パートタイム含む)」(20.3%)、「商・工業」(10.4%)の順となっている。

性別では、男性は「無職」「その他サービス業」「商・工業」で大半を占め、女性は「主婦(パートタイムを含む)」「無職」などが多くなっている。

年齢別では、60歳以上では「無職」が目立ち、29歳以下では他の年齢層に比べ「学生、その他」が多い。



単位 (%)		農林水産業	商・工業	観光業	サその他サービス業	主婦(パートタイムを含む)	無職	学生、その他
全体(N=893)		5.9	10.4	0.2	20.9	20.3	33.5	3.7
性別	男性(n=356)	9.8	21.1	0.3	24.2	0.0	39.0	3.7
	女性(n=506)	3.6	3.6	0.2	19.8	35.4	30.4	3.8
年齢別	29歳以下(n=63)	0.0	19.0	0.0	30.2	27.0	4.8	19.0
	30歳代(n=122)	0.8	13.9	0.0	42.6	33.6	3.3	5.7
	40歳代(n=107)	2.8	23.4	1.9	33.6	29.0	3.7	5.6
	50歳代(n=108)	2.8	15.7	0.0	38.0	24.1	13.0	2.8
	60歳代(n=218)	6.4	7.8	0.0	14.2	23.9	44.5	1.4
	70歳以上(n=249)	12.9	2.0	0.0	2.8	4.4	71.1	0.4

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計(性別・年齢別など)において最も高い割合を示している。  
 (例／性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。)  
 但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目については、網掛けは省略している。  
 また「無回答」は表記から省略している。(本報告書においては、以下同様)

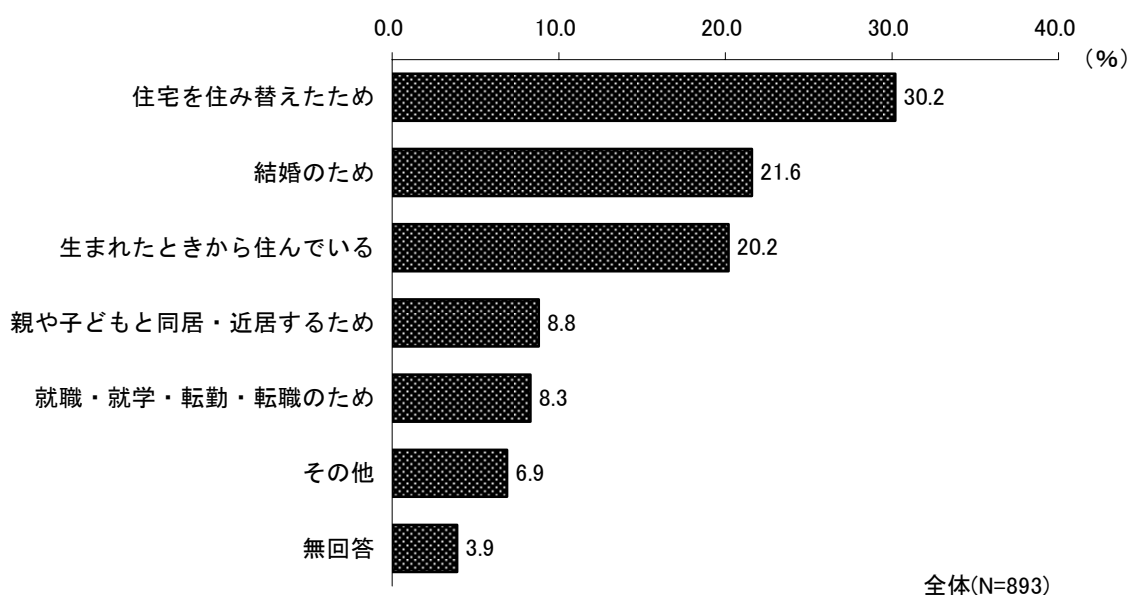
## 5. 現住所への居住のきっかけ

現住所への居住のきっかけについては、全体では「住宅を住み替えたため」が30.2%と最も多く、次いで「結婚のため」(21.6%)、「生まれたときから住んでいる」(20.2%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「生まれたときから住んでいる」「就職・就学・転勤・転職のため」が多く、女性は「結婚のため」が多い点で差が目立っている。

年齢別では、年齢が上がるほど「生まれたときから住んでいる」が多くなる傾向がみられる。

地域別では、牛窓地域において「生まれたときから住んでいる」、邑久地域、長船地域で「住宅を住み替えたため」などがそれぞれ多くなっている。



単位 (%)		住宅を住み替えたため	結婚のため	生まれたときから	親や子どもと同居するため	就職・就学・転勤・転職のため	その他
全体(N=893)		30.2	21.6	20.2	8.8	8.3	6.9
性別	男性(n=356)	31.2	9.3	27.8	8.7	13.5	7.6
	女性(n=506)	30.6	31.0	15.8	8.9	5.1	6.9
年齢別	29歳以下(n=63)	28.6	22.2	11.1	11.1	14.3	7.9
	30歳代(n=122)	32.0	23.8	18.0	14.8	7.4	2.5
	40歳代(n=107)	30.8	24.3	10.3	14.0	14.0	5.6
	50歳代(n=108)	36.1	16.7	20.4	11.1	7.4	4.6
	60歳代(n=218)	39.0	15.1	20.6	6.4	7.8	10.1
	70歳以上(n=249)	21.7	28.1	28.9	4.8	6.4	8.4
地域別	牛窓地域(n=164)	22.0	23.2	28.0	5.5	6.7	14.0
	邑久地域(n=418)	33.0	20.8	22.5	8.9	6.9	5.3
	長船地域(n=276)	32.6	22.8	14.1	12.0	11.6	5.8

## 6. 家族構成

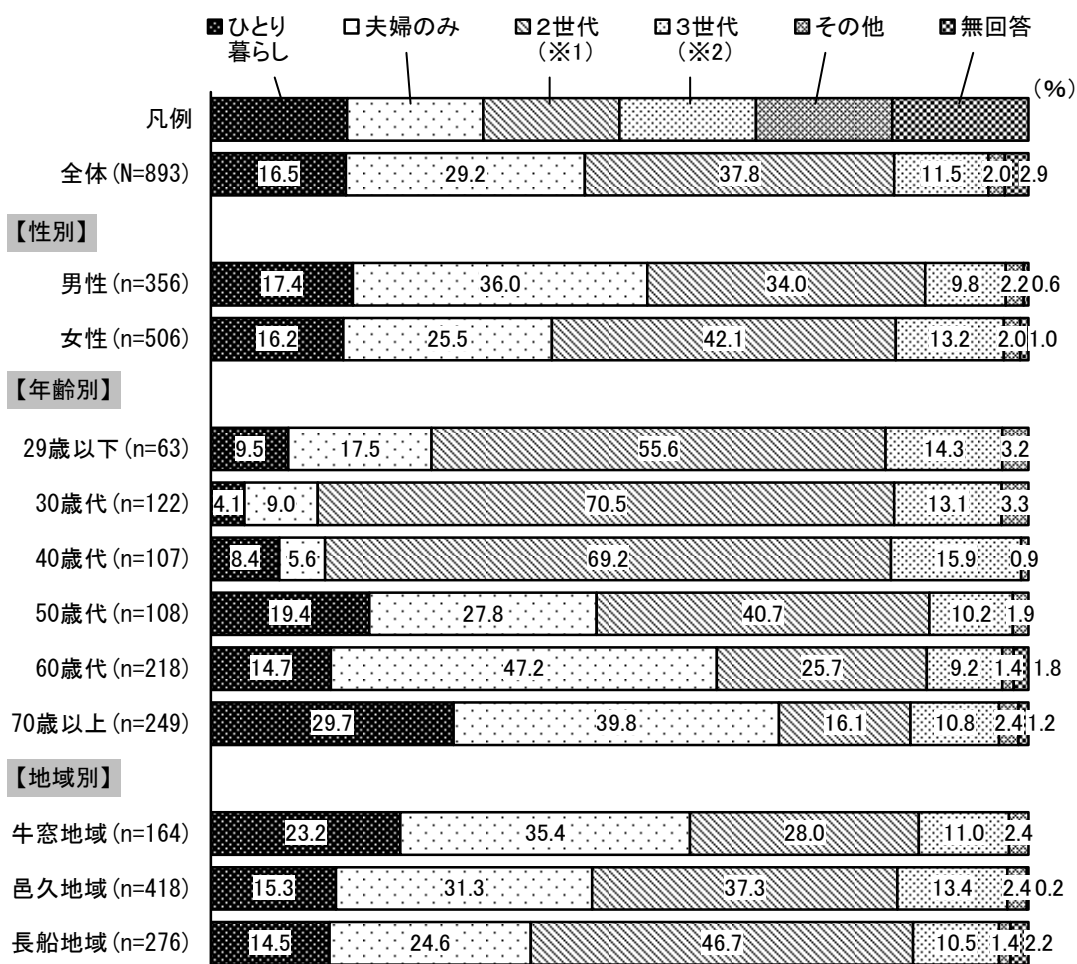
### (1) 家族構成

家族構成については、全体では「2世代（親・子）」が37.8%と最も多く、次いで「夫婦のみ」（29.2%）が続いている。

性別では、男性は「夫婦のみ」、女性は「2世代（親・子）」がそれぞれ多くなっている。

年齢別では年齢が上がるにつれ「ひとり暮らし」「夫婦のみ」が多くなる傾向がみられる。一方で、年齢が若い層ほど「2世代（親・子）」が多くなる傾向がみられる。

地域別では、牛窓地域において「ひとり暮らし」「夫婦のみ」、長船地域で「2世代（親・子）」がそれぞれ他の地域に比べ多いことが目立っている。



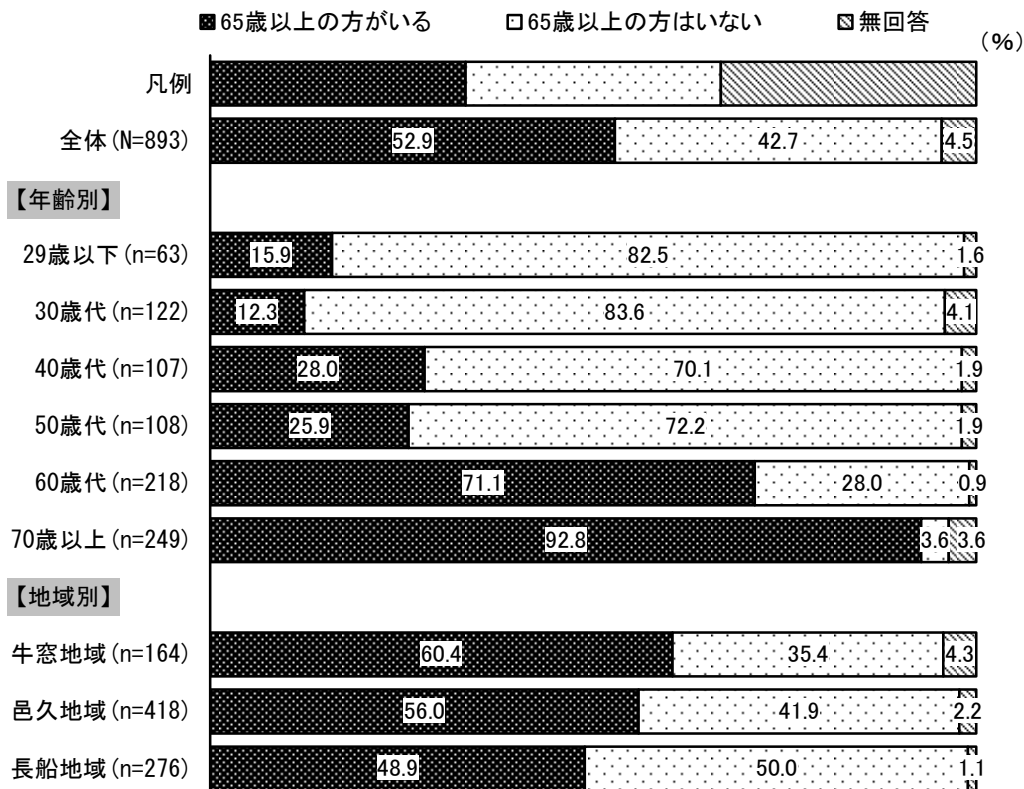
※1 親・子  
 ※2 親・子・孫

(2) 65歳以上の方の同居有無（自身を含む）

65歳以上の方の同居有無については、52.9%が「いる」と回答している。

年齢別では、50歳代以下の各年齢層において、それぞれ2~3割程度の比率で65歳以上の方が「いる」となっている。

地域別では、牛窓地域において「65歳以上の方がいる」が比較的多くなっている。

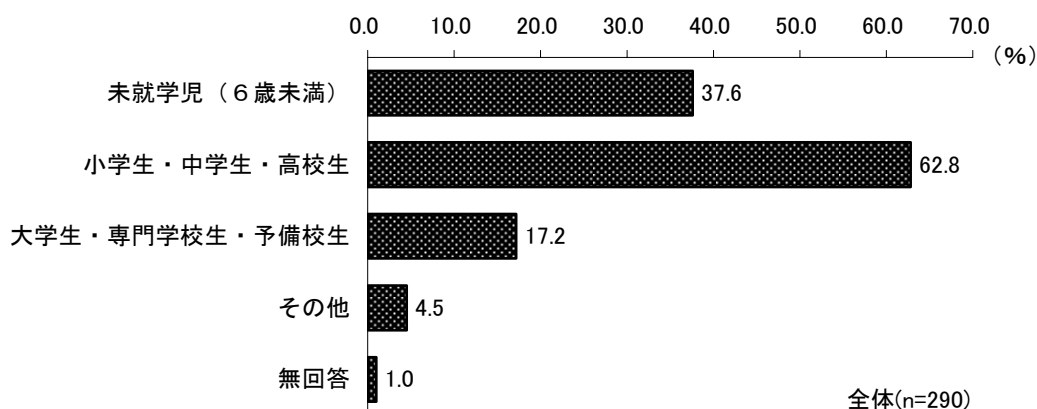
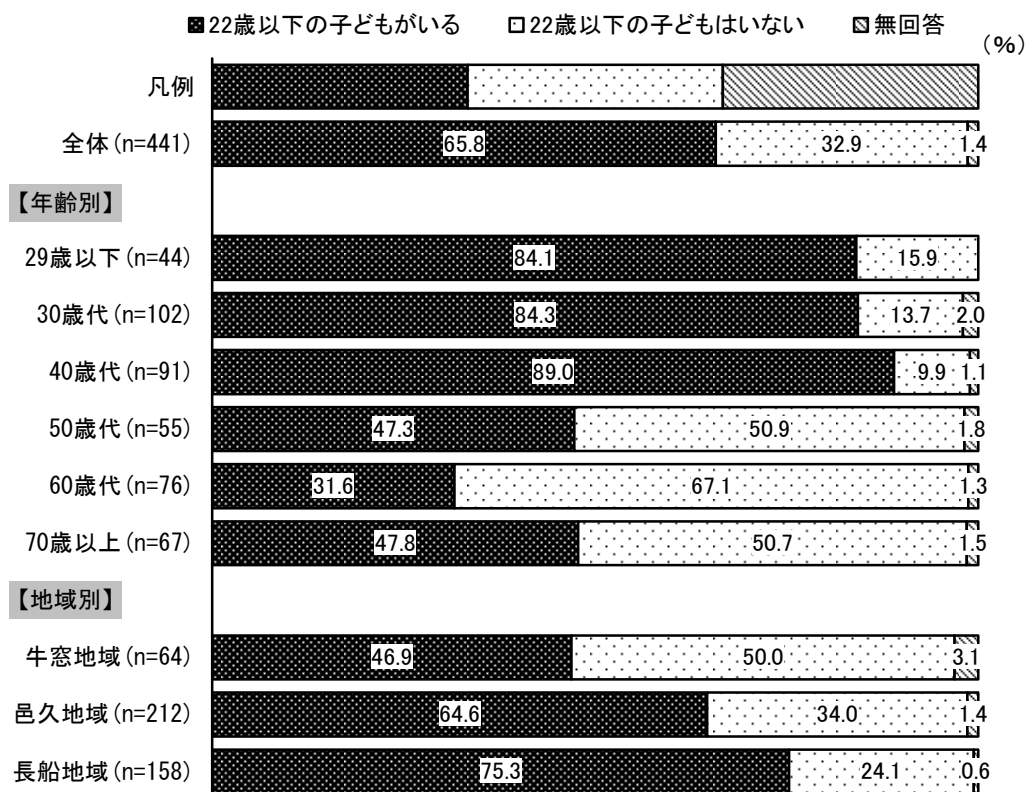


(3) 22歳以下の子どもの同居有無

22歳以下の子どもの同居有無については、65.8%が「いる」と回答している。

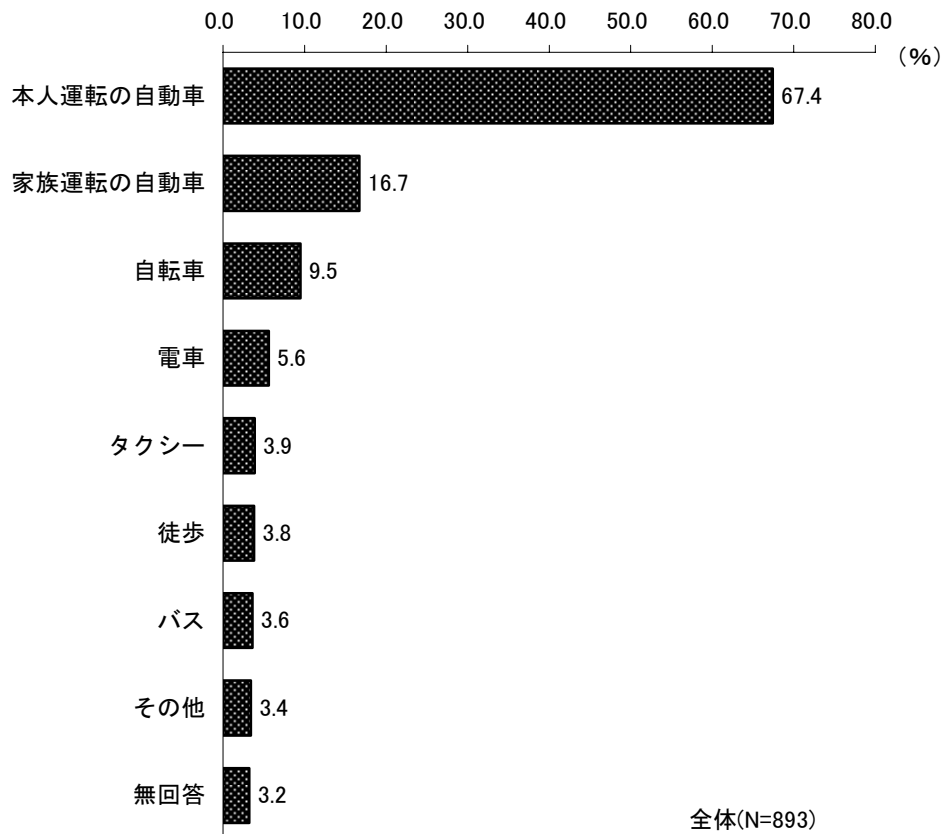
年齢別では40歳代以下の各年齢層において、地域別では邑久地域、長船地域で多くなっている。

22歳以下の子どもは「小学生・中学生・高校生」が主流となっている。



## 7. ふだんの主な交通手段

ふだんの主な交通手段については、全体では「本人運転の自動車」が67.4%と最も多く突出している。次いで「家族運転の自動車」(16.7%)が続き、その他の交通手段については、回答はそれぞれ少ない。



ふだんの主な交通手段について、性別では、男性は「本人運転の自動車」、女性は「家族運転の自動車」がそれぞれ多くなっている。

年齢別では、29歳以下では「電車」、70歳以上では「家族運転の自動車」「バス」などが多くみられる。また、29歳以下と70歳位上では「自転車」も比較的多い。

地域別では、笠加では「家族運転の自動車」、福田では「自転車」、「玉津」では「タクシー」などがそれぞれ他の地域に比べ多くみられる。

単位(%)		本人運転の自動車	家族運転の自動車	自転車	電車	タクシー	徒歩	バス	その他
全体(N=893)		67.4	16.7	9.5	5.6	3.9	3.8	3.6	3.4
性別	男性(n=356)	80.9	9.3	8.1	3.4	2.8	1.7	2.0	2.8
	女性(n=506)	60.9	22.3	10.9	7.5	4.9	5.5	4.9	3.8
年齢別	29歳以下(n=63)	63.5	19.0	14.3	12.7	1.6	4.8	1.6	4.8
	30歳代(n=122)	92.6	8.2	3.3	4.1	0.0	3.3	0.8	1.6
	40歳代(n=107)	88.8	10.3	6.5	3.7	0.9	1.9	0.0	0.9
	50歳代(n=108)	82.4	6.5	7.4	5.6	2.8	3.7	1.9	2.8
	60歳代(n=218)	69.7	20.6	10.1	4.1	1.8	1.8	3.2	0.5
	70歳以上(n=249)	43.4	25.3	13.7	6.8	10.0	6.4	8.4	8.0
地域別	牛窓地域(n=164)	63.4	22.6	3.7	0.0	5.5	3.7	11.0	3.7
	牛窓(n=86)	60.5	24.4	4.7	0.0	7.0	5.8	11.6	5.8
	鹿忍(n=46)	67.4	19.6	4.3	0.0	2.2	2.2	10.9	2.2
	長浜(n=32)	65.6	21.9	0.0	0.0	6.3	0.0	9.4	0.0
	邑久地域(n=418)	67.2	17.5	11.0	6.0	4.3	3.3	2.4	3.8
	邑久(n=179)	68.2	16.2	12.3	6.7	2.2	2.8	0.6	1.7
	福田(n=42)	71.4	16.7	23.8	2.4	2.4	7.1	0.0	0.0
	今城(n=59)	71.2	20.3	6.8	5.1	5.1	0.0	3.4	1.7
	豊原(n=27)	70.4	22.2	18.5	11.1	0.0	7.4	0.0	3.7
	本庄(n=21)	71.4	4.8	4.8	9.5	0.0	4.8	4.8	9.5
	笠加(n=19)	73.7	31.6	10.5	5.3	0.0	5.3	0.0	5.3
	玉津(n=25)	72.0	12.0	4.0	0.0	16.0	4.0	0.0	8.0
	裳掛(n=46)	45.7	19.6	2.2	6.5	13.0	2.2	13.0	13.0
	長船地域(n=276)	75.7	12.7	10.1	7.2	2.5	4.0	1.4	2.9
	美和(n=39)	79.5	12.8	5.1	0.0	2.6	2.6	0.0	2.6
	国府(n=88)	75.0	10.2	10.2	9.1	2.3	3.4	0.0	4.5
	行幸(n=149)	75.2	14.1	11.4	8.1	2.7	4.7	2.7	2.0

### Ⅲ 調査結果

---

---

#### 【1】瀬戸内市がめざしている姿に対する現在の実感度と重要度について

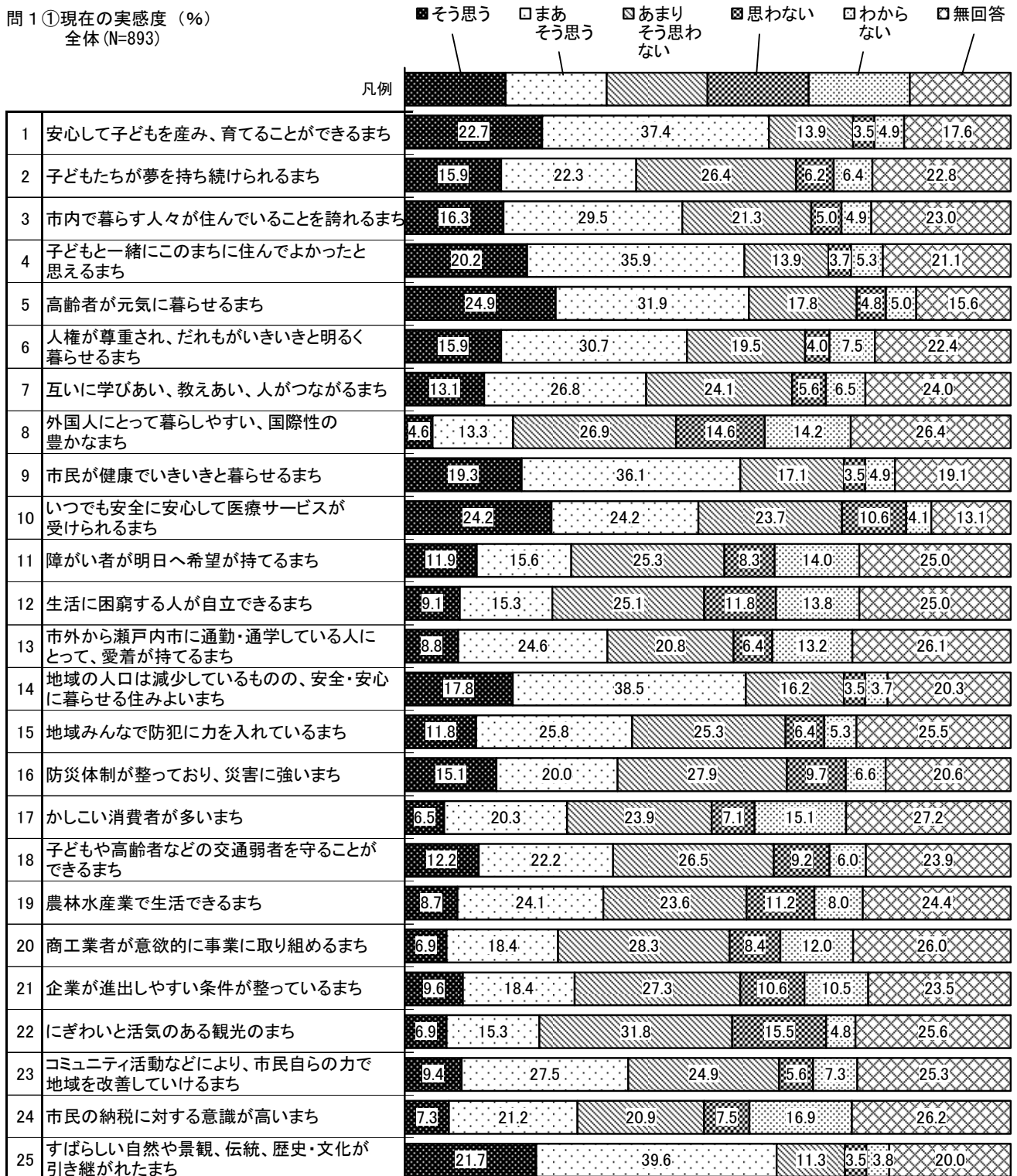
問1 瀬戸内市がめざしている30年後の姿に対する現在の「実感度」について、それぞれの項目について、右欄の中であなたの考えに一番近いものそれぞれ1つに○印をつけてください。

##### 1. 現在の実感度

25の項目について、現在の実感度を5段階評価で尋ねたところ、「そう思う」への回答が最も多かったのは「5. 高齢者が元気に暮らせるまち」(24.9%)で、以下「10. いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」(24.2%)、「1. 安心して子どもを産み、育てることができるまち」(22.7%)、「25. すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」(21.7%)、「4. 子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」(20.2%)、「9. 市民が健康でいきいきと暮らせるまち」(19.3%)などの順となっている。



問1 ①現在の実感度 (%)  
全体(N=893)



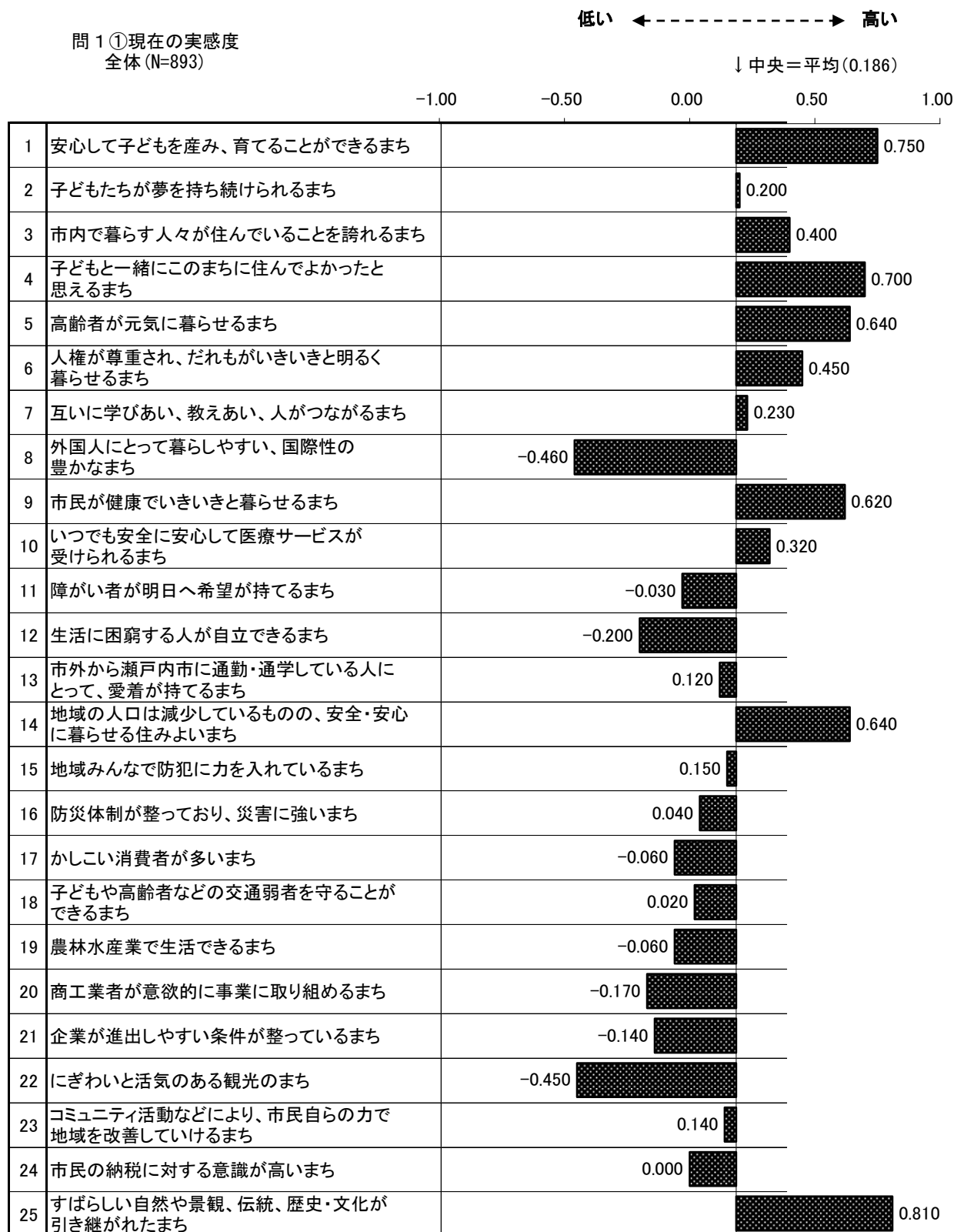
#### 【実感度／ウエイト値による集計】

実感度の選択肢について、「そう思う」2点、「まあそう思う」1点、「あまりそう思わない」-1点、「思わない」-2点、「わからない」0点と設定し、項目ごとの回答結果を（「そう思う」の件数×2点+「まあそう思う」の件数×1点+「あまりそう思わない」の件数×-1点+「思わない」の件数×-2点+「わからない」×0点）÷（回答者件数-無回答件数）としてウエイト値を算出し指標とした。

この指標によって、実感度の評価をより明確に分析することが可能となる。

この指標による分析結果でみると、実感度評価が最も高い施策は「25. すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」(0.810)で、以下「1. 安心して子どもを産み、育てることができるまち」(0.750)、「4. 子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」(0.700)、「5. 高齢者が元気に暮らせるまち」「14. 地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」(各 0.640)、「9. 市民が健康でいきいきと暮らせるまち」(0.620)などの順となっている。

一方、相対的に実感度評価が低い施策としては「8. 外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」(-0.460)、「22. にぎわいと活気のある観光のまち」(-0.450)、「12. 生活に困窮する人が自立できるまち」(-0.200)などがあげられる。



### 【前回調査との比較】

前回調査と比べ今回大きく実感度が高くなった項目としては、「4. 子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」、「20. 商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち」、「9. 市民が健康でいきいきと暮らせるまち」、「21. 企業が進出しやすい条件が整っているまち」、「5. 高齢者が元気に暮らせるまち」などがあげられる。

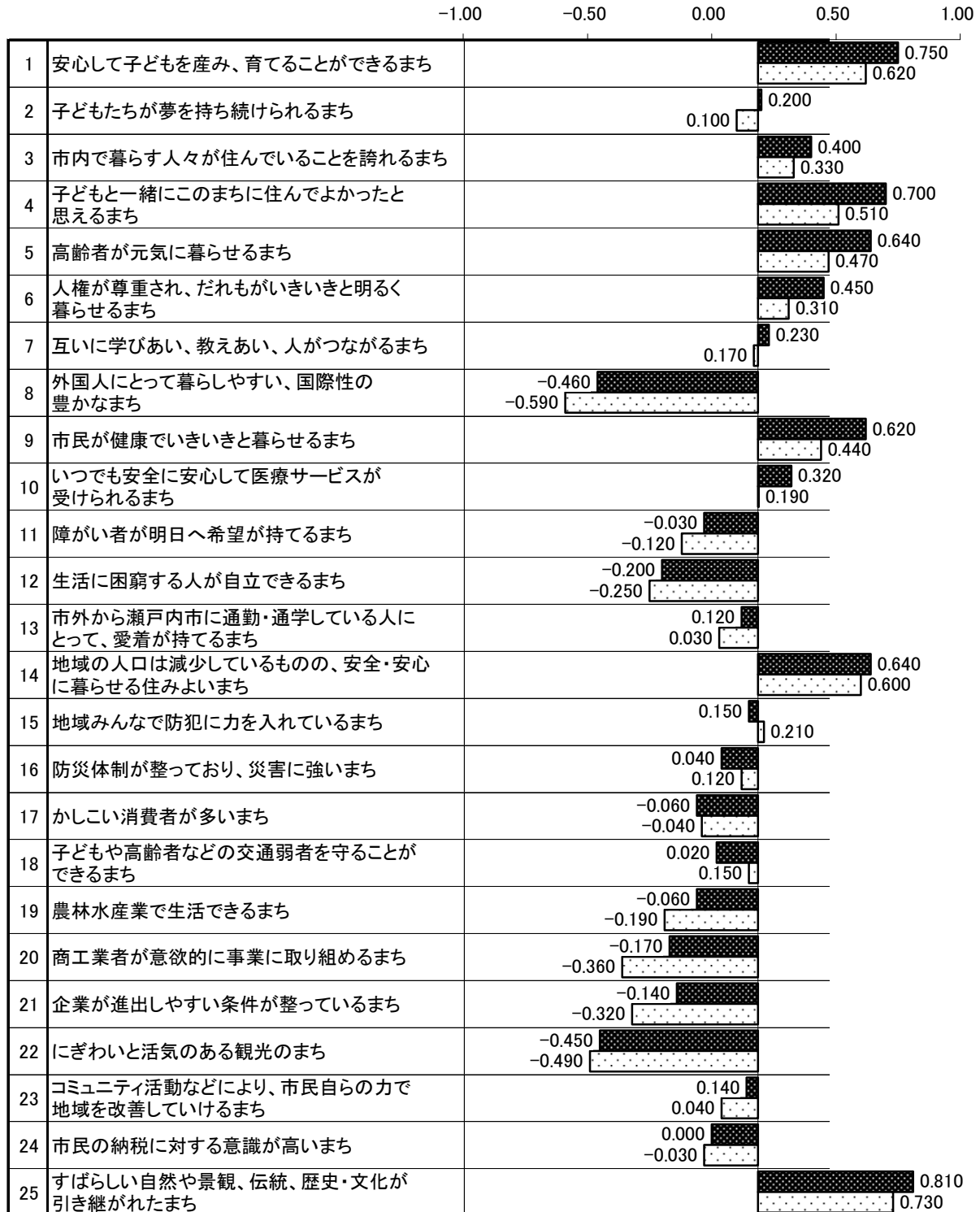
一方、実感度が低くなった項目としては、「18. 子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち」、「16. 防災体制が整っており、災害に強いまち」などがあげられる。

問1 ①現在の実感度  
全体(N=893)

■ 今回調査(H24年度)  
□ 前回調査(H22年度)

低い ← ----- → 高い

↓ 中央=今回平均(0.186)



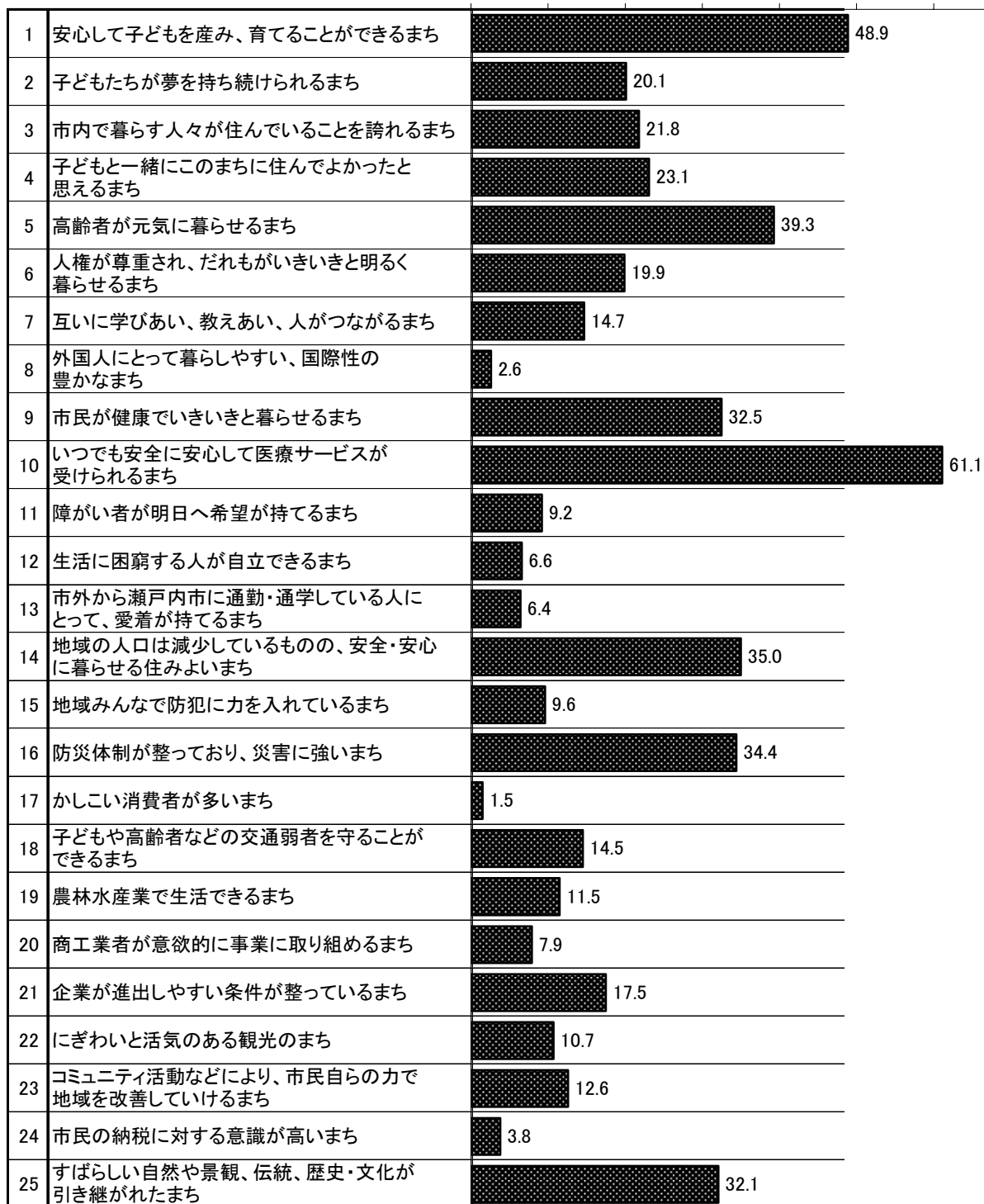
## 2. 現在の重要度

また、瀬戸内市がめざしている30年後の姿のうち、あなたは、何が重要だと思いますか。1～25のうちで重要だと思うものを5つまで選んで、左欄「重要度」の数字に○印をつけてください。

25の項目について、重要と思われる施策を尋ねたところ、「10. いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」が61.1%で最も多く、次いで「1. 安心して子どもを産み、育てることができるまち」(48.9%)、「5. 高齢者が元気に暮らせるまち」(39.3%)、「14. 地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」(35.0%)、「16. 防災体制が整っており、災害に強いまち」(34.4%)、「9. 市民が健康でいきいきと暮らせるまち」(32.5%)、「25. すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」(32.1%)などの順となっている。

一方で、相対的に重要度が低い施策は「17. かしこい消費者が多いまち」(1.5%)、「8. 外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」(2.6%)、「24. 市民の納税に対する意識が高いまち」(3.8%)、「13. 市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持てるまち」(6.4%)、「12. 生活に困窮する人が自立できるまち」(6.6%)などがあげられる。

問1 ②施策の重要度 (%) 全体 (n=468) 0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0



注：集計結果の数値は、「無回答」を除く母数(n=468)で算出している。

性別では、男女差が比較的大きな項目として、男性において「2. 子どもたちが夢を持ち続けられるまち」「19. 農林水産業で生活できるまち」、女性において「16. 防災体制が整っており、災害に強いまち」「14. 地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」などがあげられる。

年齢別では、年齢が若い層ほど多くみられる項目として「1. 安心して子どもを産み、育てることができるまち」が典型例としてあげられ、一方で、年齢が上がるほど多くみられる項目として「5. 高齢者が元気に暮らせるまち」「25. すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」などがあげられる。また30歳代では「4. 子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」が多いなど、年代によって特徴的な傾向もみられる。

地域別では、長浜、福田、今城、豊原、本庄などで「5. 高齢者が元気に暮らせるまち」の回答が多く、笠加、玉津などでは「9. 市民が健康でいきいきと暮らせるまち」が多くなっている。また、牛窓地域で「19. 農林水産業で生活できるまち」が多く、牛窓、鹿忍では「25. すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」も多くなっている。



NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
単位 (%)	て安心して子どもを産み、育てることができるまち	子どもたちが夢を持ち続けられるまち	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	子どもと一緒にごこのまちに住んでよかつたと思えるまち	高齢者が元気に暮らせるまち	いきいきと明るく暮らせるまち	互いに学びあい、教えあいがつながらるまち	外国人にとつて暮らしやすい、国際性の豊かなまち	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	
全体(n=468)	48.9	20.1	21.8	23.1	39.3	19.9	14.7	2.6	32.5	61.1	
性別	男性(n=185)	49.7	25.9	21.1	22.2	41.6	17.8	13.5	2.7	35.1	58.4
	女性(n=275)	48.0	16.4	22.5	23.6	37.8	21.8	15.3	2.5	29.8	63.3
年齢別	29歳以下(n=27)	77.8	22.2	11.1	22.2	18.5	18.5	11.1	7.4	25.9	59.3
	30歳代(n=70)	80.0	21.4	11.4	35.7	28.6	10.0	11.4	2.9	25.7	62.9
	40歳代(n=65)	47.7	20.0	20.0	29.2	35.4	21.5	16.9	4.6	35.4	60.0
	50歳代(n=57)	54.4	26.3	24.6	17.5	50.9	14.0	15.8	0.0	28.1	54.4
	60歳代(n=115)	39.1	20.0	27.8	20.0	35.7	26.1	14.8	1.7	36.5	62.6
	70歳以上(n=129)	33.3	16.3	22.5	18.6	51.2	21.7	15.5	2.3	32.6	65.1
地域別	牛窓地域(n=89)	43.8	15.7	27.0	16.9	40.4	14.6	12.4	1.1	30.3	60.7
	牛窓(n=50)	44.0	14.0	26.0	16.0	38.0	20.0	12.0	0.0	32.0	56.0
	鹿忍(n=24)	41.7	16.7	25.0	20.8	37.5	12.5	16.7	0.0	16.7	70.8
	長浜(n=15)	46.7	20.0	33.3	13.3	53.3	0.0	6.7	6.7	46.7	60.0
	邑久地域(n=213)	47.9	22.5	20.7	21.1	44.6	19.2	14.6	3.8	32.4	59.2
	邑久(n=96)	50.0	21.9	21.9	22.9	38.5	16.7	17.7	4.2	31.3	59.4
	福田(n=22)	50.0	22.7	22.7	13.6	59.1	13.6	13.6	0.0	36.4	54.5
	今城(n=30)	46.7	20.0	26.7	16.7	56.7	23.3	6.7	0.0	26.7	63.3
	豊原(n=12)	58.3	41.7	0.0	25.0	50.0	8.3	8.3	16.7	41.7	58.3
	本庄(n=11)	45.5	9.1	27.3	36.4	54.5	27.3	0.0	9.1	9.1	72.7
	笠加(n=14)	42.9	21.4	21.4	21.4	28.6	21.4	14.3	0.0	57.1	57.1
	玉津(n=13)	30.8	23.1	23.1	15.4	38.5	23.1	23.1	0.0	53.8	61.5
	裳掛(n=15)	46.7	26.7	6.7	20.0	46.7	33.3	20.0	6.7	13.3	46.7
	長船地域(n=157)	52.2	19.1	19.7	29.9	32.5	23.6	15.9	1.9	31.8	65.6
	美和(n=24)	41.7	33.3	20.8	33.3	41.7	20.8	8.3	0.0	33.3	62.5
国府(n=51)	56.9	11.8	17.6	23.5	45.1	31.4	7.8	2.0	37.3	68.6	
行幸(n=82)	52.4	19.5	20.7	32.9	22.0	19.5	23.2	2.4	28.0	64.6	

→次ページに続く

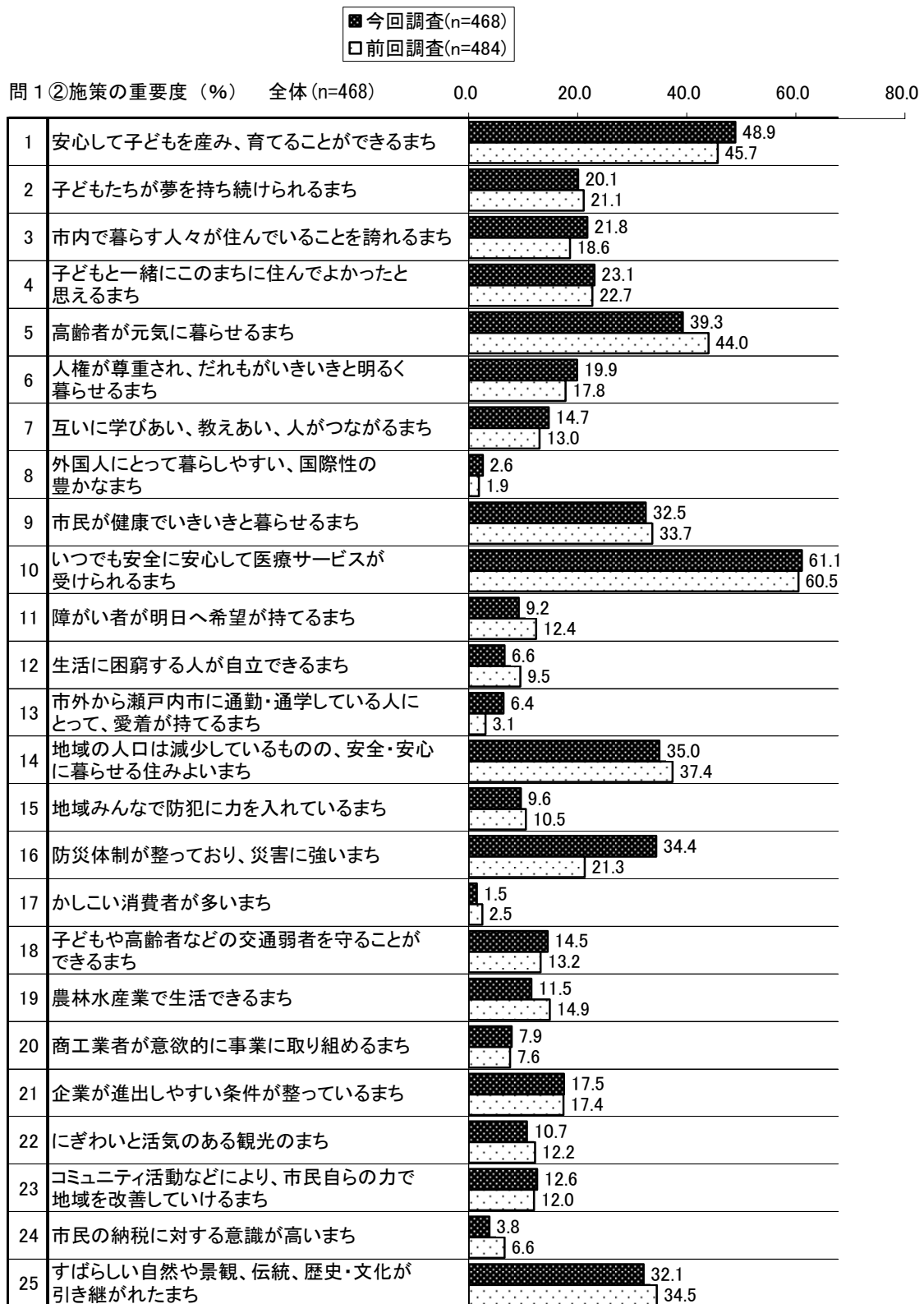
NO	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
単位 (%)	障がい者が明日へ希望が持てるまち	生きる生活に困窮する人が自立でききるまち	愛着が持てるまち	市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとつて	せむしの人口は減少している	地域の人口は減少している	地域みんな防犯に力を入れているまち	防災体制が整っており、災害に強いまち	かしこい消費者が多いまち	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができきるまち	農林水産業で生活できるまち	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち
全体(n=468)	9.2	6.6	6.4	35.0	9.6	34.4	1.5	14.5	11.5	7.9		
性別	男性(n=185)	5.4	7.0	7.0	29.2	7.0	28.6	1.6	11.9	17.3	9.7	
	女性(n=275)	11.3	6.5	6.2	38.9	11.6	38.5	1.5	16.7	8.0	6.5	
年齢別	29歳以下(n=27)	7.4	7.4	7.4	29.6	18.5	48.1	3.7	14.8	3.7	3.7	
	30歳代(n=70)	7.1	4.3	8.6	34.3	11.4	48.6	0.0	20.0	4.3	14.3	
	40歳代(n=65)	12.3	9.2	4.6	26.2	15.4	35.4	3.1	13.8	12.3	1.5	
	50歳代(n=57)	8.8	5.3	10.5	24.6	7.0	36.8	3.5	3.5	10.5	10.5	
	60歳代(n=115)	9.6	7.8	7.8	40.0	7.8	25.2	1.7	12.2	11.3	5.2	
	70歳以上(n=129)	7.8	6.2	3.1	41.9	7.0	31.0	0.0	19.4	17.8	9.3	
地域別	牛窓地域(n=89)	7.9	3.4	4.5	43.8	9.0	32.6	1.1	15.7	23.6	6.7	
	牛窓(n=50)	6.0	2.0	6.0	50.0	12.0	30.0	2.0	18.0	22.0	6.0	
	鹿忍(n=24)	12.5	0.0	4.2	33.3	4.2	37.5	0.0	16.7	25.0	12.5	
	長浜(n=15)	6.7	13.3	0.0	40.0	6.7	33.3	0.0	6.7	26.7	0.0	
	邑久地域(n=213)	8.5	7.0	5.2	31.5	7.5	36.2	1.4	16.9	8.5	8.9	
	邑久(n=96)	8.3	6.3	2.1	29.2	8.3	40.6	0.0	20.8	6.3	10.4	
	福田(n=22)	4.5	18.2	9.1	31.8	4.5	31.8	0.0	4.5	4.5	4.5	
	今城(n=30)	13.3	6.7	3.3	26.7	3.3	46.7	3.3	10.0	3.3	6.7	
	豊原(n=12)	0.0	0.0	8.3	33.3	25.0	50.0	8.3	16.7	25.0	8.3	
	本庄(n=11)	27.3	9.1	9.1	45.5	0.0	9.1	0.0	27.3	18.2	9.1	
	笠加(n=14)	7.1	0.0	0.0	28.6	14.3	21.4	0.0	28.6	0.0	14.3	
	玉津(n=13)	0.0	0.0	23.1	23.1	7.7	15.4	0.0	7.7	15.4	15.4	
	裳掛(n=15)	6.7	13.3	6.7	53.3	0.0	33.3	6.7	13.3	20.0	0.0	
	長船地域(n=157)	10.8	7.6	9.6	35.0	12.7	34.4	1.3	11.5	8.9	7.0	
	美和(n=24)	4.2	0.0	8.3	37.5	12.5	37.5	0.0	12.5	16.7	8.3	
国府(n=51)	9.8	5.9	7.8	41.2	7.8	37.3	0.0	5.9	3.9	3.9		
行幸(n=82)	13.4	11.0	11.0	30.5	15.9	31.7	2.4	14.6	9.8	8.5		

→次ページに続く

	NO	21	22	23	24	25
単位(%)		企業が進出しやすい条件が	にぎわいと活気のある観光	改善していきけるまち	高市民の納税に対する意識が	れた、歴史・文化が引き継が
	全体(n=468)	17.5	10.7	12.6	3.8	32.1
性別	男性(n=185)	22.2	11.4	12.4	3.8	33.5
	女性(n=275)	14.5	10.2	11.6	4.0	30.9
年齢別	29歳以下(n=27)	14.8	14.8	11.1	0.0	22.2
	30歳代(n=70)	14.3	21.4	12.9	1.4	22.9
	40歳代(n=65)	16.9	12.3	4.6	3.1	27.7
	50歳代(n=57)	19.3	10.5	10.5	5.3	28.1
	60歳代(n=115)	20.0	5.2	17.4	6.1	34.8
	70歳以上(n=129)	17.8	6.2	12.4	3.9	40.3
地域別	牛窓地域(n=89)	21.3	16.9	7.9	3.4	46.1
	牛窓(n=50)	22.0	14.0	4.0	6.0	52.0
	鹿忍(n=24)	20.8	25.0	8.3	0.0	45.8
	長浜(n=15)	20.0	13.3	20.0	0.0	26.7
	邑久地域(n=213)	19.7	11.3	14.1	3.3	28.2
	邑久(n=96)	17.7	15.6	12.5	0.0	27.1
	福田(n=22)	18.2	4.5	27.3	9.1	36.4
	今城(n=30)	33.3	13.3	6.7	3.3	26.7
	豊原(n=12)	0.0	25.0	8.3	0.0	25.0
	本庄(n=11)	27.3	9.1	9.1	0.0	9.1
	笠加(n=14)	21.4	0.0	28.6	21.4	28.6
	玉津(n=13)	30.8	0.0	23.1	0.0	30.8
	裳掛(n=15)	6.7	0.0	6.7	6.7	40.0
	長船地域(n=157)	13.4	5.7	12.7	5.1	28.7
	美和(n=24)	16.7	4.2	12.5	8.3	8.3
国府(n=51)	9.8	5.9	11.8	2.0	35.3	
行幸(n=82)	14.6	6.1	13.4	6.1	30.5	

## 【前回調査との比較】

前回調査と比べ今回大きく重要度が高くなった項目としては、「16. 防災体制が整っており、災害に強いまち」などがあげられる一方、重要度が低くなった項目としては、「5. 高齢者が元気に暮らせるまち」などがあげられる。



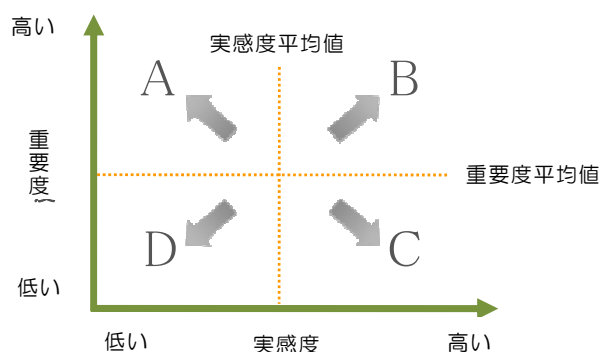
### 3. 実感度と重要度の相関図による分析

※略標記対応表／以下の図表等においては、各施策名を以下の略記対応表に従って記載している。

No	設問項目	略表記
1	安心して子どもを産み、育てることができるまち	安心して子育てできるまち
2	子どもたちが夢を持ち続けられるまち	子どもが夢を持てるまち
3	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	住んでいることを誇れるまち
4	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	住んでよかったと思えるまち
5	高齢者が元気に暮らせるまち	高齢者が元気に暮らせるまち
6	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	人権が尊重されるまち
7	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	学びあいつながるまち
8	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	国際性豊かなまち
9	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	健康でいきいきと暮らせるまち
10	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	安全安心な医療サービスのまち
11	障がい者が明日へ希望が持てるまち	障がい者が希望を持てるまち
12	生活に困窮する人が自立できるまち	生活困窮者が自立できるまち
13	市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持てるまち	市外の人も愛着が持てるまち
14	地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち	安全安心に暮らせるまち
15	地域みんなで防犯に力を入れているまち	防犯に力を入れているまち
16	防災体制が整っており、災害に強いまち	災害に強いまち
17	かしこい消費者が多いまち	かしこい消費者が多いまち
18	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち	交通弱者を守るまち
19	農林水産業で生活できるまち	農林水産業で生活できるまち
20	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	商工業者が取り組めるまち
21	企業が進出しやすい条件が整っているまち	企業が進出しやすいまち
22	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のあるまち
23	コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち	地域を改善していけるまち
24	市民の納税に対する意識が高いまち	納税意識が高いまち
25	すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち	自然景観・伝統・文化のまち

### 【実感度と重要度の相関図による分析】

実感度の加重平均値と重要度（無回答を除く件数を母数とした回答割合）それぞれの値をもとに、縦軸に重要度、横軸に実感度を設定し、25 の施策を散布図上に示したものが相関図である。



縦軸に重要度、横軸に実感度をとった相関図では、実感度と重要度をマトリクス上に示すことで、各施策の位置付けを整理する。実感度と重要度の各々の平均値を示す点から左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4方向に進むにしたいが、以下のような傾向を示している。

#### A. 重要度が高く、実感度が低い（重点化・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、実感度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め実感度を高める必要のある領域。

「16. 災害に強いまち」が該当する。

#### B. 重要度、実感度ともに高い（現状維持領域）

今後のまちづくりにおける重要度も実感度も高く、現時点での実感度の水準を維持していくことが必要な領域。

「1. 安心して子育てできるまち」「5. 高齢者が元気に暮らせるまち」などが該当する。

#### C. 重要度が低く、実感度が高い（現状維持・見直し領域）

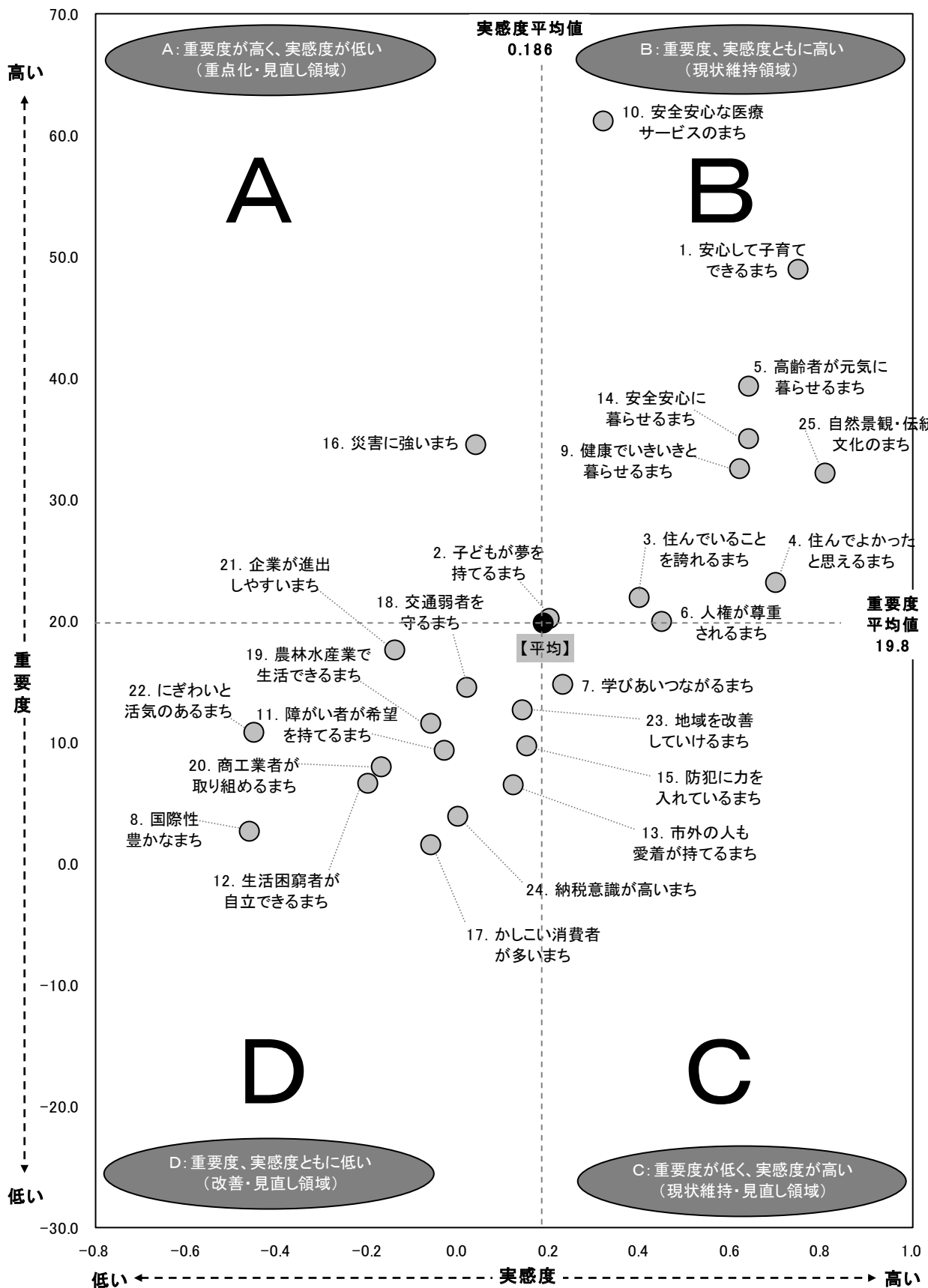
今後のまちづくりにおける重要度は低いものの実感度が高く、実感度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて見直すべき必要のある領域。

「7. 学びあいつながるまち」が該当する。

#### D. 重要度、実感度ともに低い（改善・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度も実感度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。

「8. 国際性豊かなまち」などが該当する。



【相関図の元データ】

No	設問項目	略表記	実感度	重要度
1	安心して子どもを産み、育てることができるまち	安心して子育てできるまち	0.750	48.9
2	子どもたちが夢を持ち続けられるまち	子どもが夢を持てるまち	0.200	20.1
3	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	住んでいることを誇れるまち	0.400	21.8
4	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	住んでよかったと思えるまち	0.700	23.1
5	高齢者が元気に暮らせるまち	高齢者が元気に暮らせるまち	0.640	39.3
6	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	人権が尊重されるまち	0.450	19.9
7	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	学びあいつながるまち	0.230	14.7
8	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	国際性豊かなまち	-0.460	2.6
9	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	健康でいきいきと暮らせるまち	0.620	32.5
10	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	安全安心な医療サービスのまち	0.320	61.1
11	障がい者が明日へ希望を持てるまち	障がい者が希望を持てるまち	-0.030	9.2
12	生活に困窮する人が自立できるまち	生活困窮者が自立できるまち	-0.200	6.6
13	市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着を持てるまち	市外の人も愛着を持てるまち	0.120	6.4
14	地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち	安全安心に暮らせるまち	0.640	35.0
15	地域みんなで防犯に力を入れているまち	防犯に力を入れているまち	0.150	9.6
16	防災体制が整っており、災害に強いまち	災害に強いまち	0.040	34.4
17	かしこい消費者が多いまち	かしこい消費者が多いまち	-0.060	1.5
18	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち	交通弱者を守るまち	0.020	14.5
19	農林水産業で生活できるまち	農林水産業で生活できるまち	-0.060	11.5
20	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	商工業者が取り組めるまち	-0.170	7.9
21	企業が進出しやすい条件が整っているまち	企業が進出しやすいまち	-0.140	17.5
22	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のあるまち	-0.450	10.7
23	コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち	地域を改善していけるまち	0.140	12.6
24	市民の納税に対する意識が高いまち	納税意識が高いまち	0.000	3.8
25	すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち	自然景観・伝統・文化のまち	0.810	32.1
平均→			0.186	19.8

注：実感度はウエイト付けによる加重平均値、重要度は無回答者を除く母数(n=484)に対する回答割合を示している。



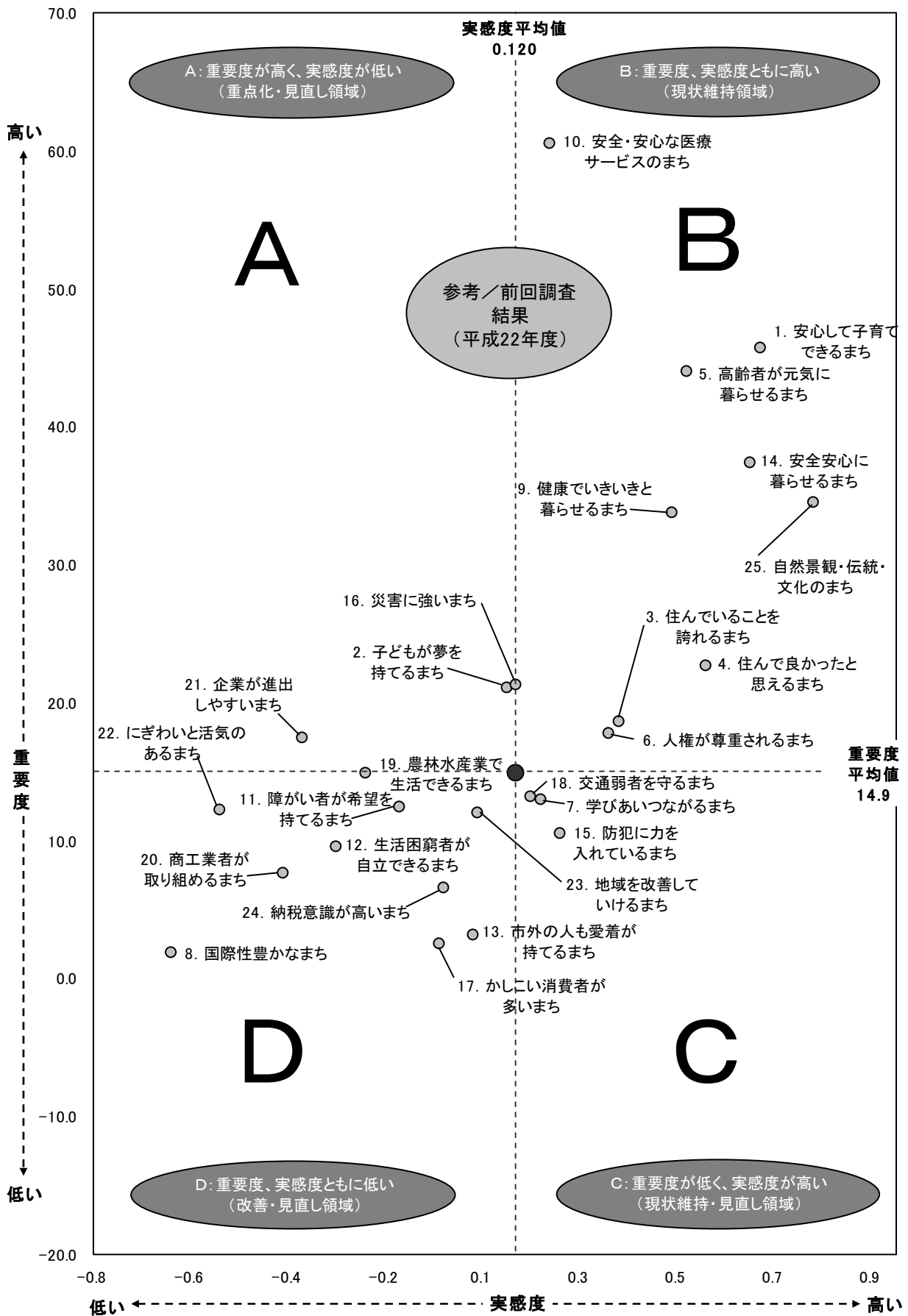
## 【前回調査との比較】

前回の相関図と比べ今回大きく変化した項目としては、「16. 災害に強いまち」が（B）から（A）へ、「15. 防犯に力を入れているまち」「18. 交通弱者を守るまち」が（C）から（D）へそれぞれ移行している。また「2. 子どもが夢を持てるまち」が（A）から（B）へ、「21. 企業が進出しやすいまち」が（A）から（D）へそれぞれ移行している。

No	略表記	前回調査結果		散布図象限	今回調査結果		散布図象限
		実感度	重要度		実感度	重要度	
1	安心して子育てできるまち	0.620	45.7	B	0.750	48.9	B
2	子どもが夢を持てるまち	0.100	21.1	A	0.200	20.1	B
3	住んでいることを誇れるまち	0.330	18.6	B	0.400	21.8	B
4	住んでよかったと思えるまち	0.510	22.7	B	0.700	23.1	B
5	高齢者が元気に暮らせるまち	0.470	44.0	B	0.640	39.3	B
6	人権が尊重されるまち	0.310	17.8	B	0.450	19.9	B
7	学びあいつながるまち	0.170	13.0	C	0.230	14.7	C
8	国際性豊かなまち	-0.590	1.9	D	-0.460	2.6	D
9	健康でいきいきと暮らせるまち	0.440	33.7	B	0.620	32.5	B
10	安全安心な医療サービスのまち	0.190	60.5	B	0.320	61.1	B
11	障がい者が希望を持てるまち	-0.120	12.4	D	-0.030	9.2	D
12	生活困窮者が自立できるまち	-0.250	9.5	D	-0.200	6.6	D
13	市外の人愛着が持てるまち	0.030	3.1	D	0.120	6.4	D
14	安全安心に暮らせるまち	0.600	37.4	B	0.640	35.0	B
15	防犯に力を入れているまち	0.210	10.5	C	0.150	9.6	D
16	災害に強いまち	0.120	21.3	B	0.040	34.4	A
17	かしこい消費者が多いまち	-0.040	2.5	D	-0.060	1.5	D
18	交通弱者を守るまち	0.150	13.2	C	0.020	14.5	D
19	農林水産業で生活できるまち	-0.190	14.9	D	-0.060	11.5	D
20	商工業者が取り組めるまち	-0.360	7.6	D	-0.170	7.9	D
21	企業が進出しやすいまち	-0.320	17.4	A	-0.140	17.5	D
22	にぎわいと活気のあるまち	-0.490	12.2	D	-0.450	10.7	D
23	地域を改善していけるまち	0.040	12.0	D	0.140	12.6	D
24	納税意識が高いまち	-0.030	6.6	D	0.000	3.8	D
25	自然景観・伝統・文化のまち	0.730	34.5	B	0.810	32.1	B
平均		0.105	19.8		0.186	19.8	

注：「網掛け」は前回から今回で散布図象限が変わった項目を示している。

【参考／前回調査における相関図】



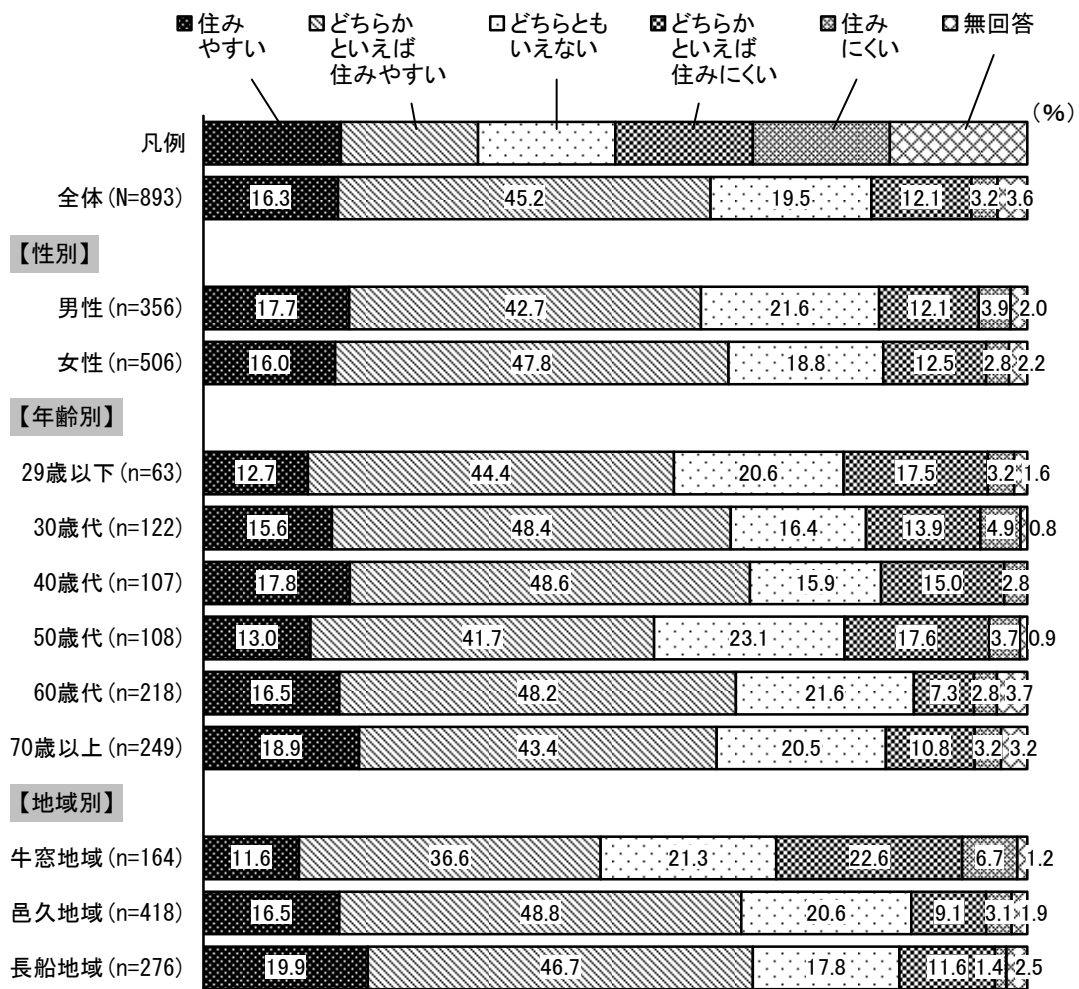
## 【2】瀬戸内市の住みやすさについて

### 1. 住みやすさ評価

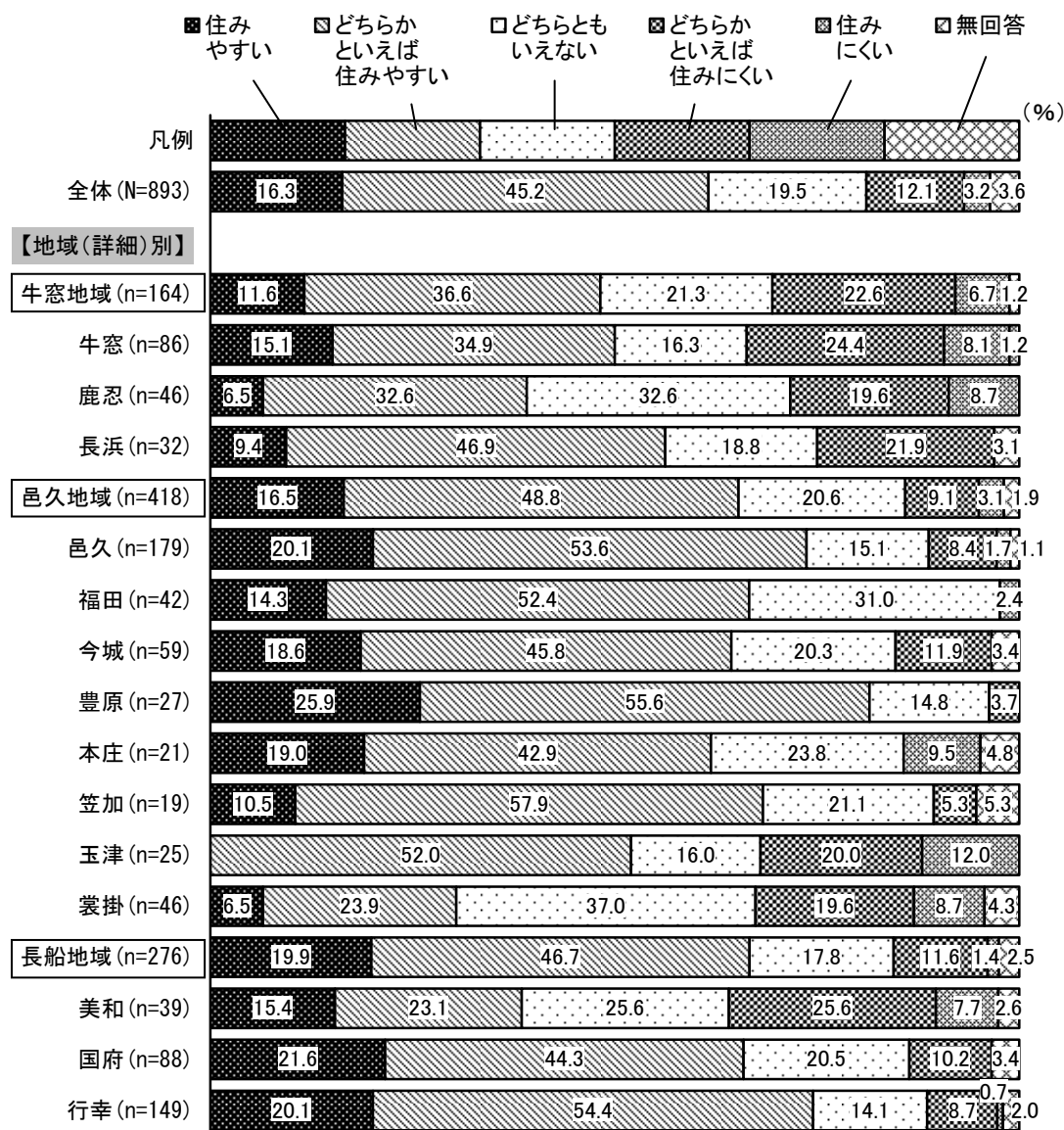
問3 あなたは、瀬戸内市は住みやすいまちだと思いますか。(1つに○印)

瀬戸内市の住みやすさについては、「住みやすい」が16.3%、「どちらかといえば住みやすい」が45.2%の内訳で、合計6割以上(61.5%)が住みやすいと評価している。なお、「どちらかといえば住みにくい」(12.1%)、「住みにくい」(3.2%)を合計した「住みにくい」評価は15.3%であった。

性別では大きな男女差は目立たないが、年齢別では29歳以下や50歳代、地域別では牛窓地域において「住みやすさ」評価がやや低い結果となっている。

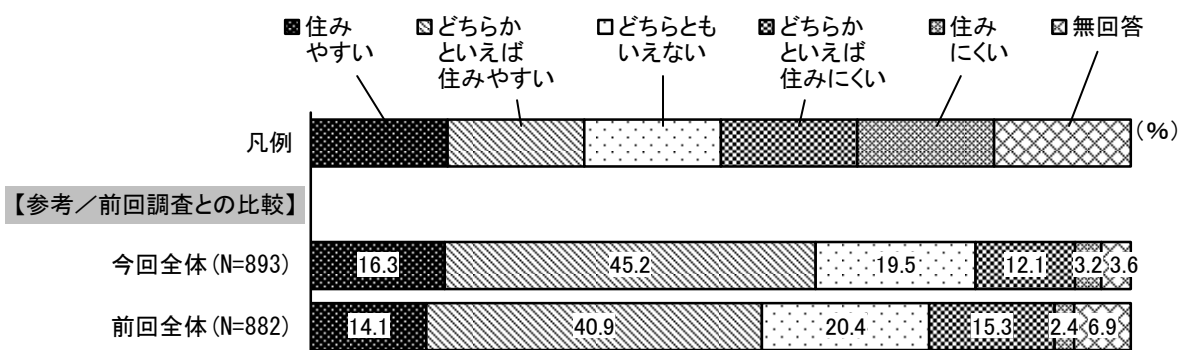


地域別を詳細にみると、「住みやすい」への回答が多いのは畠久、豊原、国府、行幸などであり、一方で、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」への回答が多いのは牛窓、玉津、美和などがあげられる。



**【前回調査との比較】**

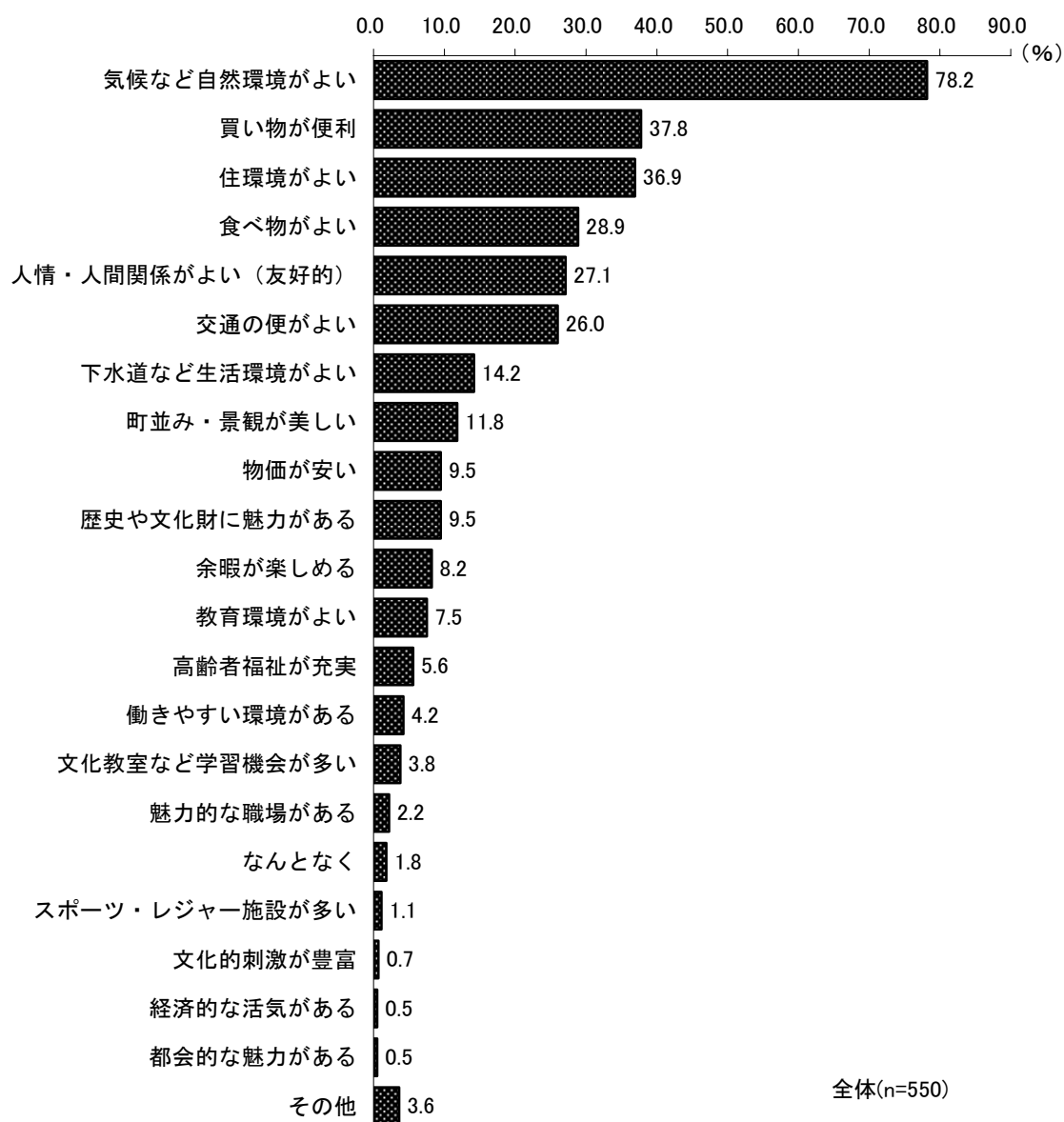
前回調査に比べ「どちらかといえば住みやすい」がやや増加しており、住みやすいと評価する割合は増加している。



## 2. 住みやすいと思う理由

問3付問1 問3で「1 住みやすい」及び「2 どちらかといえば住みやすい」を選んだ方のみお答えください。あなたが、住みやすいと思う理由は何ですか。  
(4つまで番号に○印)

住みやすいと思う理由については、「気候など自然環境がよい」が78.2%と最も多く突出している。次いで「買い物が便利」(37.8%)、「住環境がよい」(36.9%)、「食べ物がよい」(28.9%)、「人情・人間関係がよい(友好的)」(27.1%)、「交通の便がよい」(26.0%)などの順となっている。



性別でみると、男性は「余暇が楽しめる」、女性は「食べ物がよい」が多い点で男女差が比較的大きい。

年齢別では、特に29歳以下において「町並み・景観が美しい」「物価が安い」、40歳代で「住環境がよい」、70歳以上で「食べ物がよい」などがそれぞれ多くみられる。

地域別では、邑久、福田、豊原、笠加で「買い物便利」への回答が多く、玉津では「住環境がよい」、長浜、玉津では「人情・人間関係がよい（友好的）」の回答が多くなっている。また、牛窓、鹿忍では「町並み・景観が美しい」が多くなっている。

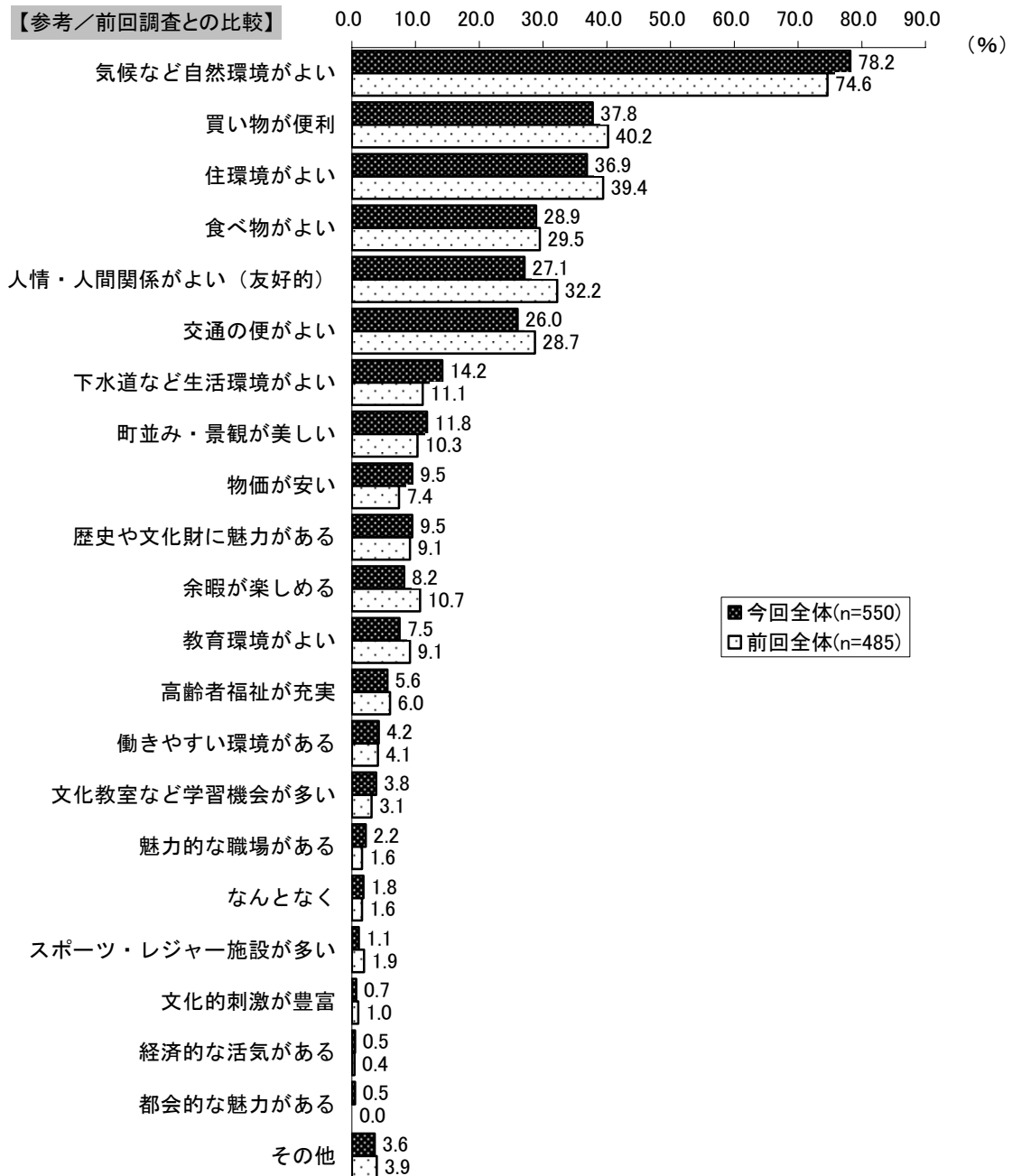
単位(%)		よい気候など自然環境が	買い物便利	住環境がよい	食べ物がよい	い人情・人間関係がよい(友好的)	交通の便がよい	が下水道など生活環境	い町並み・景観が美しい	物価が安い	歴史や文化財に魅力がある	余暇が楽しめる	教育環境がよい
全体(n=550)		78.2	37.8	36.9	28.9	27.1	26.0	14.2	11.8	9.5	9.5	8.2	7.5
性別	男性(n=215)	81.4	38.6	39.5	24.2	29.3	29.8	16.3	10.7	8.8	10.2	13.0	6.0
	女性(n=323)	75.9	37.2	35.6	31.9	25.4	23.2	13.3	12.4	9.9	8.7	4.6	8.7
年齢別	29歳以下(n=36)	66.7	30.6	38.9	13.9	33.3	16.7	2.8	25.0	30.6	8.3	2.8	13.9
	30歳代(n=78)	66.7	41.0	38.5	16.7	19.2	26.9	3.8	11.5	11.5	2.6	5.1	17.9
	40歳代(n=71)	73.2	35.2	47.9	25.4	29.6	25.4	2.8	14.1	8.5	9.9	8.5	8.5
	50歳代(n=59)	79.7	28.8	37.3	30.5	23.7	22.0	8.5	13.6	10.2	13.6	6.8	11.9
	60歳代(n=141)	82.3	41.8	44.0	26.2	25.5	31.9	22.0	7.8	7.1	7.1	9.9	4.3
	70歳以上(n=155)	85.2	38.1	25.2	40.6	31.0	24.5	23.2	10.3	6.5	12.9	9.7	1.9
地域別	牛窓地域(n=79)	89.9	0.0	31.6	41.8	46.8	1.3	10.1	31.6	6.3	16.5	13.9	3.8
	牛窓(n=43)	90.7	0.0	30.2	41.9	48.8	2.3	9.3	37.2	4.7	25.6	16.3	4.7
	鹿忍(n=18)	94.4	0.0	27.8	50.0	27.8	0.0	11.1	33.3	11.1	11.1	5.6	0.0
	長浜(n=18)	83.3	0.0	38.9	33.3	61.1	0.0	11.1	16.7	5.6	0.0	16.7	5.6
	邑久地域(n=273)	76.2	52.4	38.1	32.2	24.5	31.9	12.1	8.1	10.3	6.6	6.2	8.8
	邑久(n=132)	68.9	66.7	36.4	25.0	18.9	40.2	12.1	7.6	10.6	4.5	5.3	9.1
	福田(n=28)	64.3	50.0	46.4	21.4	21.4	32.1	25.0	10.7	7.1	3.6	14.3	7.1
	今城(n=38)	81.6	28.9	34.2	39.5	26.3	18.4	0.0	15.8	13.2	15.8	0.0	10.5
	豊原(n=22)	95.5	72.7	40.9	36.4	22.7	45.5	4.5	9.1	4.5	4.5	0.0	4.5
	本庄(n=13)	92.3	46.2	30.8	30.8	23.1	30.8	15.4	0.0	15.4	15.4	15.4	15.4
	笠加(n=13)	84.6	53.8	46.2	61.5	30.8	30.8	0.0	7.7	15.4	7.7	0.0	15.4
	玉津(n=13)	100.0	0.0	61.5	23.1	61.5	0.0	38.5	0.0	0.0	7.7	23.1	7.7
	裳掛(n=14)	78.6	7.1	21.4	78.6	42.9	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0
	長船地域(n=184)	77.2	30.4	37.5	17.9	23.4	28.8	20.1	8.7	9.8	10.9	8.7	7.6
	美和(n=15)	86.7	13.3	33.3	33.3	13.3	6.7	33.3	13.3	0.0	6.7	13.3	6.7
	国府(n=58)	75.9	25.9	36.2	24.1	25.9	31.0	15.5	8.6	6.9	12.1	10.3	10.3
行幸(n=111)	76.6	35.1	38.7	12.6	23.4	30.6	20.7	8.1	12.6	10.8	7.2	6.3	

→次ページに続く

単位(%)		高齢者福祉が充実	働きやすい環境がある	文化教室など学習機会が多い	魅力的な職場がある	なんとなく	スポーツ・レジャー施設が多い	文化的刺激が豊富	経済的な活気がある	都会的な魅力がある	その他
全体(n=550)		5.6	4.2	3.8	2.2	1.8	1.1	0.7	0.5	0.5	3.6
性別	男性(n=215)	2.3	2.3	1.9	0.9	1.4	1.4	0.9	0.5	0.0	1.9
	女性(n=323)	7.7	5.6	5.0	2.5	2.2	0.9	0.6	0.6	0.9	5.0
年齢別	29歳以下(n=36)	5.6	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
	30歳代(n=78)	2.6	2.6	0.0	1.3	7.7	2.6	0.0	0.0	0.0	6.4
	40歳代(n=71)	1.4	5.6	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	4.2
	50歳代(n=59)	1.7	5.1	0.0	1.7	1.7	1.7	1.7	0.0	0.0	3.4
	60歳代(n=141)	4.3	2.8	5.7	0.7	2.1	0.7	0.0	0.0	0.0	1.4
	70歳以上(n=155)	11.6	3.2	8.4	0.0	0.0	1.3	1.9	0.6	1.3	3.9
地域別	牛窓地域(n=79)	5.1	6.3	5.1	1.3	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3
	牛窓(n=43)	4.7	4.7	2.3	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3
	鹿忍(n=18)	5.6	5.6	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	長浜(n=18)	5.6	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	邑久地域(n=273)	5.1	3.7	3.3	1.5	1.8	1.8	0.7	1.1	0.7	3.7
	邑久(n=132)	2.3	4.5	3.0	2.3	3.0	2.3	0.8	0.8	0.8	3.0
	福田(n=28)	3.6	0.0	3.6	0.0	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	7.1
	今城(n=38)	10.5	2.6	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	5.3
	豊原(n=22)	4.5	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
	本庄(n=13)	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	笠加(n=13)	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
	玉津(n=13)	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	裳掛(n=14)	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1
	長船地域(n=184)	7.1	4.3	4.3	3.3	2.2	0.5	0.5	0.0	0.5	3.8
	美和(n=15)	13.3	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
国府(n=58)	3.4	6.9	3.4	6.9	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7	8.6	
行幸(n=111)	8.1	3.6	4.5	1.8	2.7	0.0	0.9	0.0	0.0	1.8	

## 【前回調査との比較】

前回調査と比べて「気候など自然環境がよい」「下水道など生活環境がよい」などはやや増加している。一方、「人情・人間関係がよい（友好的）」「交通の便がよい」などはやや減少した。

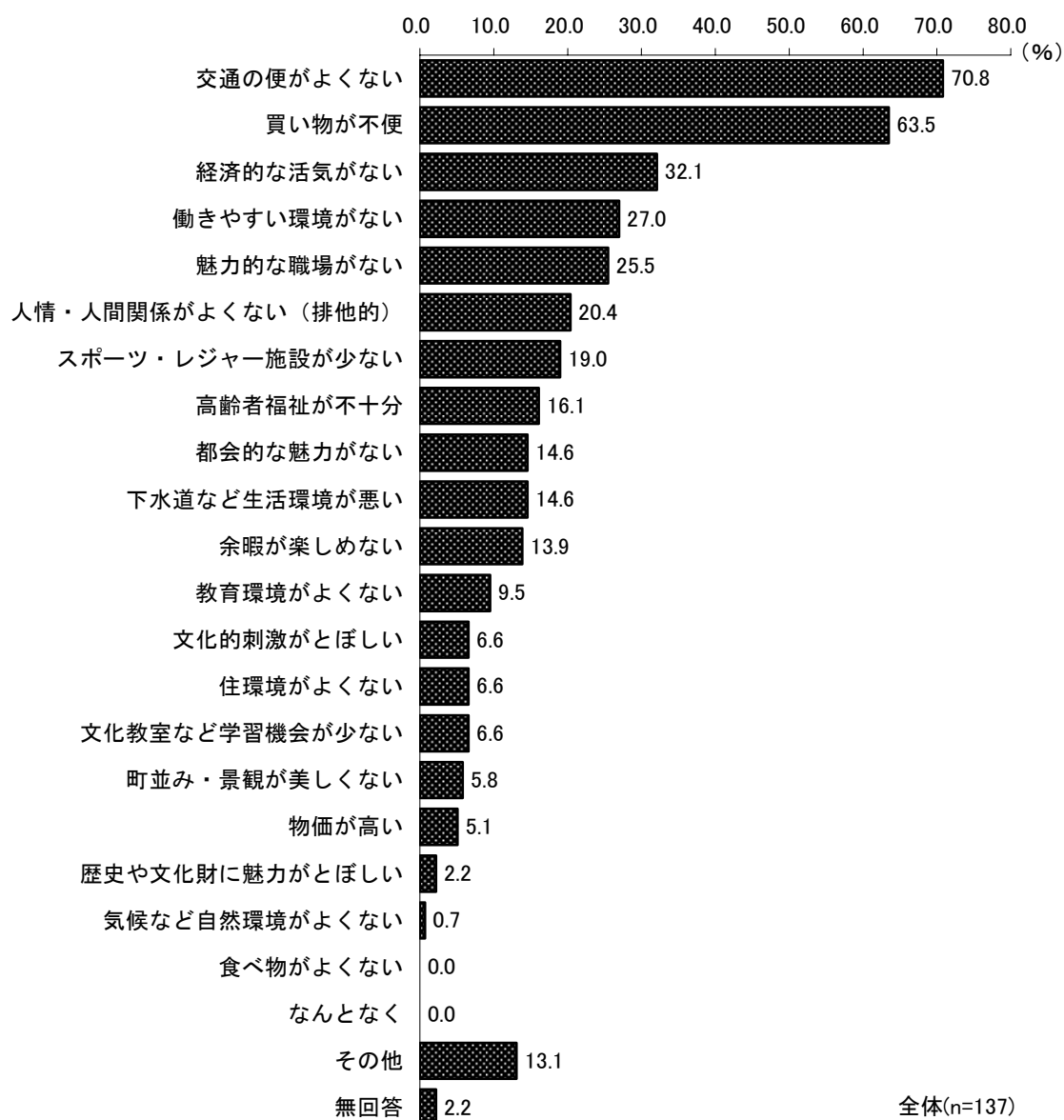




### 3. 住みにくいと思う理由

問3付問2 問3で「4 どちらかといえば住みにくい」及び「5 住みにくい」を選んだ方のみお答えください。あなたが、住みにくいと思う理由は何ですか。  
(4つまで番号に○印)

住みにくいと思う理由については、「交通の便がよくない」が70.8%と最も多く、次いで「買い物不便」(63.5%)が続き、両者が主な理由となっている。以下「経済的な活気がない」(32.1%)、「働きやすい環境がない」(27.0%)、「魅力的な職場がない」(25.5%)などの順となっている。



性別でみると、男性は「経済的な活気がない」「高齢者福祉が不十分」などが女性に比べ多くみられ、女性は「交通の便がよくない」「買い物が不便」が多い点などで男女差が比較的大きい。

年齢別では、29歳以下の若い層において「働きやすい環境がない」、60歳代で「魅力的な職場がない」、70歳以上において「買い物が不便」、60歳代以上の年齢層で「高齢者福祉が不十分」などがそれぞれ多くみられる。

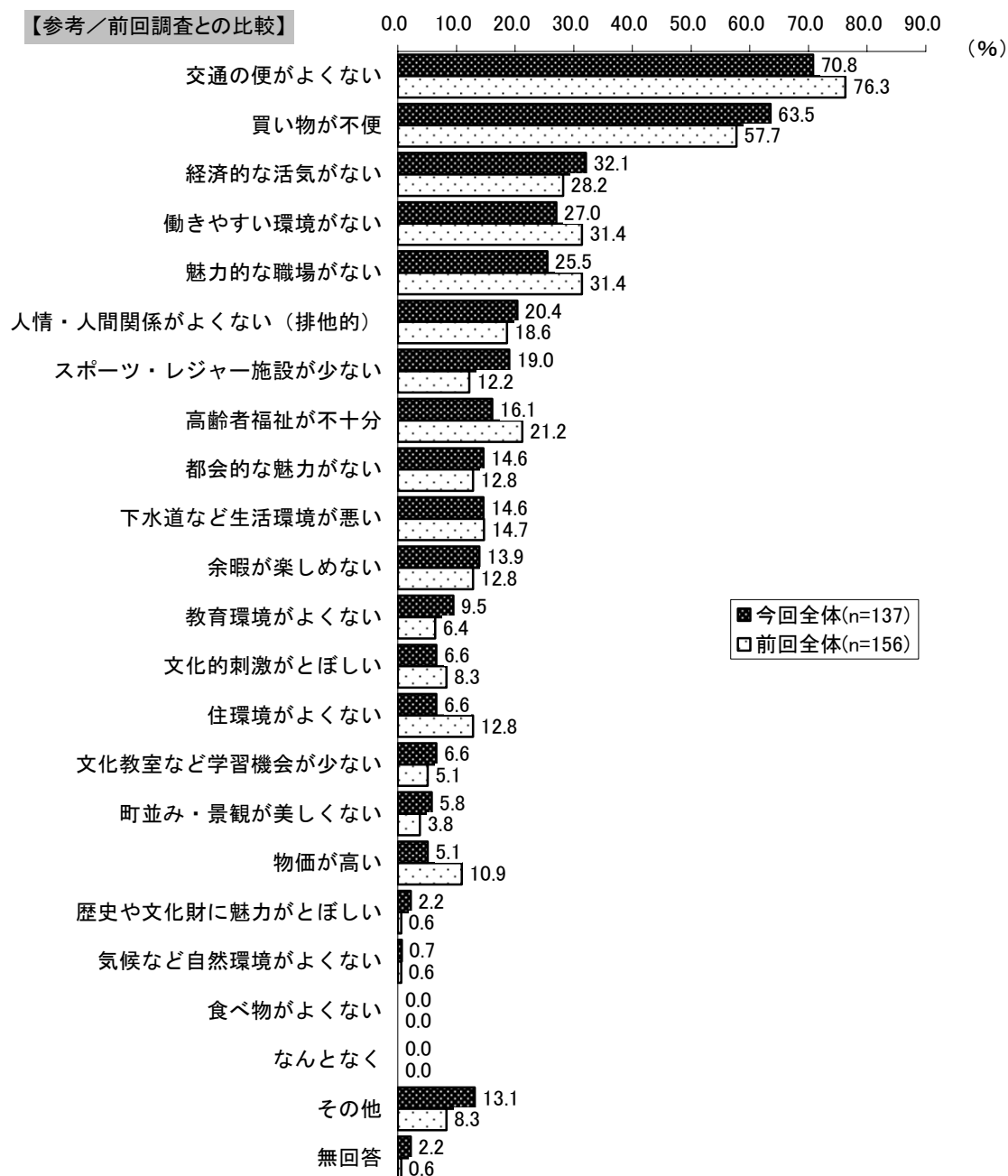
地域別では、牛窓地域、長船地域で「買い物が不便」、牛窓地域では「経済的な活気がない」、長船地域では「スポーツ・レジャー施設が少ない」「余暇が楽しめない」がそれぞれ多い。

単位(%)		交通の便がよくない	買い物が不便	経済的な活気がない	働きやすい環境がない	魅力的な職場がない	人情・人間関係がよくない(排他的)	スポーツ・レジャー施設が少ない	高齢者福祉が不十分	都会的な魅力がない	下水道など生活環境が悪い	余暇が楽しめない	教育環境がよくない
全体(n=137)		70.8	63.5	32.1	27.0	25.5	20.4	19.0	16.1	14.6	14.6	13.9	9.5
性別	男性(n=57)	61.4	50.9	42.1	24.6	28.1	22.8	17.5	21.1	17.5	15.8	10.5	5.3
	女性(n=77)	77.9	71.4	26.0	29.9	24.7	19.5	19.5	11.7	11.7	13.0	15.6	13.0
年齢別	29歳以下(n=13)	69.2	46.2	7.7	46.2	30.8	0.0	30.8	7.7	30.8	7.7	30.8	0.0
	30歳代(n=23)	69.6	65.2	39.1	30.4	17.4	17.4	26.1	0.0	21.7	8.7	13.0	13.0
	40歳代(n=19)	63.2	47.4	31.6	36.8	26.3	15.8	15.8	0.0	5.3	15.8	0.0	5.3
	50歳代(n=23)	73.9	69.6	26.1	13.0	30.4	21.7	34.8	13.0	8.7	8.7	21.7	21.7
	60歳代(n=22)	63.6	54.5	40.9	36.4	40.9	27.3	9.1	31.8	22.7	27.3	4.5	9.1
	70歳以上(n=35)	77.1	80.0	34.3	17.1	14.3	25.7	5.7	31.4	8.6	17.1	17.1	2.9
地域別	牛窓地域(n=48)	79.2	79.2	47.9	20.8	29.2	16.7	16.7	8.3	8.3	14.6	10.4	8.3
	邑久地域(n=51)	60.8	43.1	27.5	35.3	25.5	27.5	13.7	19.6	15.7	15.7	9.8	5.9
	長船地域(n=36)	72.2	75.0	16.7	25.0	19.4	13.9	30.6	22.2	19.4	13.9	25.0	13.9

単位(%)		文化的刺激がとぼしい	住環境がよくない	文化教室など学習機会が少ない	町並み・景観が美しい	物価が高い	歴史や文化財に魅力がとぼしい	気候など自然環境がよくない	食べ物がよくない	なんとなく	その他
全体(n=137)		6.6	6.6	6.6	5.8	5.1	2.2	0.7	0.0	0.0	13.1
性別	男性(n=57)	8.8	5.3	3.5	7.0	5.3	3.5	0.0	0.0	0.0	15.8
	女性(n=77)	5.2	7.8	9.1	5.2	5.2	1.3	1.3	0.0	0.0	10.4
年齢別	29歳以下(n=13)	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1
	30歳代(n=23)	4.3	0.0	13.0	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	13.0
	40歳代(n=19)	5.3	5.3	5.3	5.3	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	26.3
	50歳代(n=23)	8.7	17.4	0.0	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	17.4
	60歳代(n=22)	4.5	4.5	4.5	9.1	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	13.6
	70歳以上(n=35)	8.6	8.6	8.6	2.9	5.7	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	牛窓地域(n=48)	8.3	4.2	6.3	4.2	6.3	2.1	0.0	0.0	0.0	10.4
	邑久地域(n=51)	9.8	5.9	9.8	7.8	3.9	2.0	0.0	0.0	0.0	11.8
	長船地域(n=36)	0.0	11.1	2.8	2.8	5.6	2.8	2.8	0.0	0.0	19.4

## 【前回調査との比較】

前回調査と比べて「買い物不便」「スポーツ・レジャー施設が少ない」などが増加している。一方、「交通の便がよくない」「魅力的な職場がない」「高齢者福祉が不十分」「住環境がよくない」「物価が高い」などは減少している。



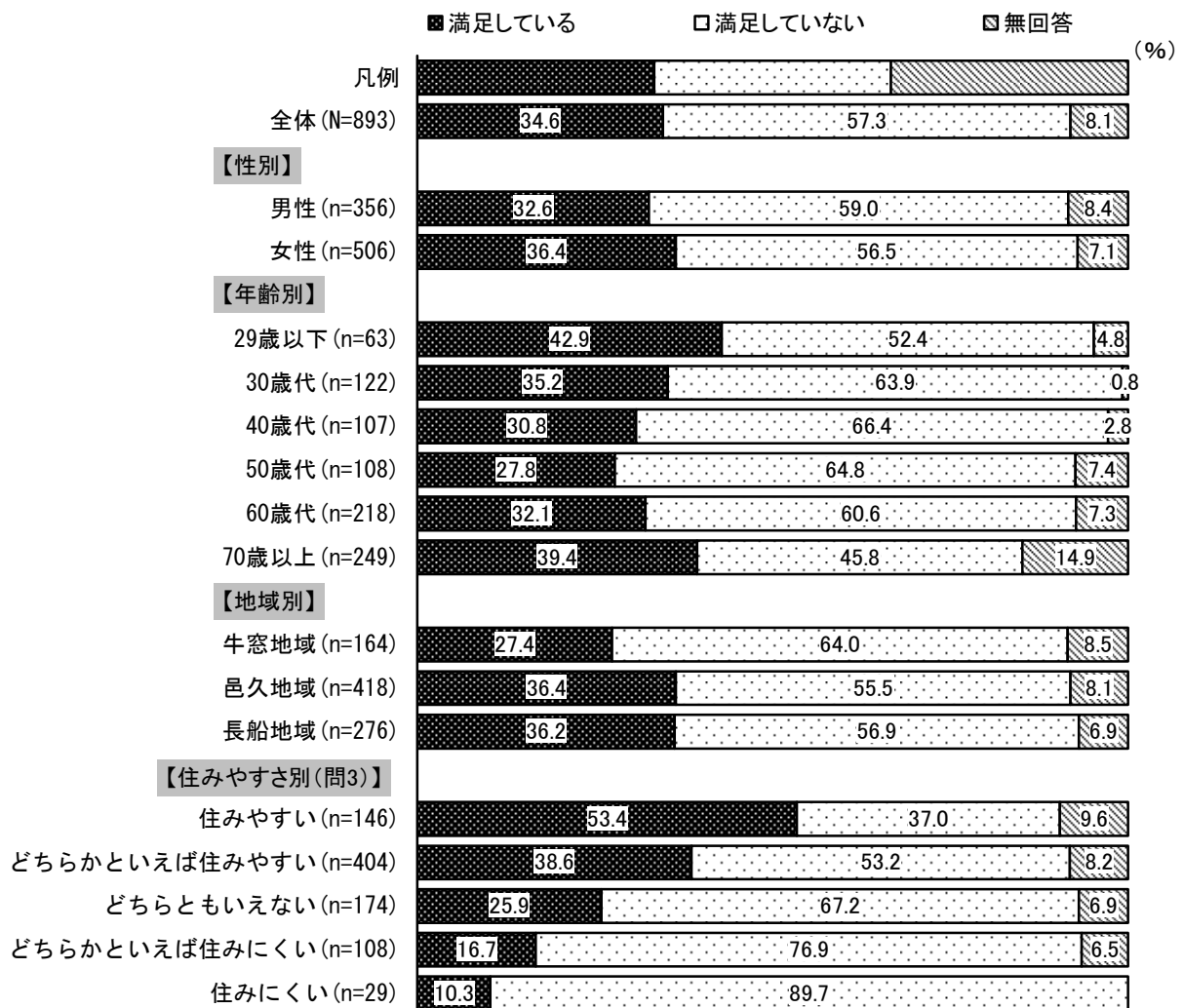
【3】 行動や考えについて

問2 あなたの日頃の行動や考えについておたずねします。下記の(1)～(33)の項目ごとに、回答欄の2つの選択肢（(17)については4つ）から、あてはまるものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

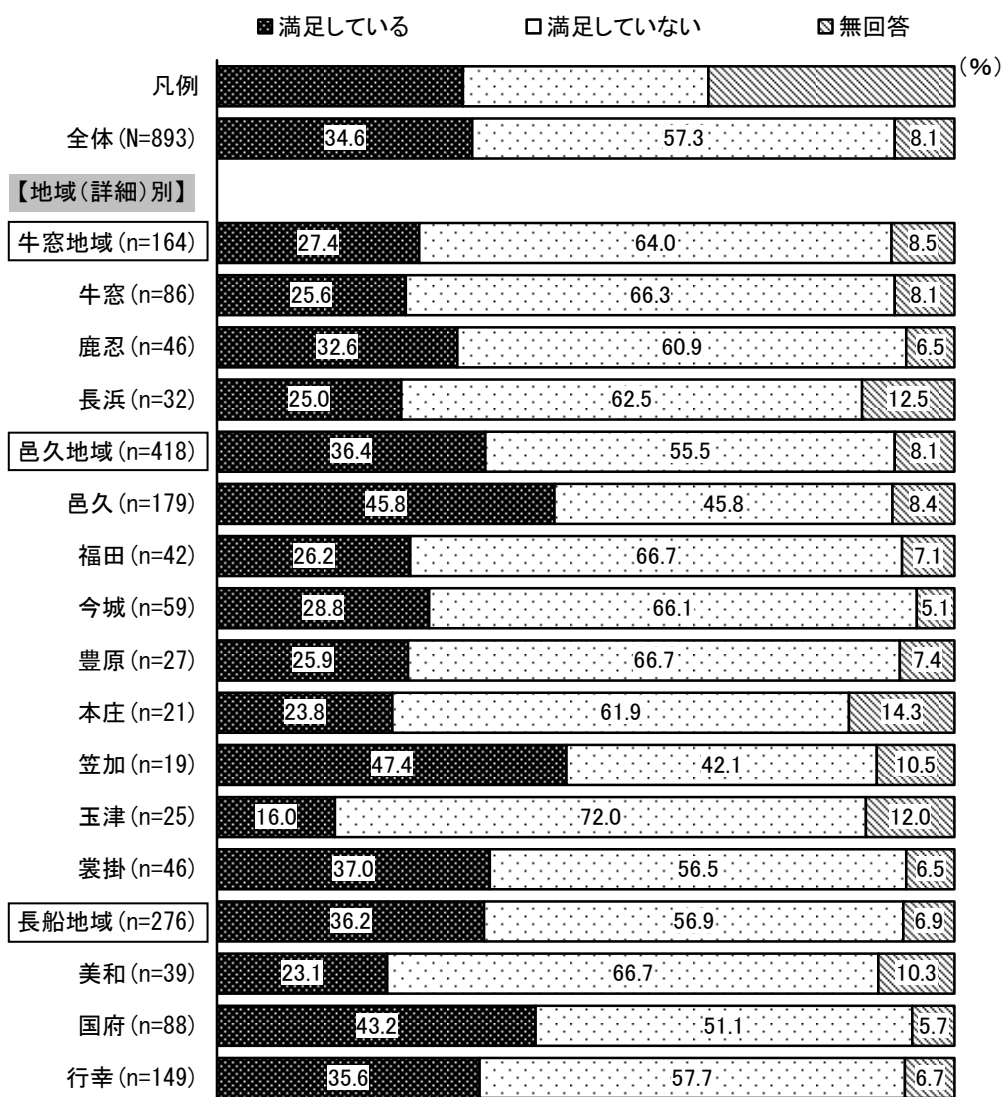
1. 市役所が行うまちづくりの取組への満足感

(1) あなたは、市役所が行うまちづくりの取組について満足していますか。

市役所が行うまちづくりの取組への満足感については、「満足している」が34.6%であった。性別では女性、年齢別では29歳以下と70歳以上において比較的満足度が高くみられる。地域別では、牛窓地域において満足度がやや低い。住みやすさ別では、住みやすいと評価している層ほど満足度も高く、相関関係がみられる。

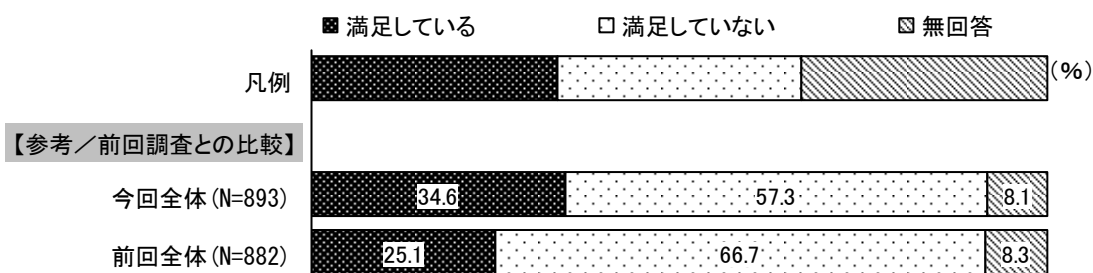


地域別を詳細にみると、笠加、邑久、国府において、他の地域に比べて満足度が高くなっている。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ「満足している」は増加している。



## 2. 人権が守られていることについて

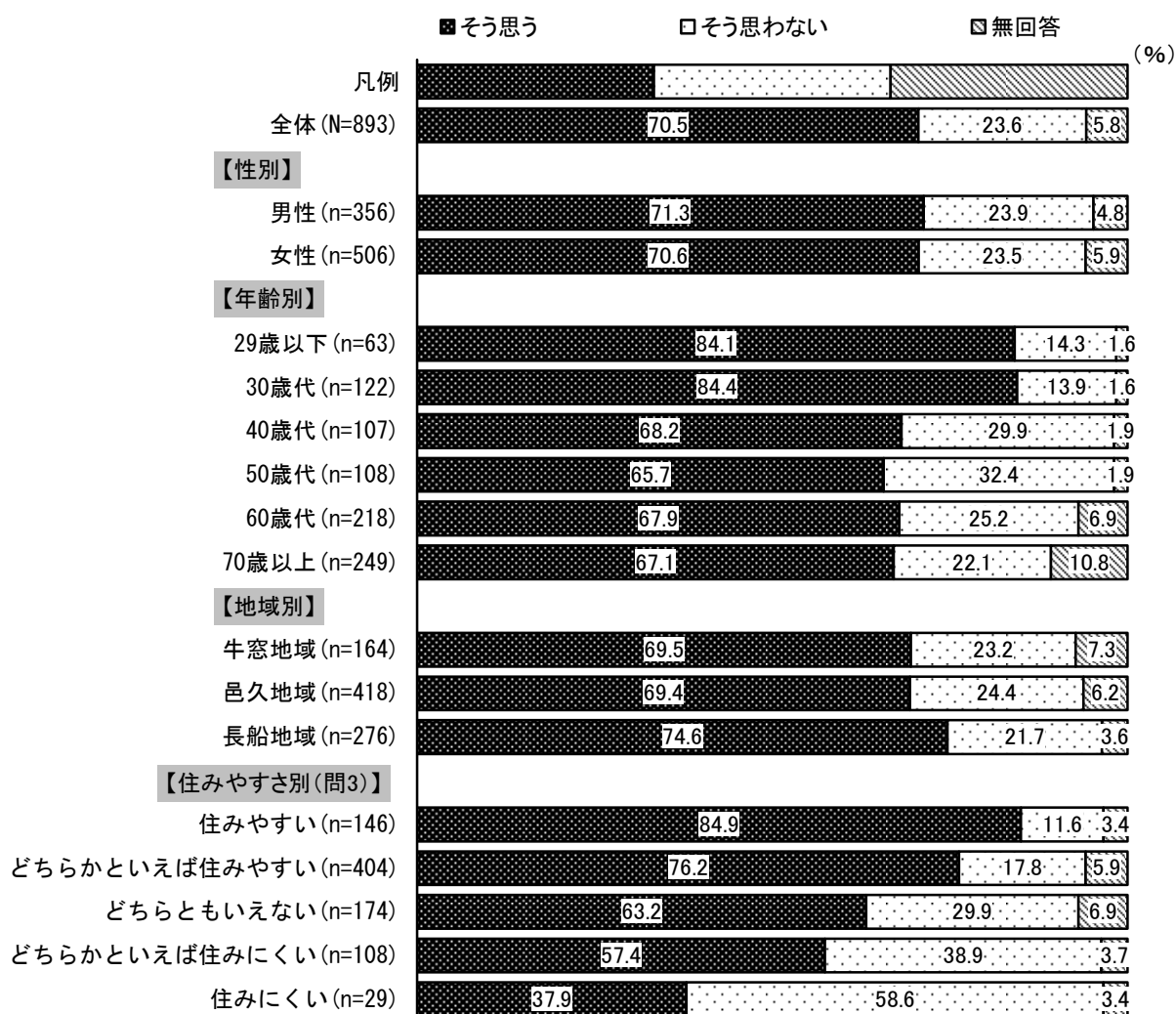
(2) あなたは、ご自身の人権が守られていると思いますか。

人権が守られていることについては、「そう思う」が70.5%であった。

性別では大きな差は目立たず、年齢別では30歳以下において「そう思う」への回答が多くみられる。

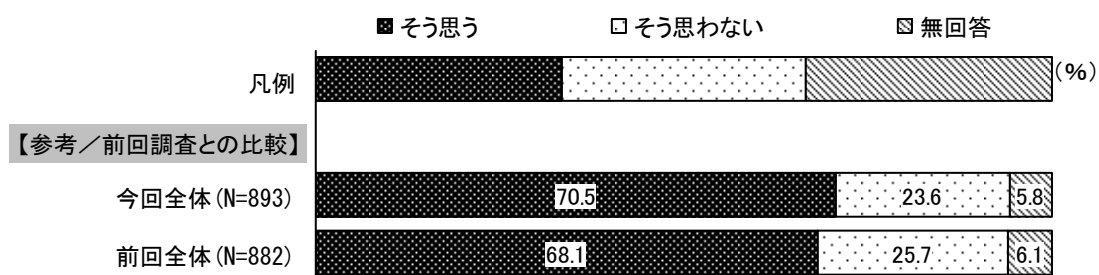
地域別では、長船地域で「そう思う」への回答が多いが、大きな地域差は目立たない。

住みやすさ別では、住みやすいと回答した層ほど「そう思う」が多く、相関関係がみられる。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ大きな差は目立たない。

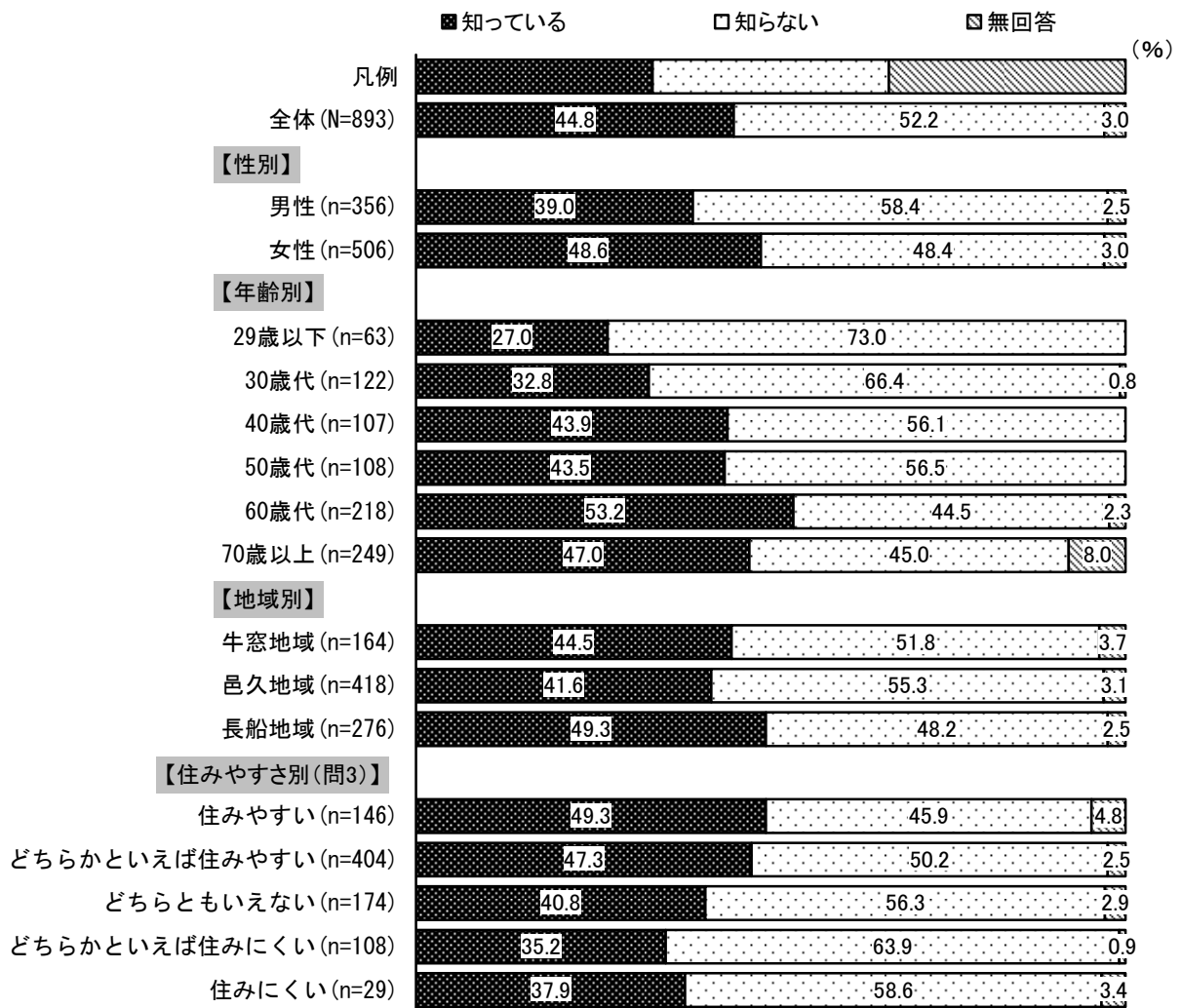


### 3. 「人権・なやみごと相談」窓口認知状況

(3) あなたは、人権問題について相談できる「人権・なやみごと相談」の窓口を知っていますか。

「人権・なやみごと相談」窓口認知状況については、「知っている」が44.8%であった。性別では女性、年齢別では40歳以上の各年齢層のほぼ4割以上が認知している。しかし、30歳代以下では3割前後にとどまる。

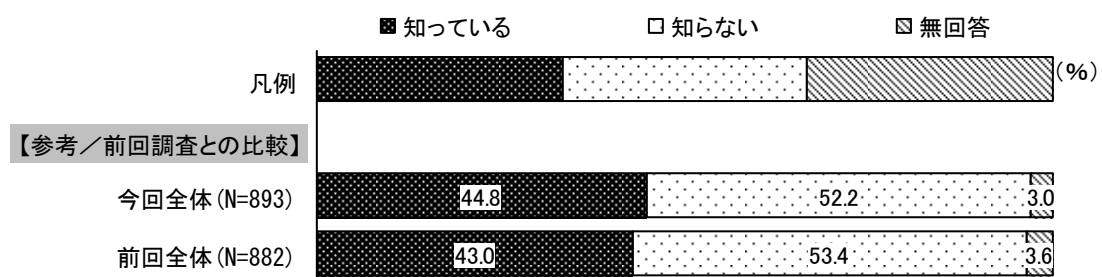
地域別では、長船地域、住みやすさ別では、住みやすいと回答した層ほど「知っている」が多くみられる。





### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ大きな差は目立たない。



#### 4. 近所の子どもに会ったときのあいさつや声かけについて

(4) あなたは、近所の子どもに会ったときに、あいさつや声かけをしていますか。

近所の子どもに会ったときのあいさつや声かけについては、「あいさつや声かけをしている」が80.4%と、大半があいさつなどを行っている。

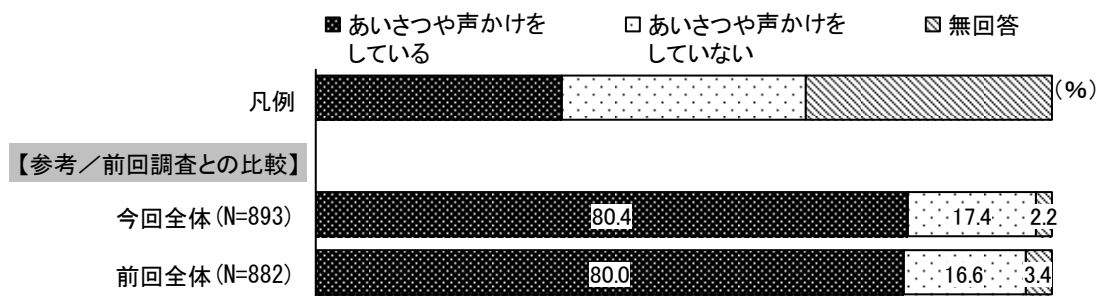
性別では、男性に比べ女性で「あいさつや声かけをしている」が多くみられ、年齢別では特に60歳代で9割（90.8%）が「あいさつや声かけをしている」と回答している。

この他、地域別、住みやすさ別による大きな差は目立たない。



## 【前回調査との比較】

前回調査に比べ大きな差は目立たない。

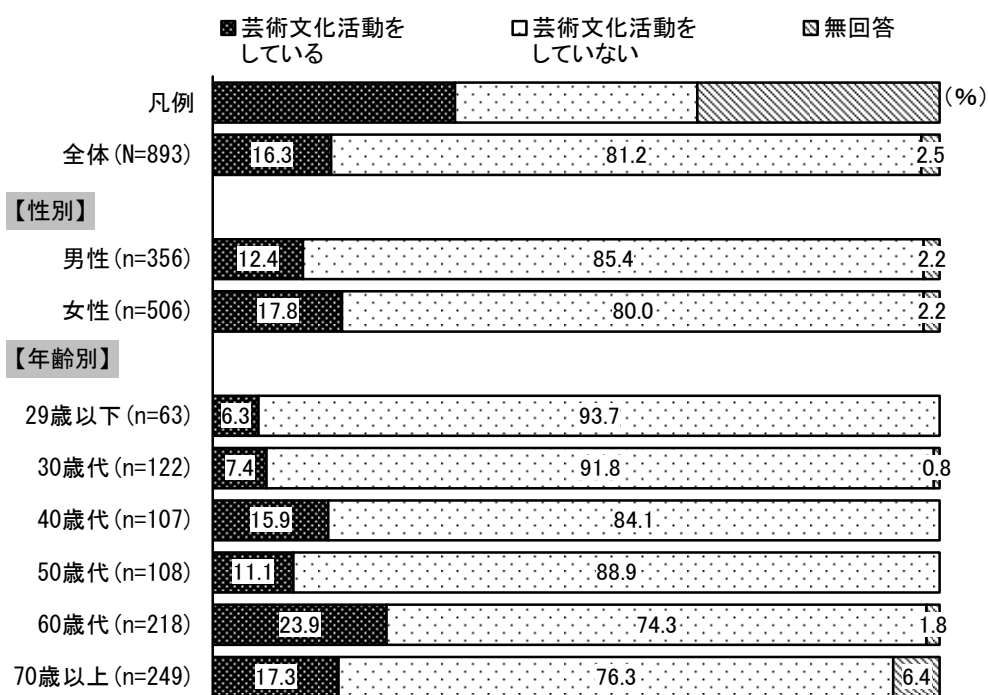


## 5. 芸術文化活動状況

(5) あなたは、芸術文化活動をしていますか。

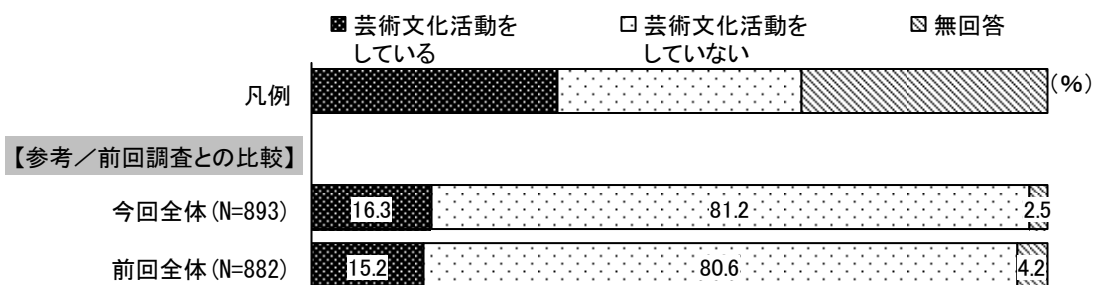
芸術文化活動状況については、「芸術文化活動をしている」は16.3%であった。

性別では女性でやや多く、年齢別では60歳代や70歳以上の年配層において比較的多くみられる。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ大きな差は目立たない。

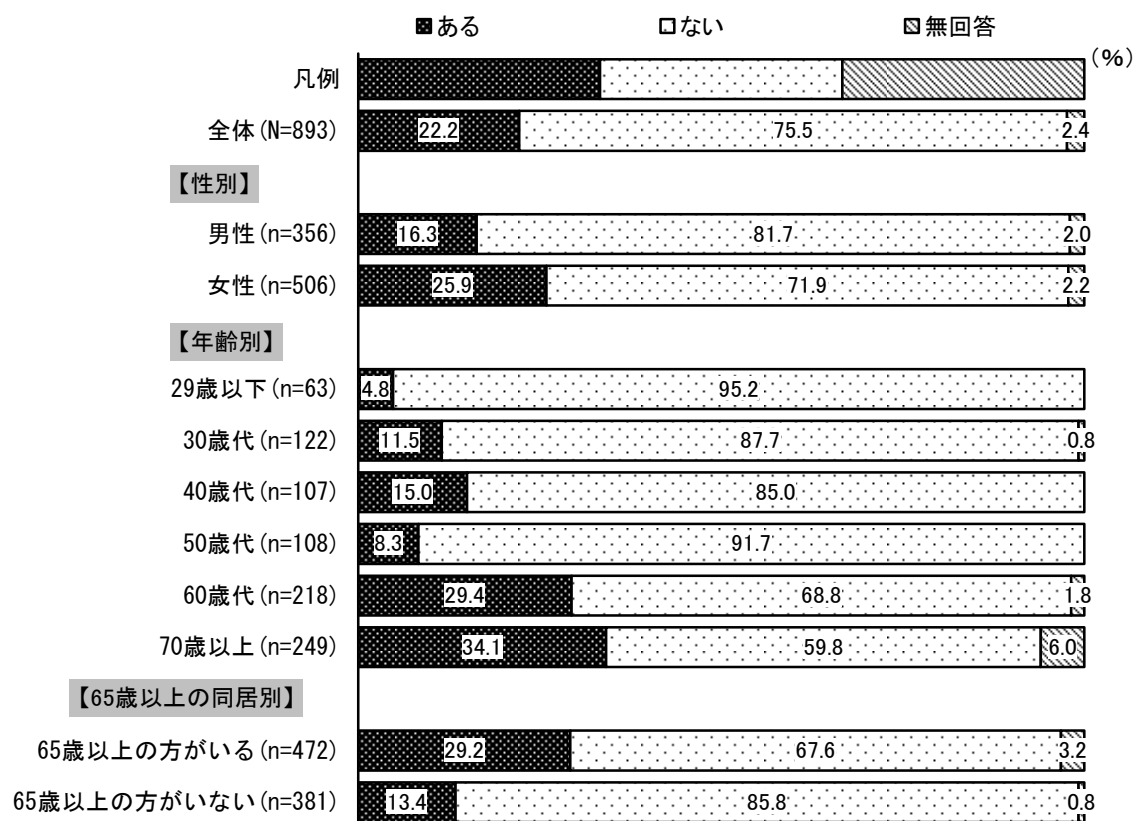


## 6. 生涯学習講座活動等への参加状況

(6) あなたは、生涯学習講座などの活動に参加したことがありますか。

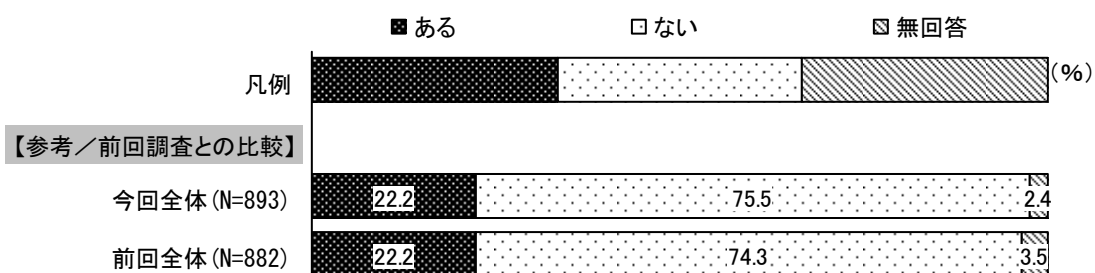
生涯学習講座活動等への参加状況については、「(参加したことが) ある」が 22.2%であった。

性別では女性、年齢別では、60歳以上の年齢層において参加が多くみられる。また、65歳以上の方がいる世帯ほど参加者も多い。



### 【前回調査との比較】

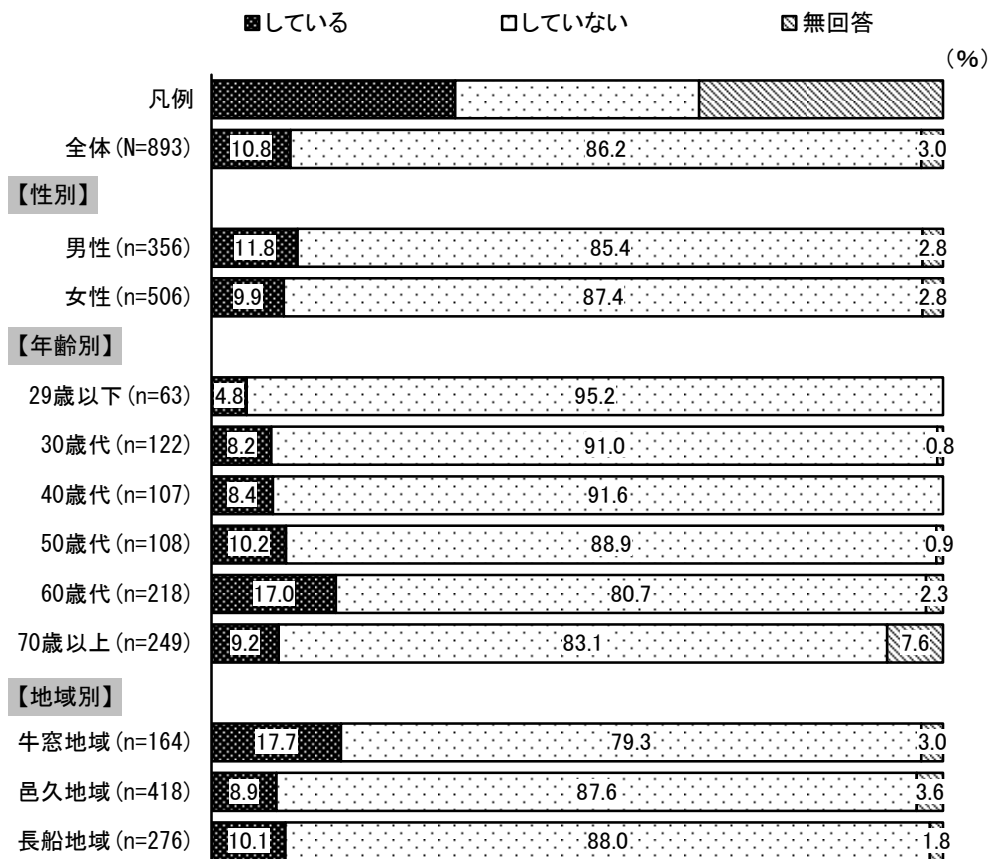
前回調査に比べ大きな差は目立たない。



## 7. 地域に貢献する活動状況

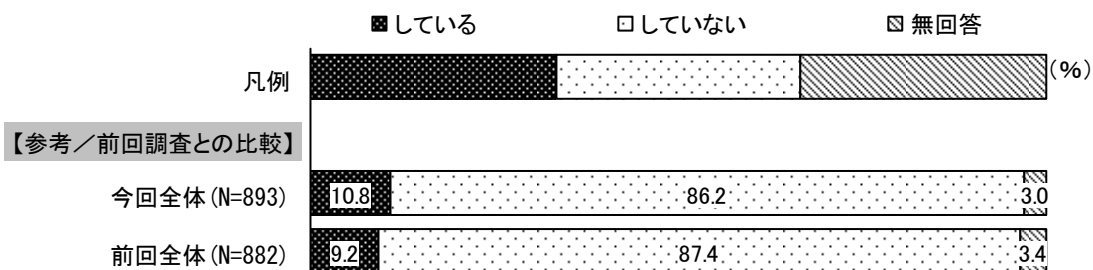
(7) あなたは、学習やスポーツの指導など、地域に貢献する活動をしていますか。

地域に貢献する活動状況については、「している」が10.8%であった。  
60歳代や牛窓地域居住者で参加者が比較的多くみられる。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ大きな差は目立たない。



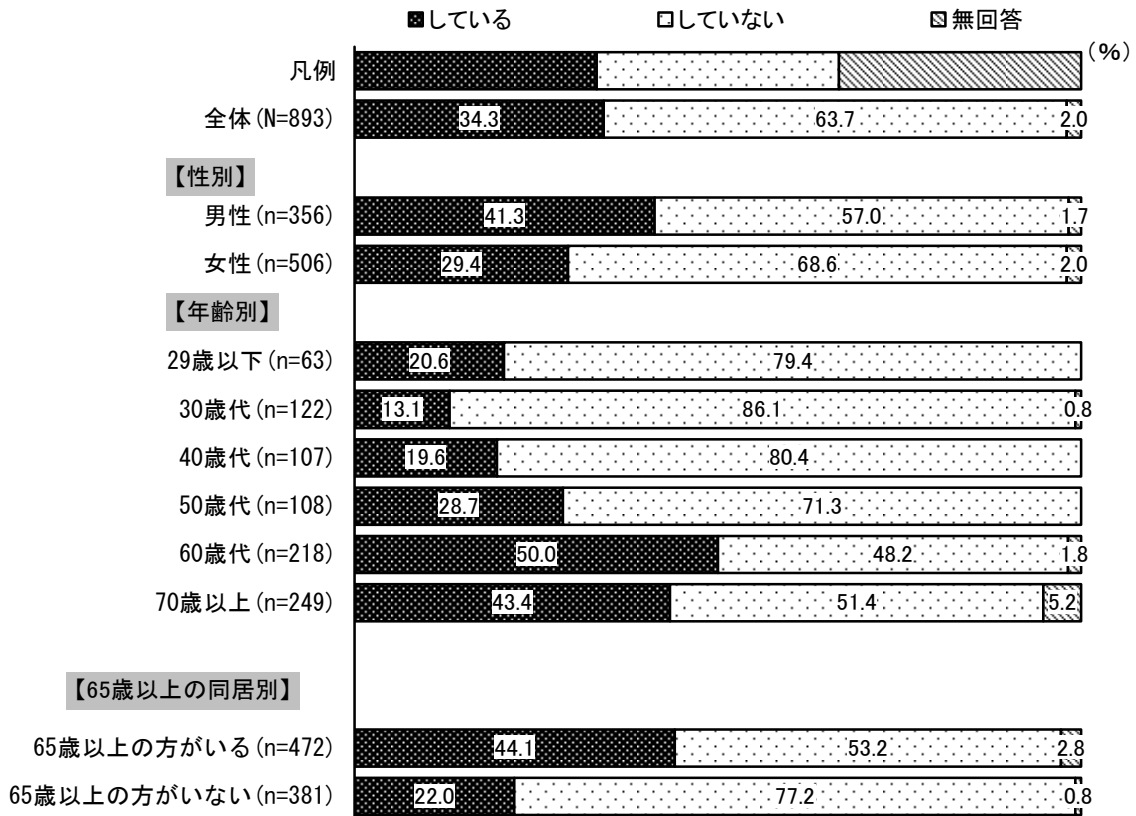
## 8. 運動継続状況

(8) あなたは、週に2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続していますか。

運動継続状況については、「している」が34.3%であった。

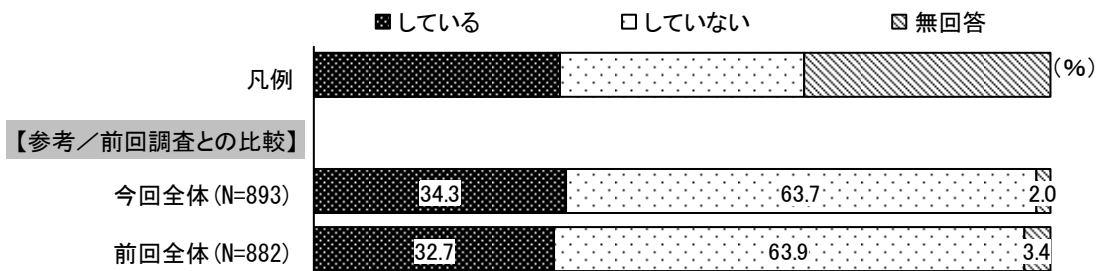
性別では男性、年齢別では年齢が上がるほど多くなる傾向にあり、特に60歳代、70歳以上の年配層において目立っている。

また、65歳以上の方がいる世帯ほど「している」も多くみられる。



### 【前回調査との比較】

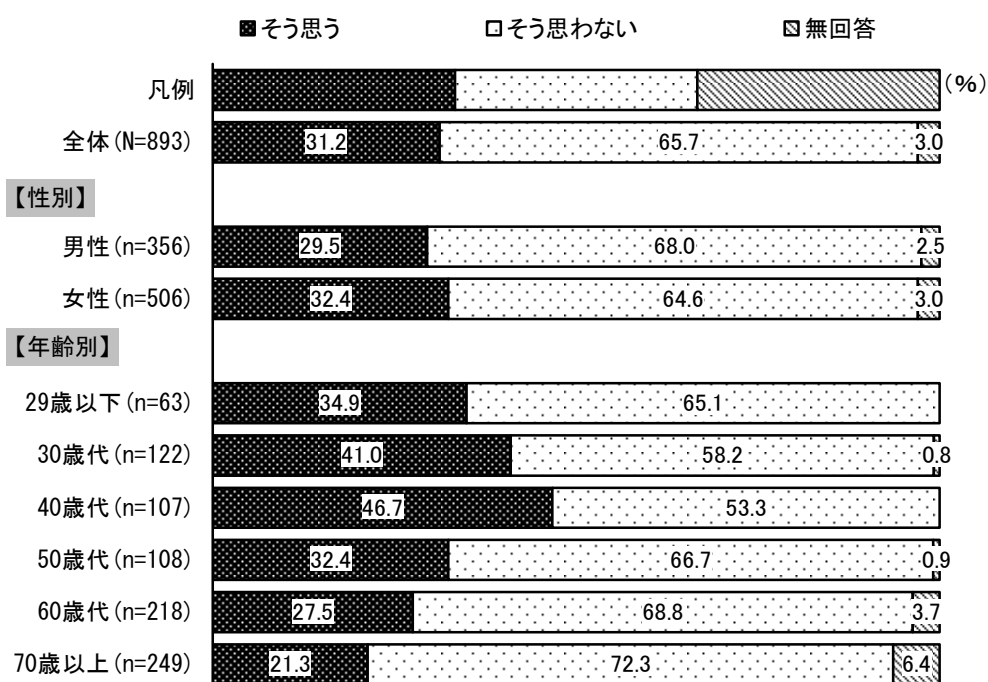
前回調査に比べ大きな差は目立たない。



## 9. 海外文化講座やイベント等への参加希望

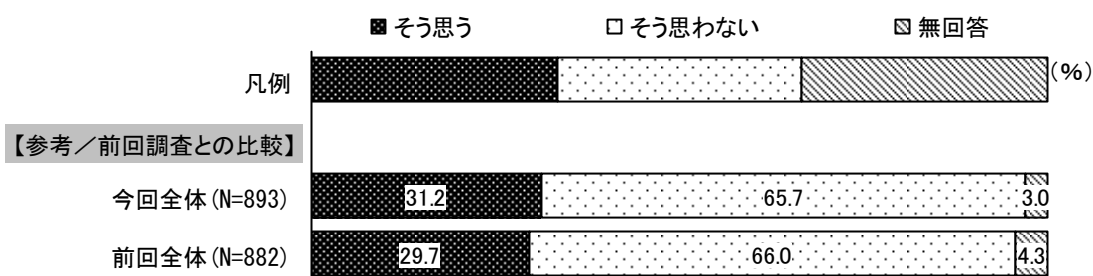
(9) あなたは、海外の文化を学ぶ講座やイベント等に参加したいと思いますか。

海外文化講座やイベント等への参加希望については、「そう思う」が31.2%であった。性別では大きな男女差は目立たない。年齢別では70歳以上において「そう思わない」が増える傾向にある。40歳代では、他の年齢層に比べ「そう思う」が最も多くなっている。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ大きな差は目立たない。





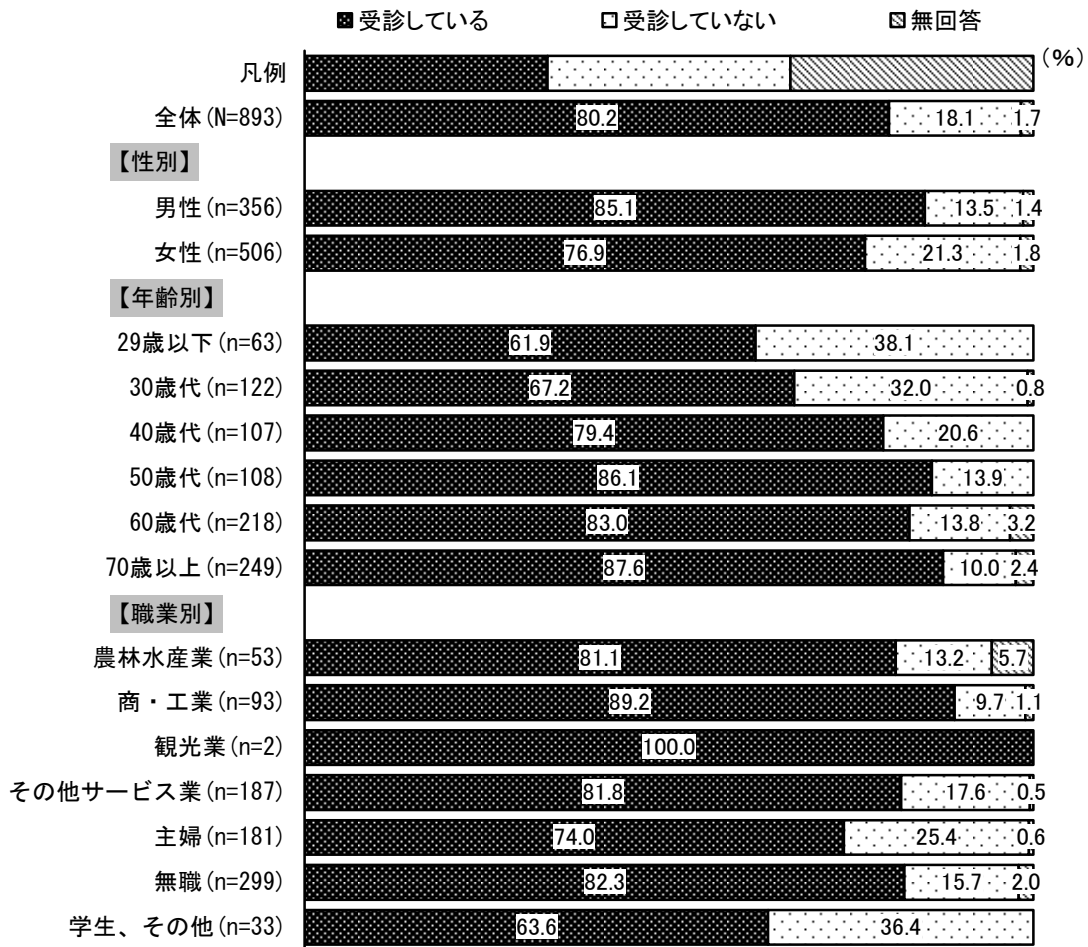
## 10. 健康診断受診状況

(10) あなたは、年1回程度、健康診断を受診していますか。

健康診断受診状況については、「受診している」が80.2%であった。

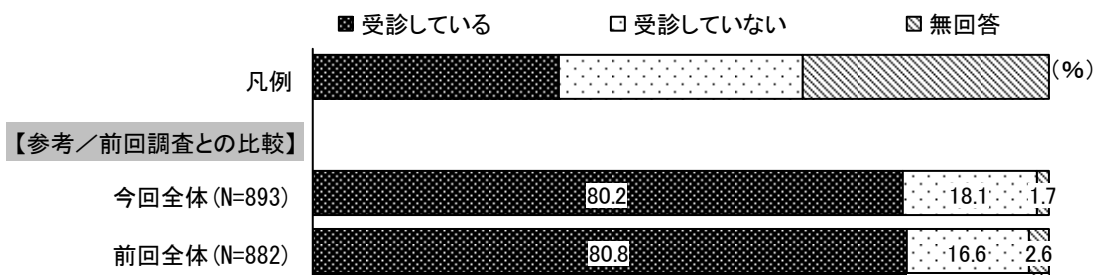
性別では女性に比べ男性で「受診している」が多く、年齢別では年齢が上がるほど受診者が増える傾向にある。

職業別では、主夫や学生、その他で「受診していない」が多い。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ大きな差は目立たない。



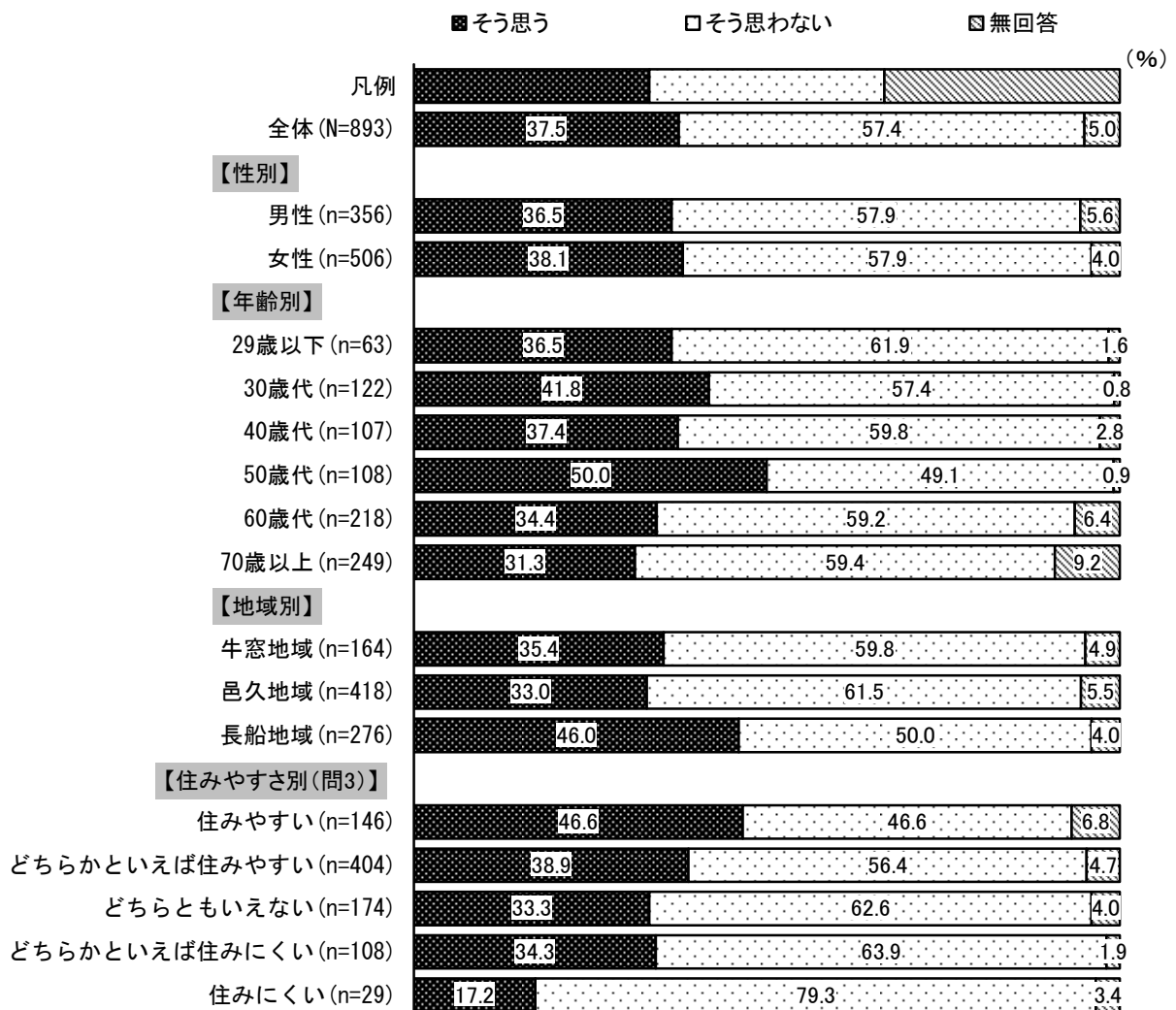
## 11. 「バリアフリー化」進行状況について

(11) あなたは、市内の公共施設や商業施設などで、床の段差をなくしたり、階段のかわりにゆるやかな坂道を作るなど、障がい者や高齢者にとって不便な障害を取り除く、いわゆる「バリアフリー化」が進んでいると思いますか。

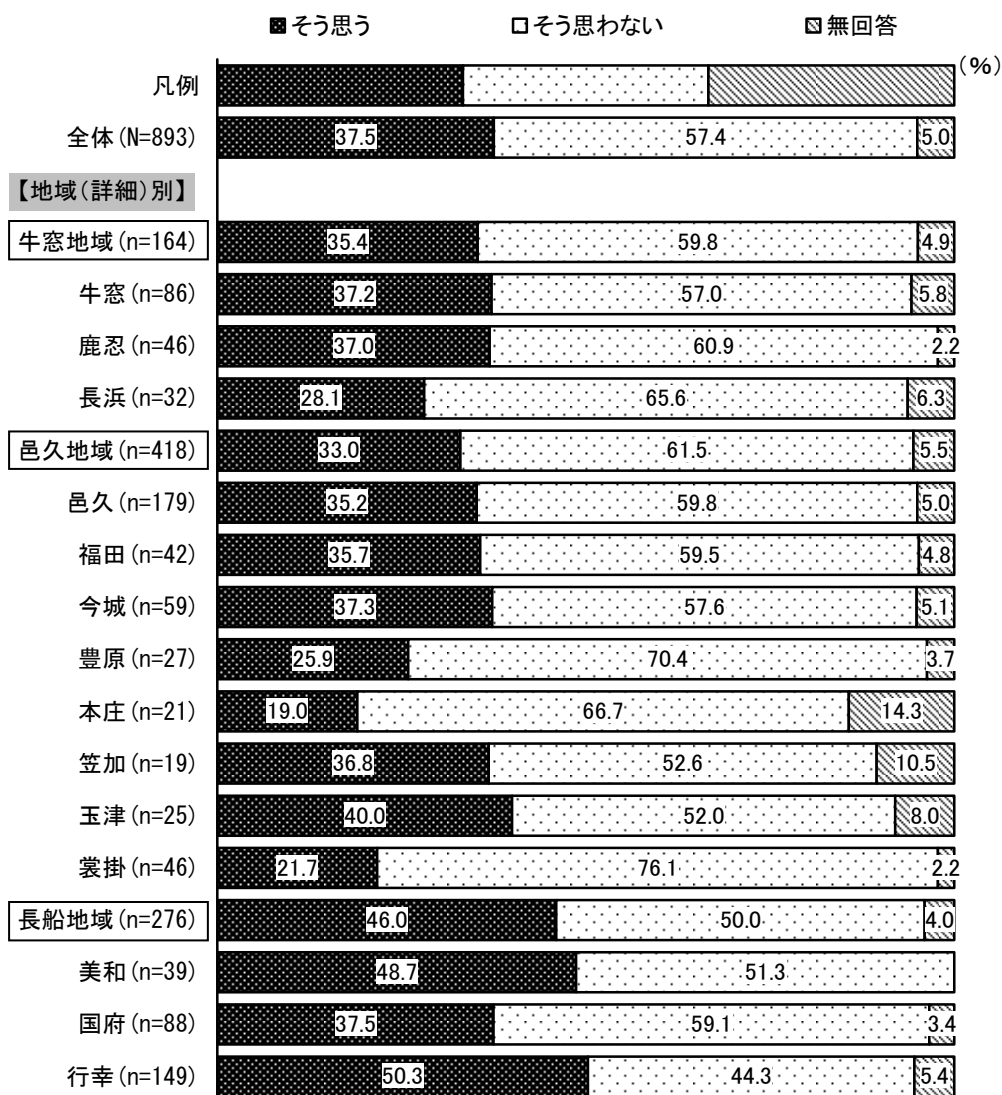
「バリアフリー化」進行状況については、「そう思う」が37.5%であった。

性別では大きな男女差は目立たないが、年齢別では50歳代で「そう思う」が多くみられ、逆に60歳以上の年齢層で少ない。

また住みやすさ別では、住みやすいと評価している層ほど「そう思う」も多い傾向がみられる。

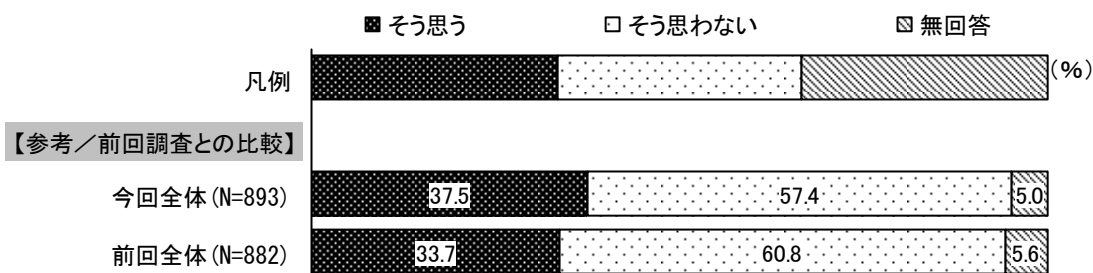


さらに、地域別を詳細にみると、「そう思う」の回答が多いのは行幸、美和、玉津などである。



**【前回調査との比較】**

前回調査に比べ「そう思う」はやや増加している。



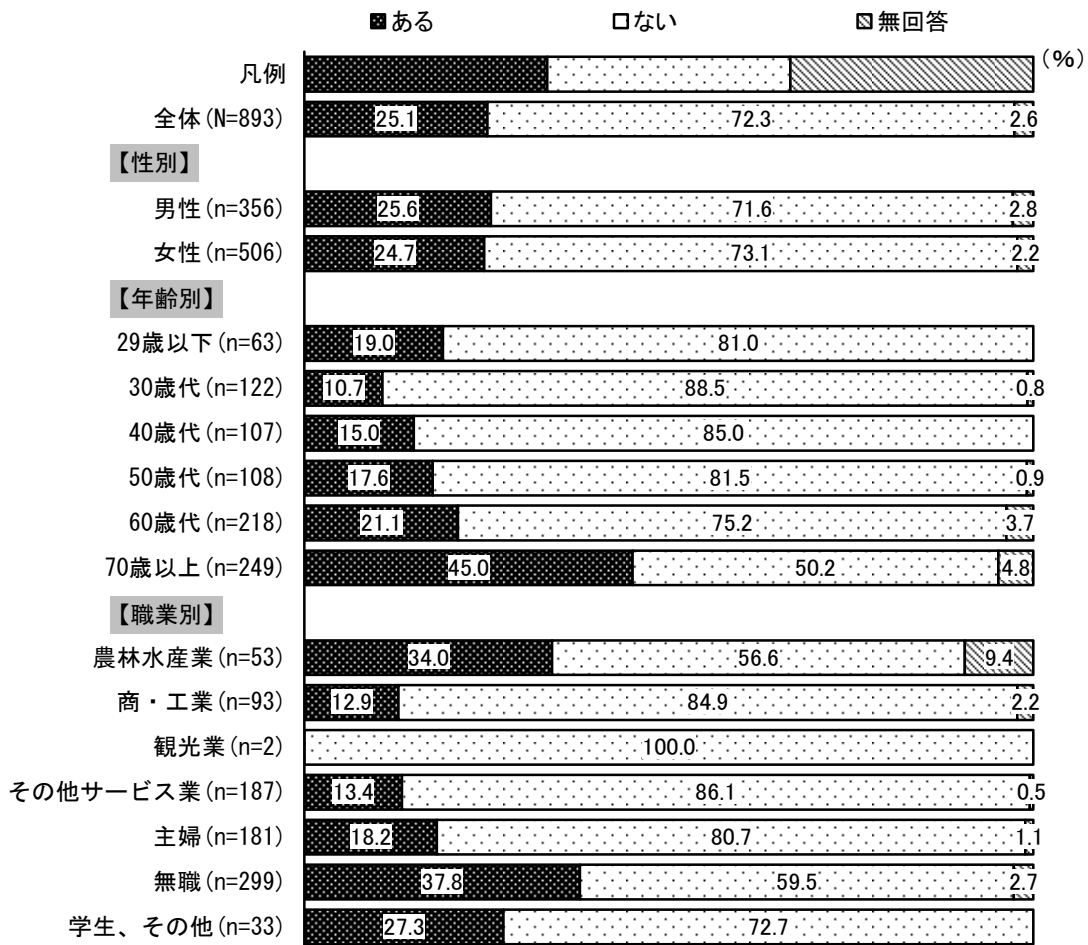
## 12. 日常生活に不自由を感じること

(12) あなたは、身体に障がいがあったり、体調が優れないなど、日常生活に不自由を感じることがありますか。

日常生活に不自由を感じることは、「ある」が25.1%であった。

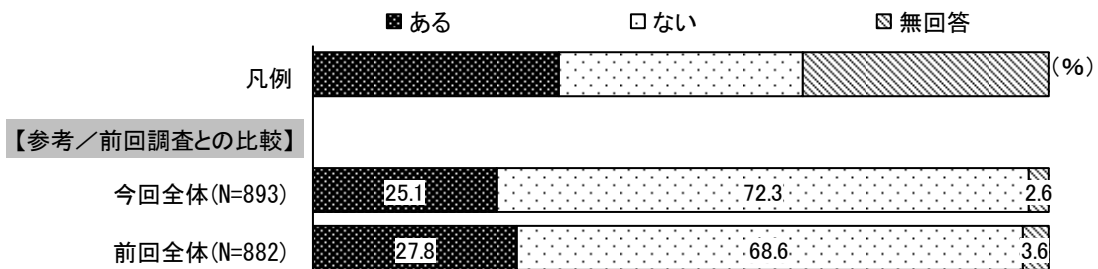
性別では大きな男女差は目立たないが、年齢別では、年齢が上がるにつれ「ある」が多くなる傾向がみられ、特に70歳以上で多くなっている。

職業別では、農林水産業や無職において「ある」が多くみられる。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ大きな差は目立たない。



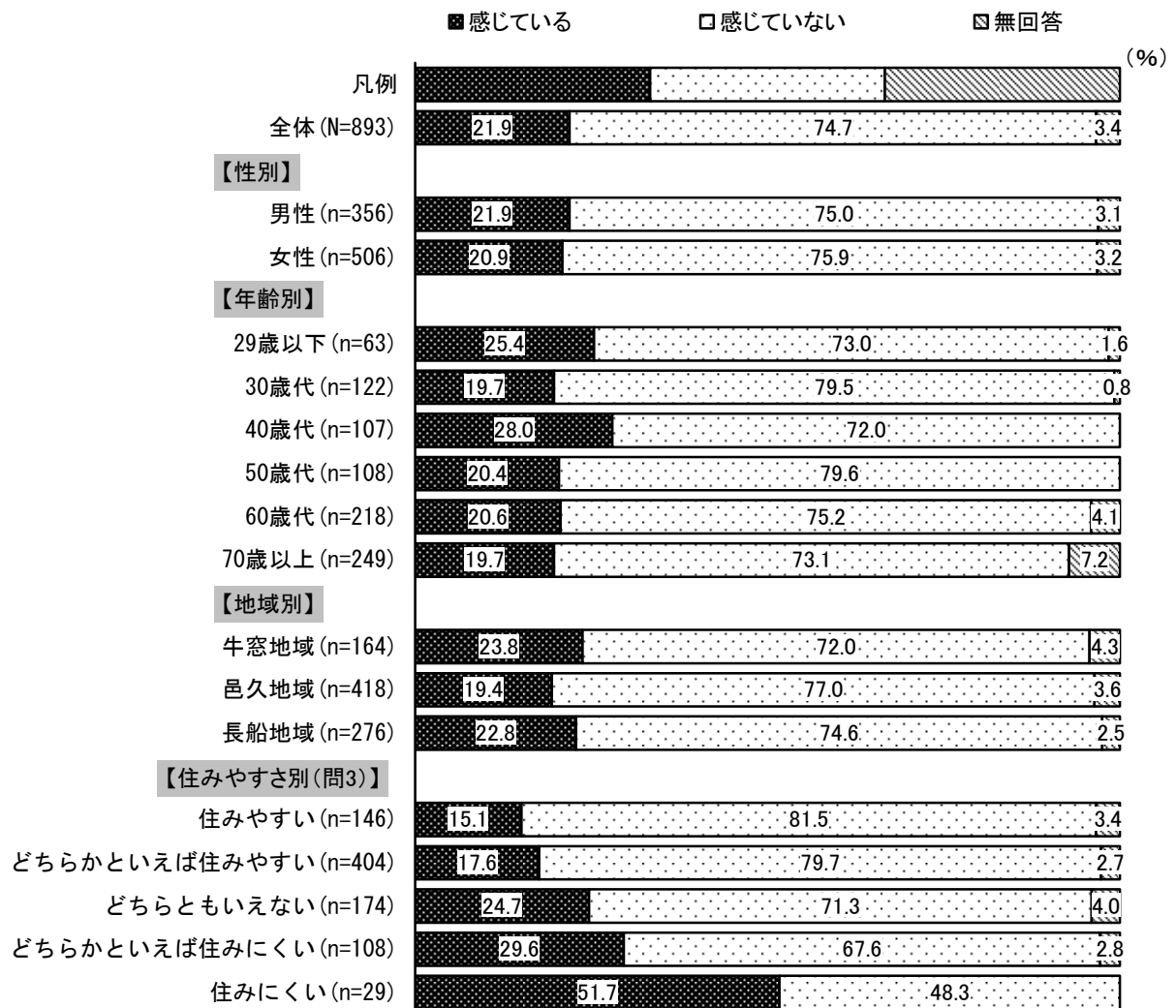
### 13. 経済的な理由による日常生活の困難さについて

(13) あなたは、経済的な理由で日常生活が困難だと感じていますか。

経済的な理由による日常生活の困難さについては、「感じている」が21.9%であった。

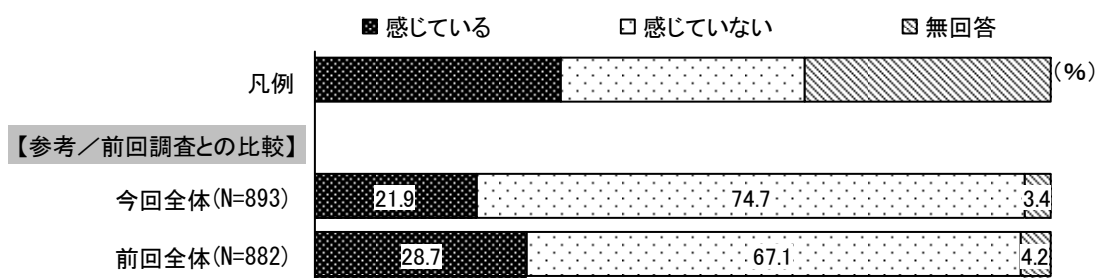
性別では大きな男女差は目立たないが、年齢別では40歳代において「感じている」が比較的多くみられる。

また住みやすさ別では、住みにくいと評価する層ほど「感じている」が多い傾向がみられる。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ「感じている」は減少している。



## 14. 計画的な土地利用について

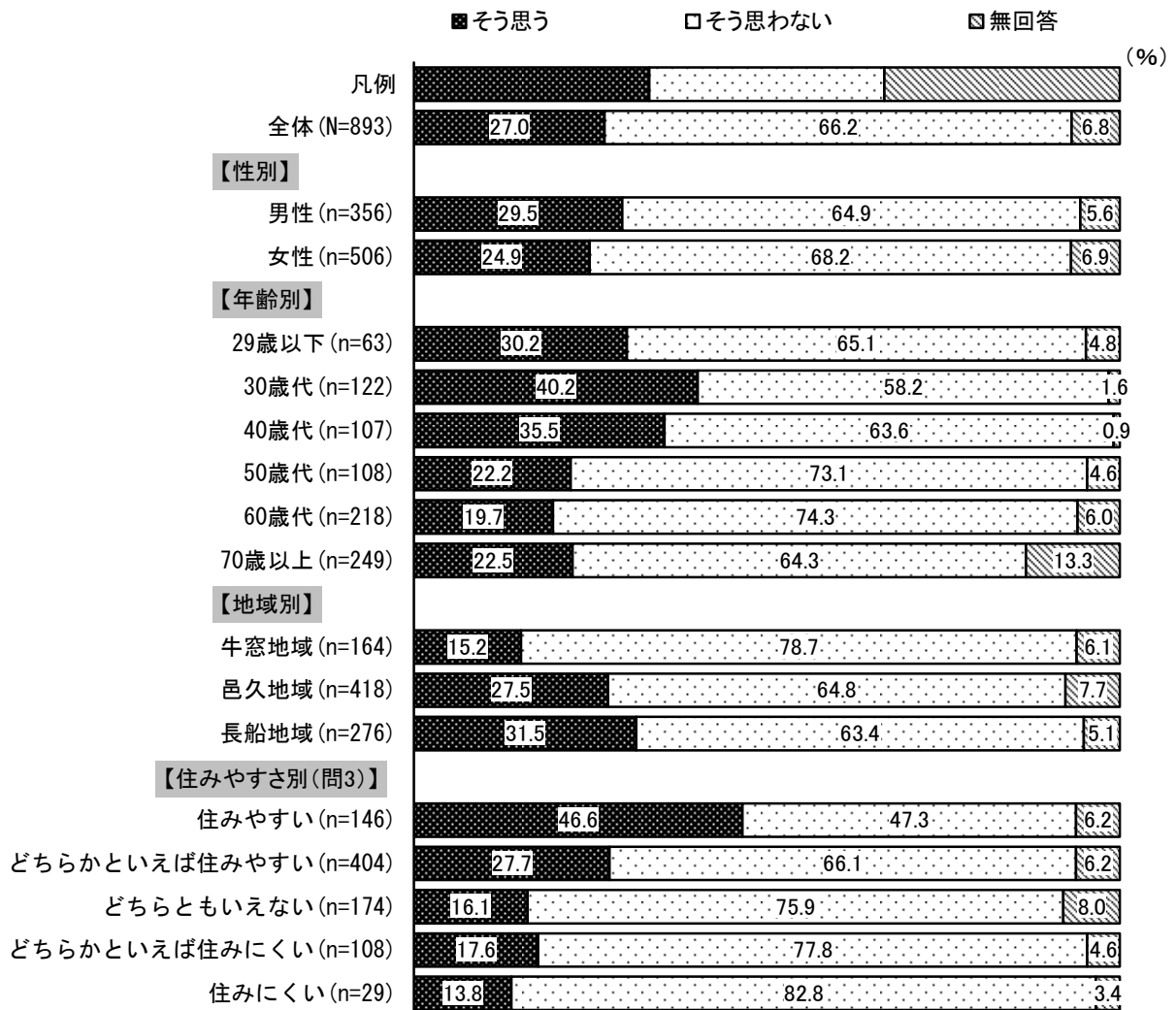
(14) あなたは、瀬戸内市の土地利用は、住宅や店舗、工場などが混在することなく、計画的に進められていると思いますか。

計画的な土地利用については、「そう思う」が27.0%であった。

性別では男性にやや多く、年齢別では30歳代で比較的多くみられる。

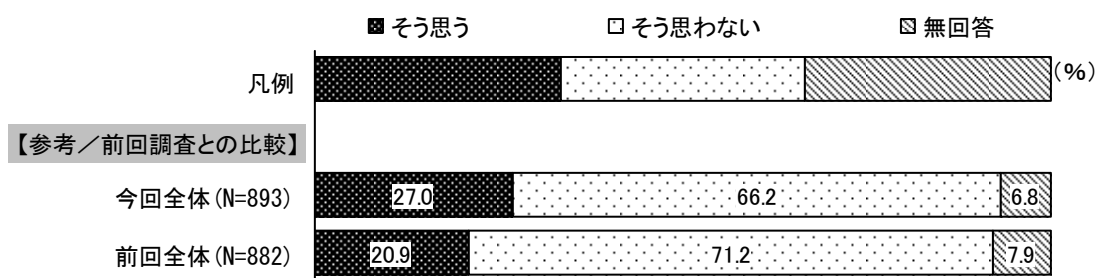
地域別では、牛窓地域において「そう思わない」という否定的な回答が多い。

また住みやすさ別では、住みやすいと評価する層ほど「そう思う」への回答が多く、住みにくい評価層ほど「そう思わない」への回答が多い傾向にあり、相関がみられる。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ「そう思う」は増加している。





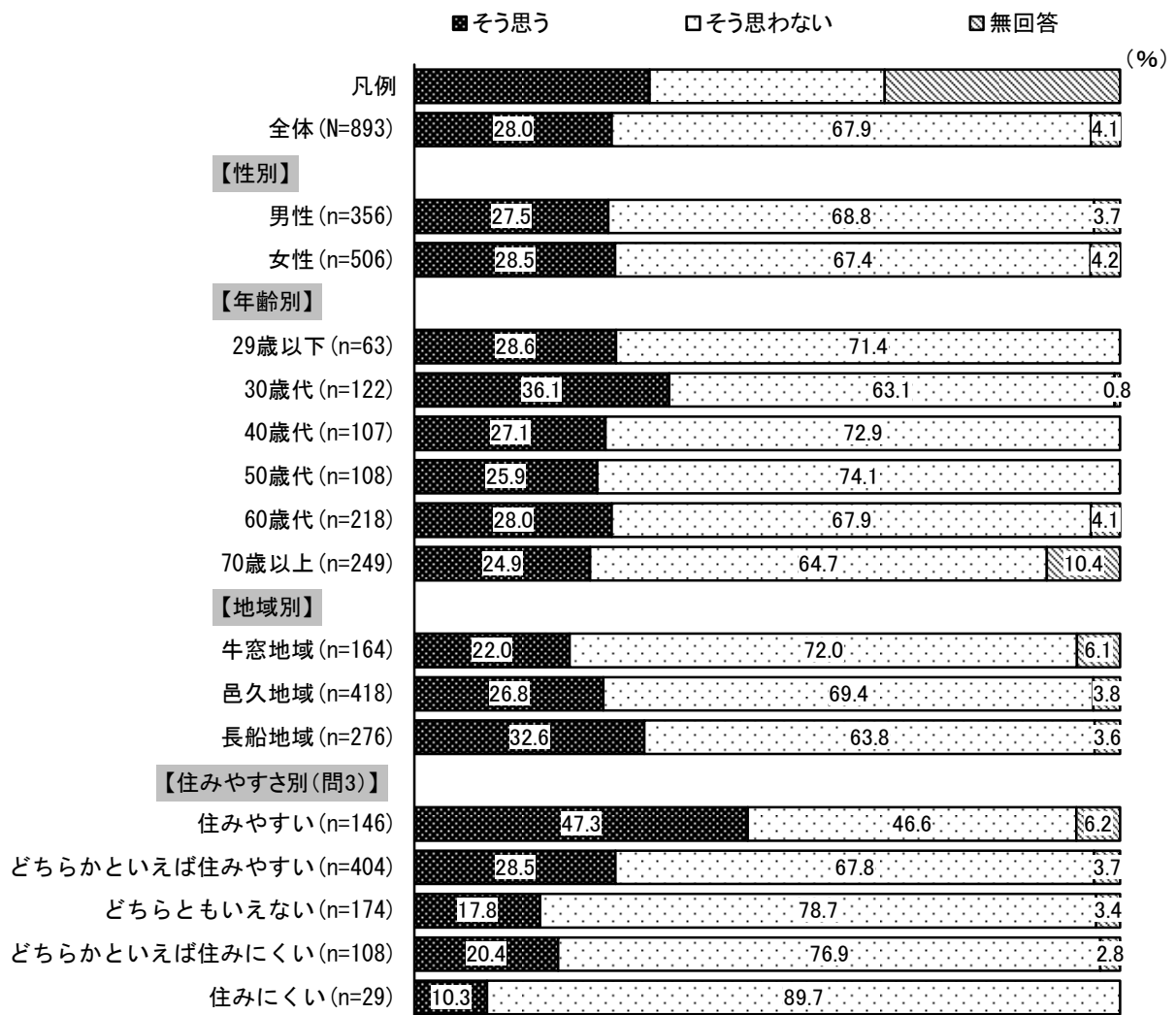
15. 道路の快適性について

(15) あなたは、瀬戸内市の道路は快適だと思いますか。

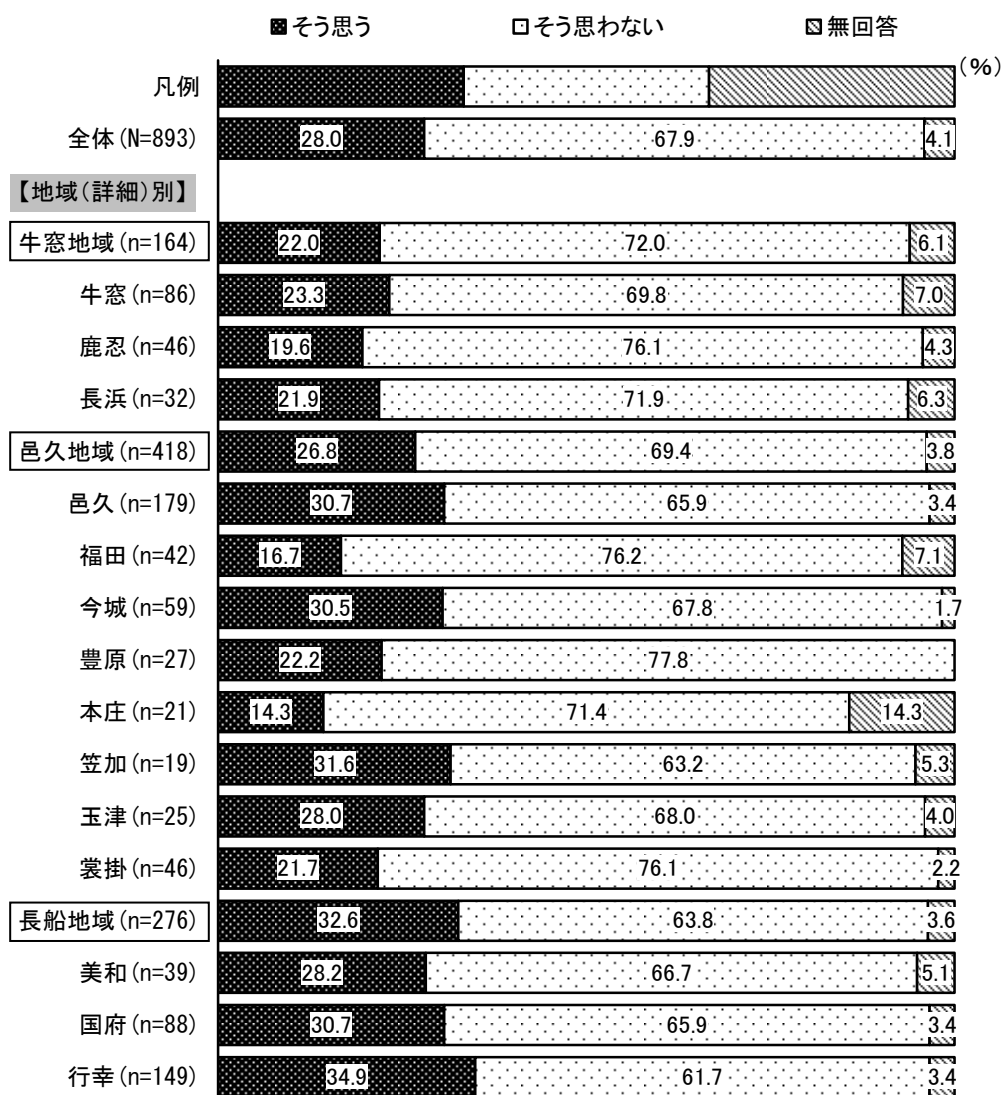
道路の快適性については、「そう思う」が28.0%であった。

性別では大きな男女差は目立たないが、年齢別では30歳代において「そう思う」が比較的多くみられる。

また住みやすさ別では、住みやすい評価層ほど「そう思う」への回答も多く、相関がみられる。

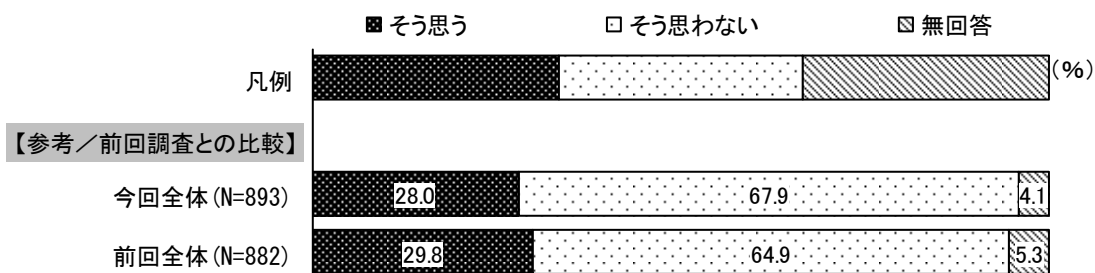


さらに、地域別を詳細にみると、「そう思う」の回答が比較的多いのは邑久、今城、笠加、国府、行幸などである。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ大きな差は目立たない。



16. 公共交通機関の利用しやすさについて

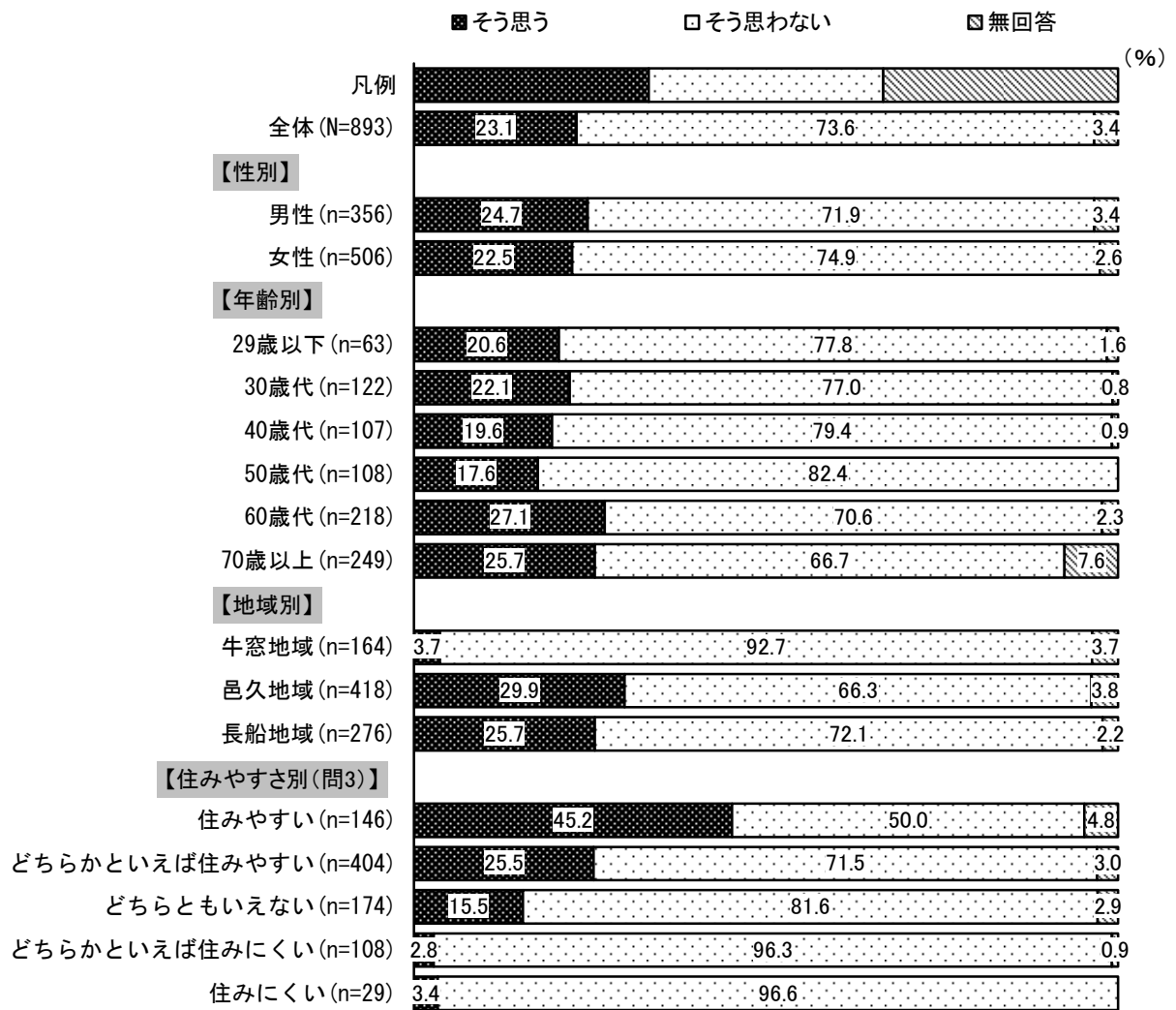
(16) あなたは、バスや電車など、公共交通機関が利用しやすいと思いますか。

公共交通機関の利用しやすさについては、「そう思う」が23.1%であった。

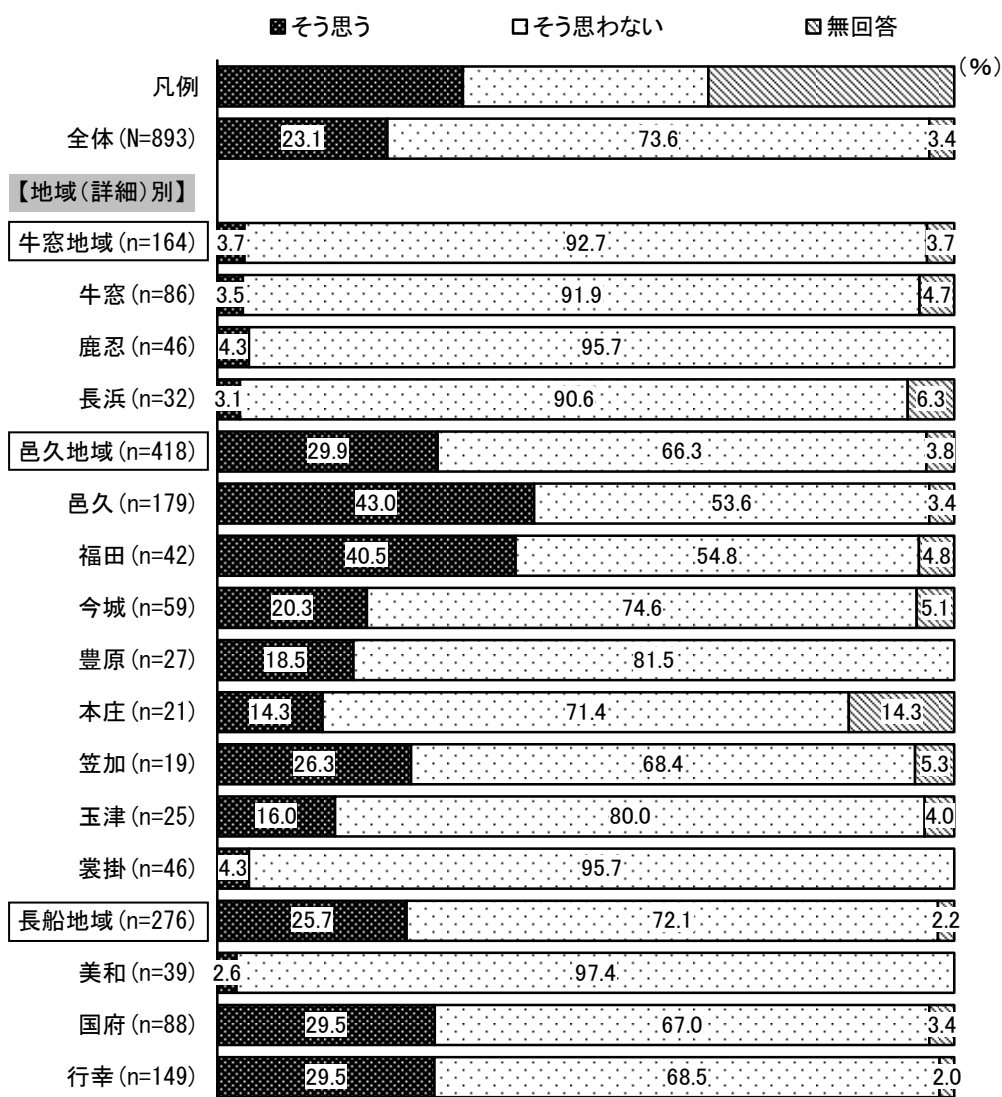
性別による大きな男女差は目立たないが、年齢別では60歳以上の年齢層において「そう思う」が多くなっている。

地域別では、牛窓地域において「そう思わない」という否定的な回答が多い。

また住みやすさ別では、住みやすい評価層ほど「そう思う」への回答が多く、住みにくい評価層では「そう思わない」への回答が多く、相関がみられる。

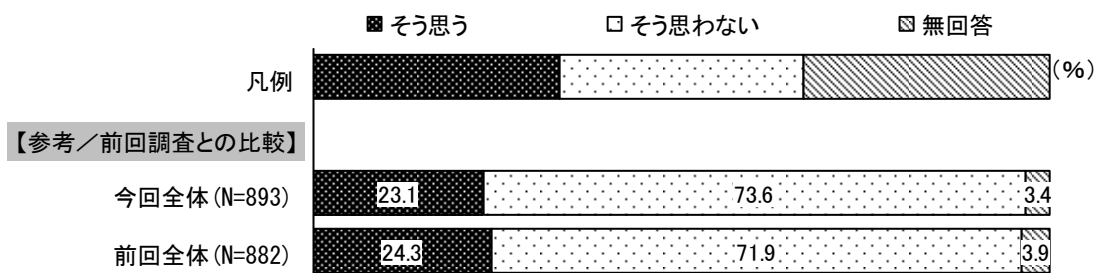


さらに、地域別を詳細にみると、邑久、福田、国府、行幸などにおいて「そう思う」が多くみられる。一方で、牛窓、鹿忍、長浜、裳掛、美和などでは「そう思わない」が多い。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ大きな差は目立たない。



## 17. インターネットの活用状況

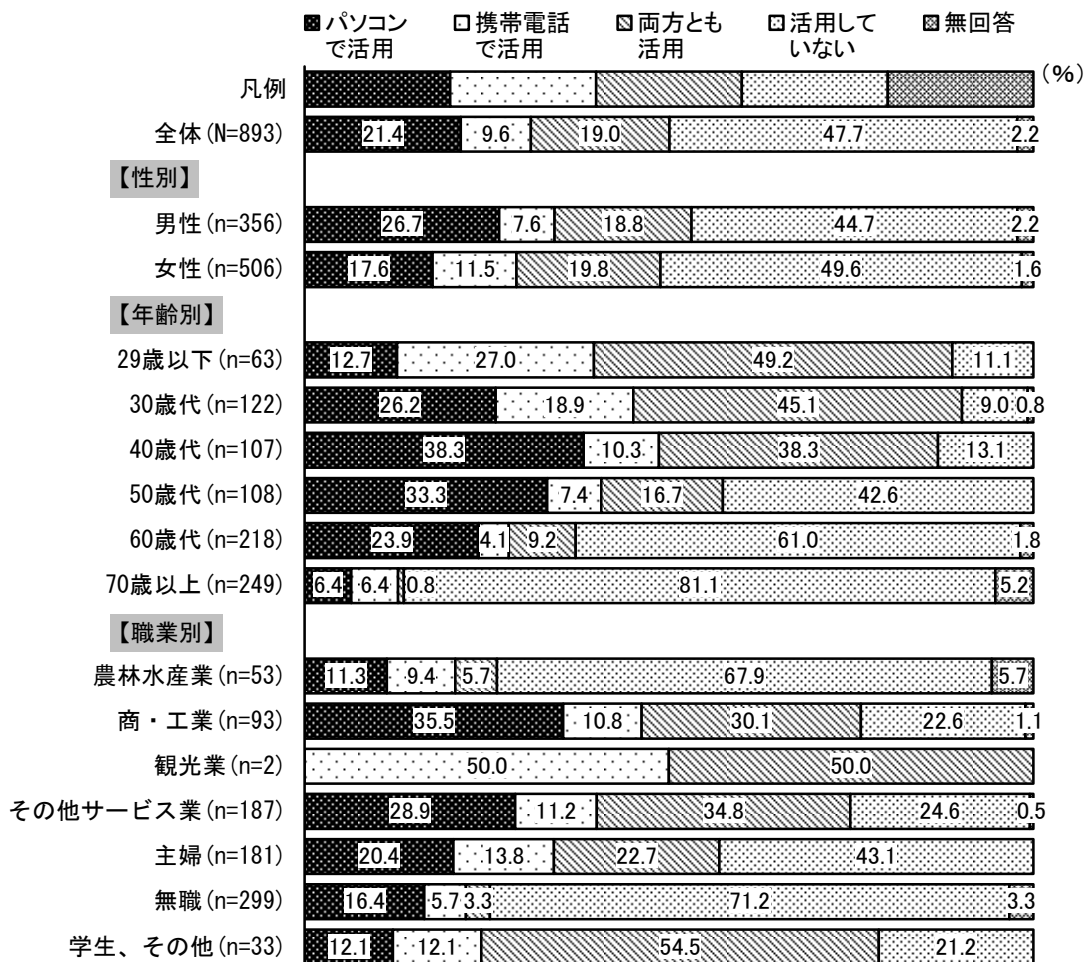
(17) あなたは、日常生活の中でインターネットを活用していますか。

インターネットの活用状況については、「活用していない」が47.7%であることから、半数程度が何らかの形態で活用していることになる。活用については「パソコンで活用」が21.4%と最も多く、「(携帯電話と)両方とも活用」が19.0%で続いている。

男性は「パソコンで活用」が多くみられるが、女性は「活用していない」が半数近くを占めている。

年齢別では、年齢の若い層ほど「両方とも活用」が多く、年齢が上がるにつれ「活用していない」が増える傾向にある。また、29歳以下で「携帯電話で活用」が多く、40～50歳代では、それぞれ3割以上が「パソコンで活用」している。

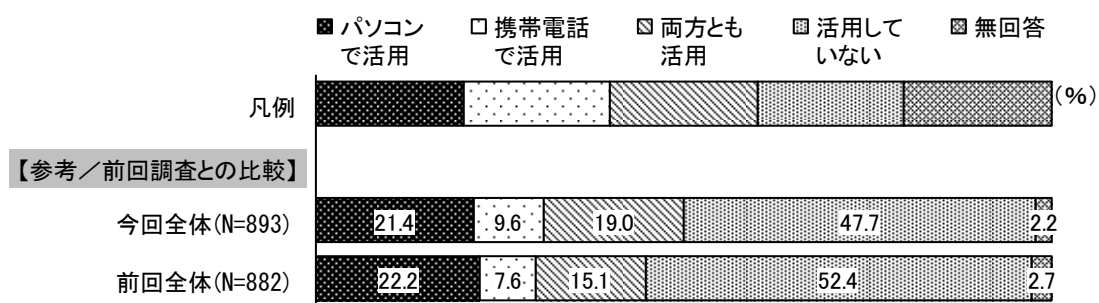
職業別では、農林水産業の場合、他の層に比べ「活用していない」が最も多く、商・工業では「パソコンで活用」、学生、その他では「両方とも活用」が多くなっている。



注:「観光業」は母数(n)が少ないため参考値として参照。

### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ「両方とも活用」がやや増加しており、インターネットの活用状況は高まっている。

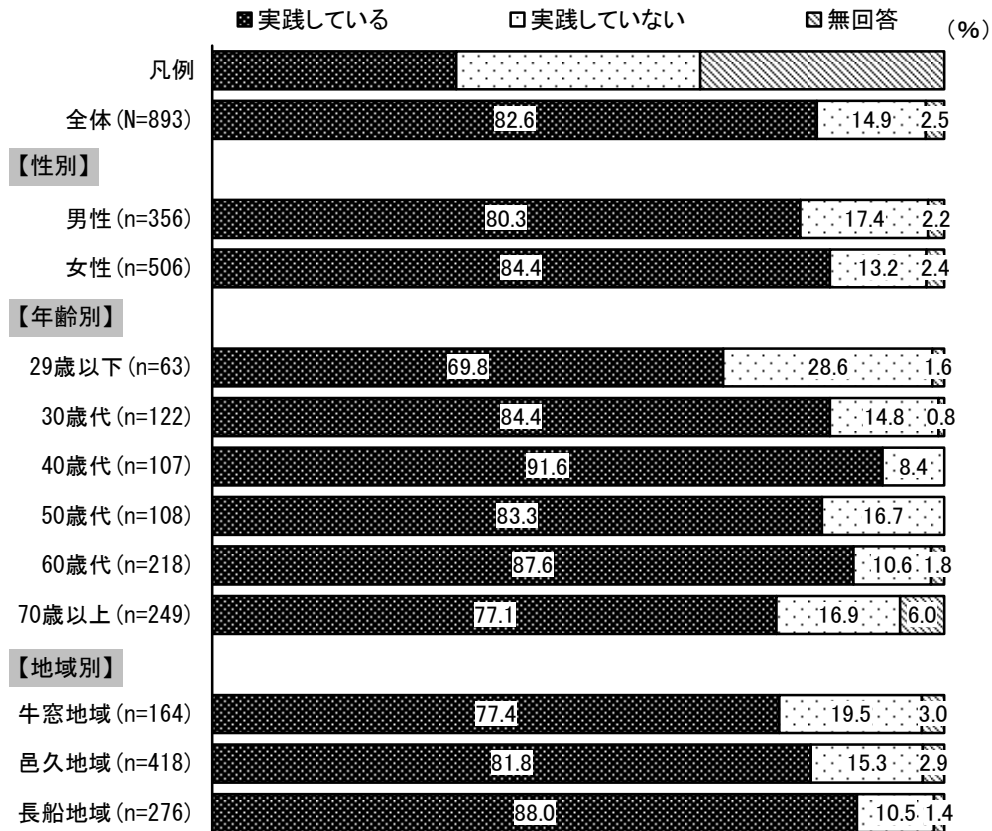


## 18. ごみのリサイクル実践状況

(18) あなたは、家庭から出るごみのリサイクルを実践していますか。

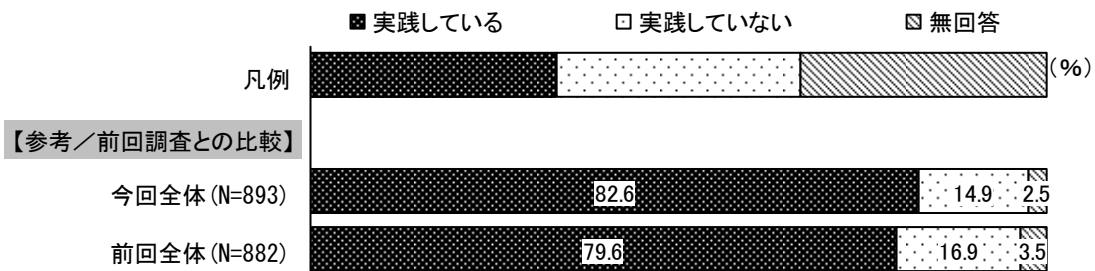
ごみのリサイクル実践状況については、「実践している」が82.6%であった。

性別では女性、年齢別では40歳代、地域別では長船地域で「実践している」が多くなっている。



### 【前回調査との比較】

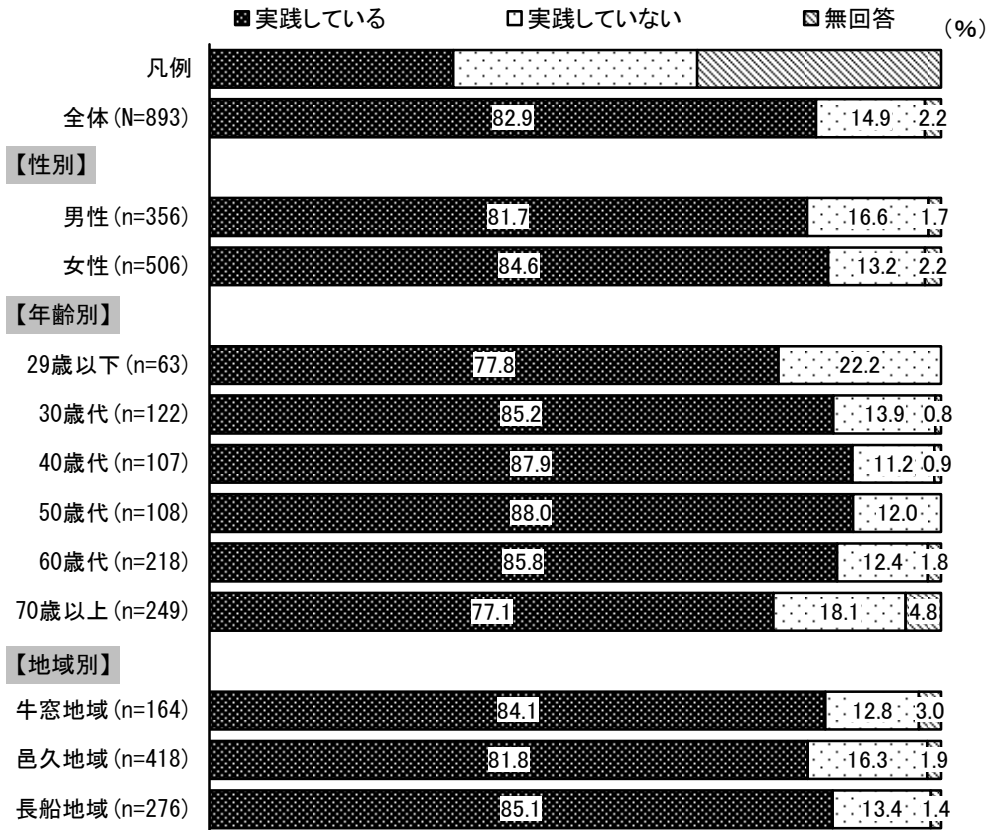
前回調査に比べ「実践している」はやや増加している。



## 19. 省エネの実践状況

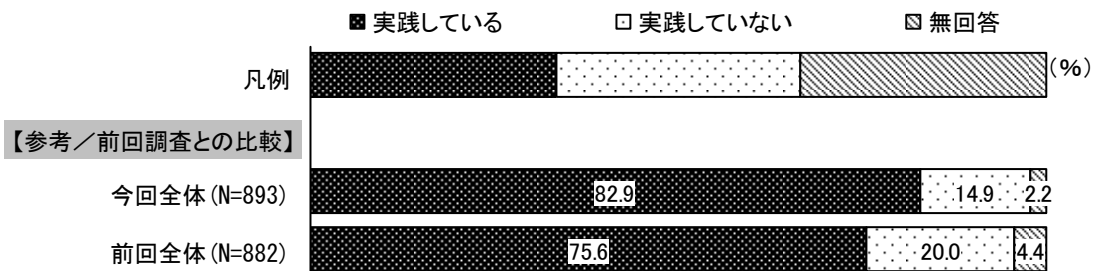
(19) あなたは、日常生活で省エネを実践していますか。

省エネの実践状況については、「実践している」が82.9%を占めており、性別、年齢別、地域別による大きな差は目立たない。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ「実践している」は増加している。





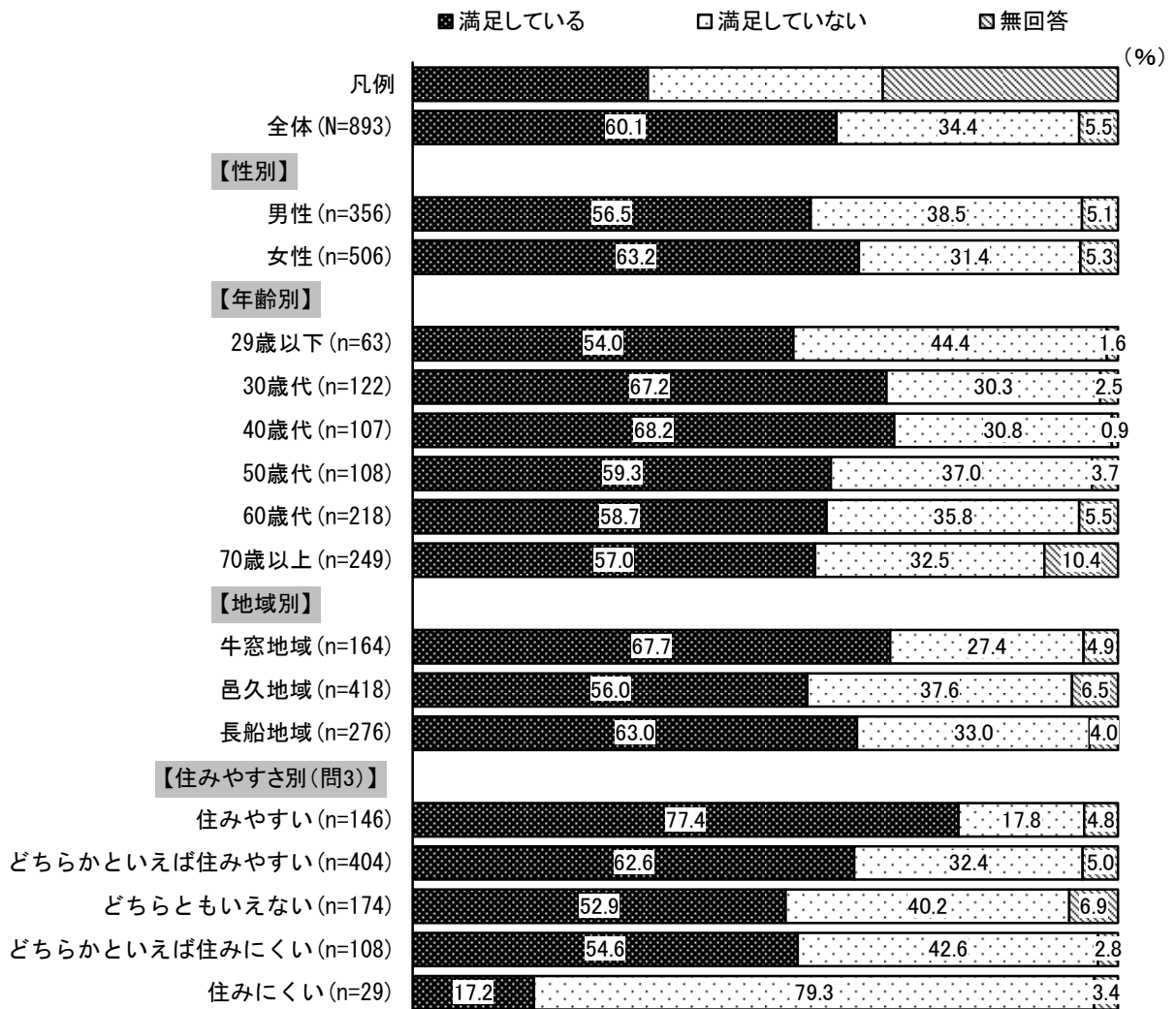
## 20. 瀬戸内市の景観への満足度

(20) あなたは、瀬戸内市の景観に満足していますか。

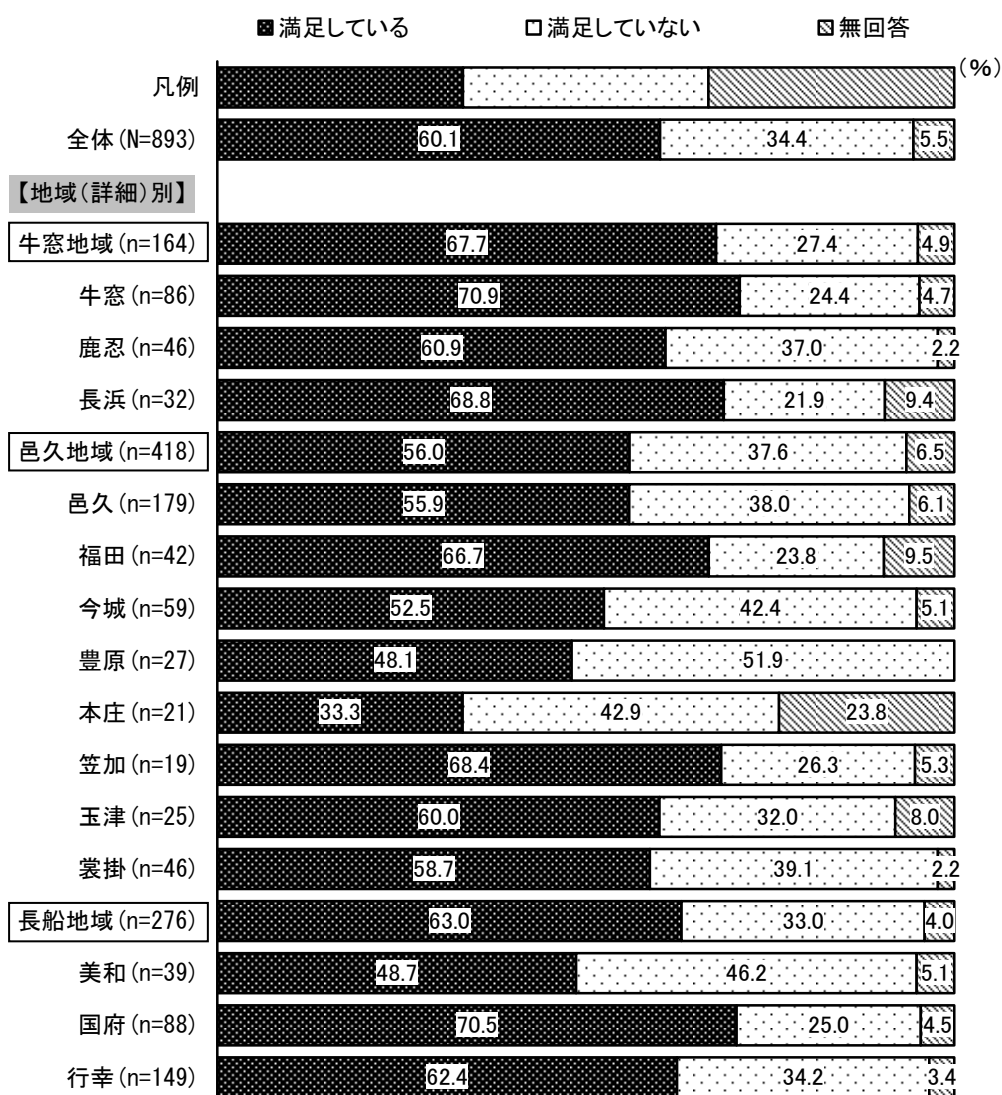
瀬戸内市の景観への満足度については、「満足している」が60.1%を占めている。

性別では女性、年齢別では30～40歳代、地域別では牛窓地域で「満足している」が多くなっている。

また住みやすさ別では、住みやすいと評価する層ほど「満足している」への回答も多い傾向にある。

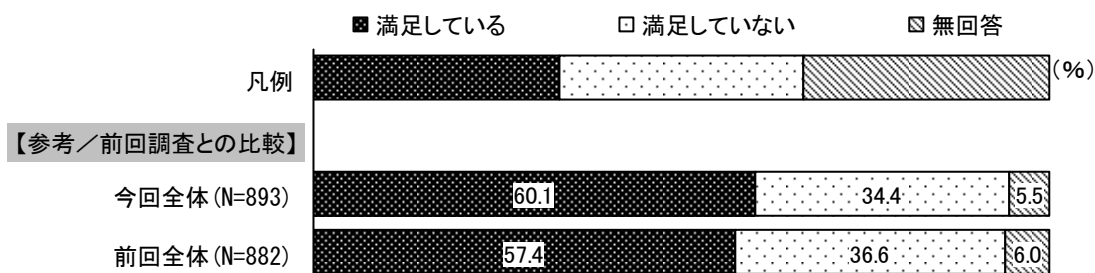


さらに、地域別を詳細にみると、牛窓、国府などで「満足している」がやや多く、一方、本庄では「満足している」が少なくなっている。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ「満足している」はやや増加して6割を超えた。



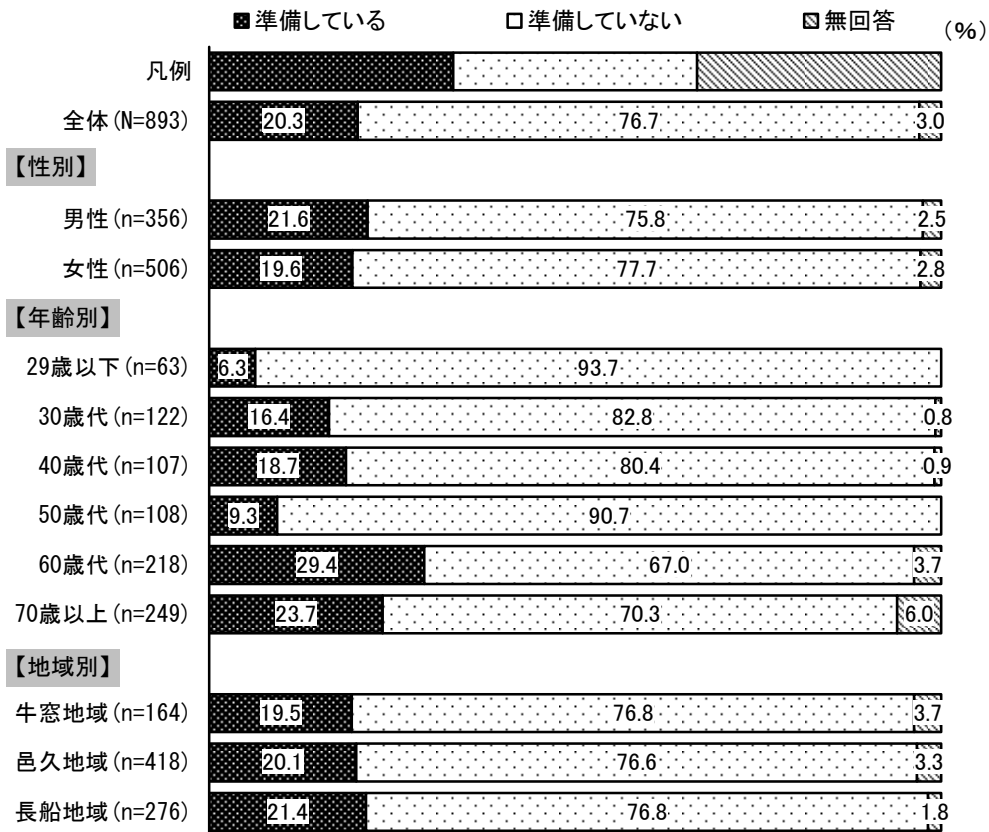
## 21. 災害時の非常持出品準備状況

(21) あなたは、災害が起きたときのために、非常持出品を準備していますか。

災害時の非常持出品準備状況について、「準備している」は20.3%みられた。

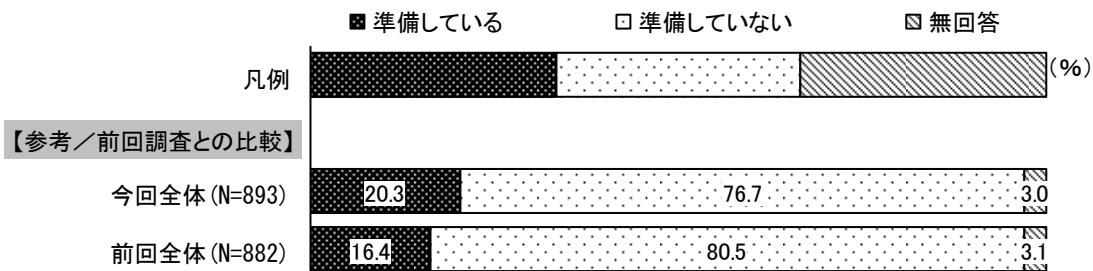
性別では大きな男女差は目立たないが、年齢別では60歳以上の年齢層で「準備している」が多くなっている。

地域による大きな差は目立たない。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ「準備している」はやや増加している。



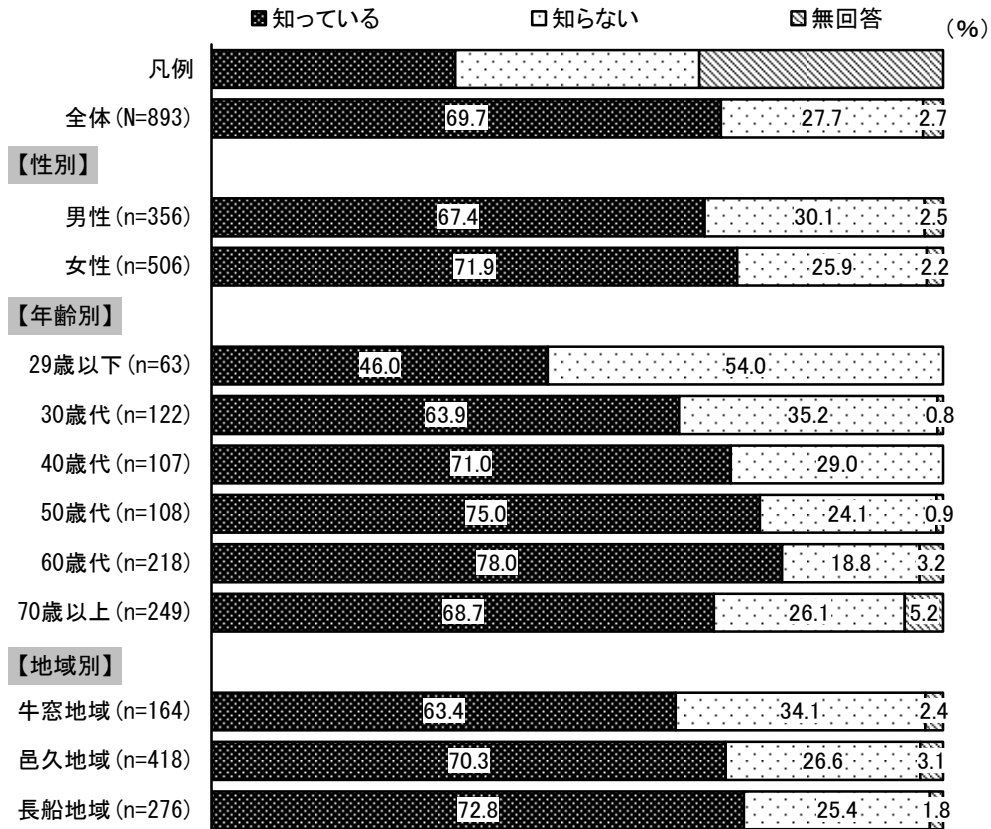
## 22. 災害時の避難場所認知状況

(22) あなたは、災害が起きたときの、最寄りの避難場所を知っていますか。

災害時の避難場所認知状況については、69.7%が「知っている」と回答している。

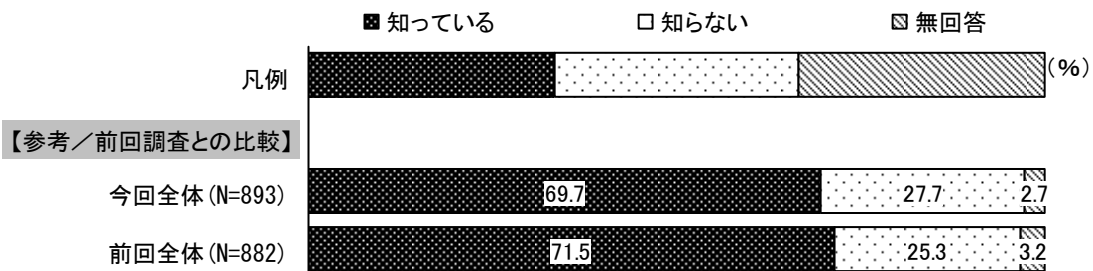
性別では女性で「知っている」がやや多く、年齢別では年齢が上がるにつれ多くなる傾向がみられる。

地域別では、長船地域で「知っている」がやや多くなっている。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ大きな差は目立たない。



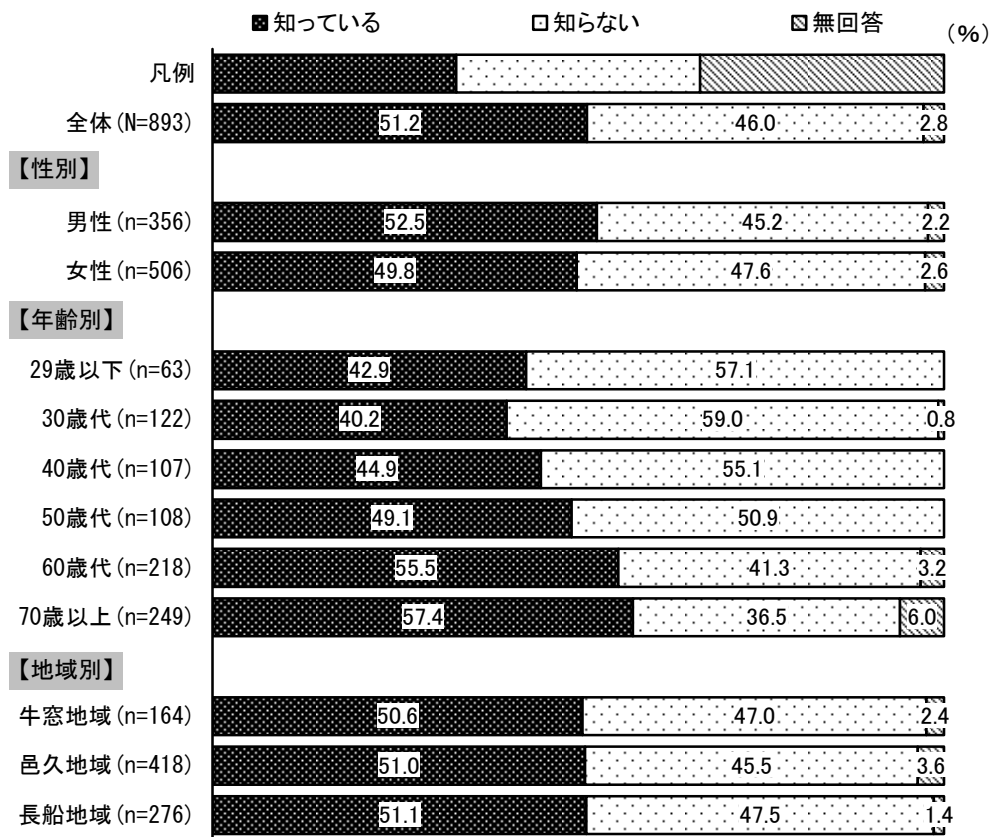
### 23. 「消費生活」に関する相談窓口認知状況

(23) あなたは、悪質商法などへの対応について相談できる市役所や県、警察などの「消費生活」に関する相談窓口を知っていますか。

「消費生活」に関する相談窓口認知状況については、51.2%と過半数が「知っている」と回答している。

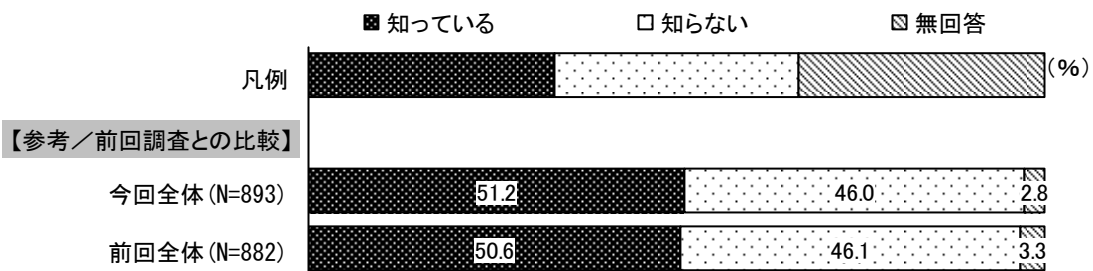
性別では大きな男女差は目立たないが、年齢別では年齢が上がるにつれ多くなる傾向がみられる。

地域別による大きな差は目立たない。



#### 【前回調査との比較】

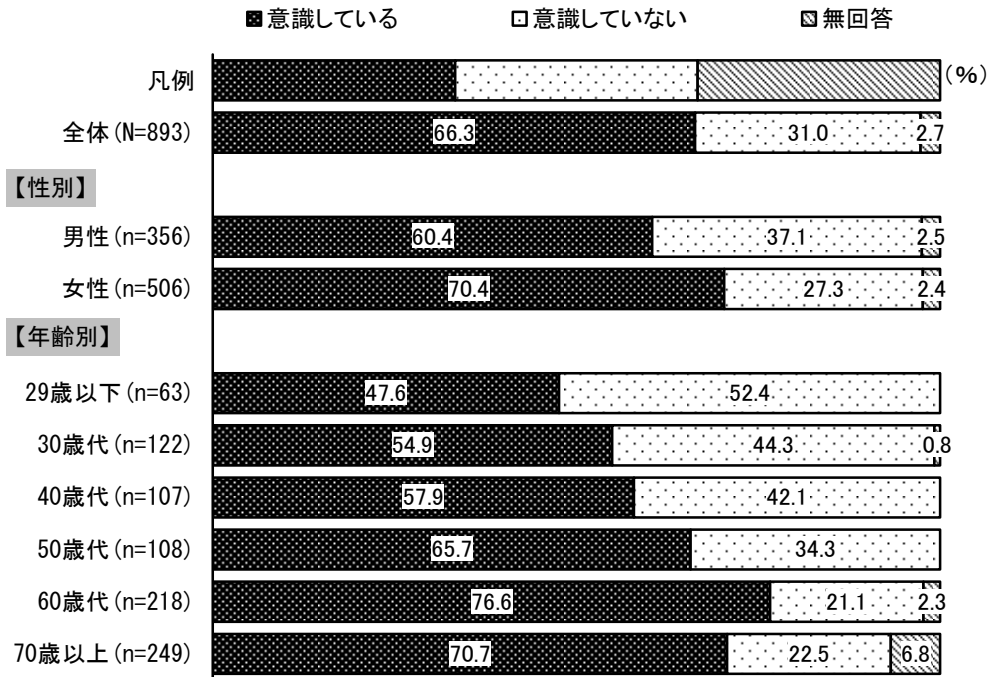
前回調査に比べ大きな差は目立たない。



## 24. 農産物購入時の地元産意識

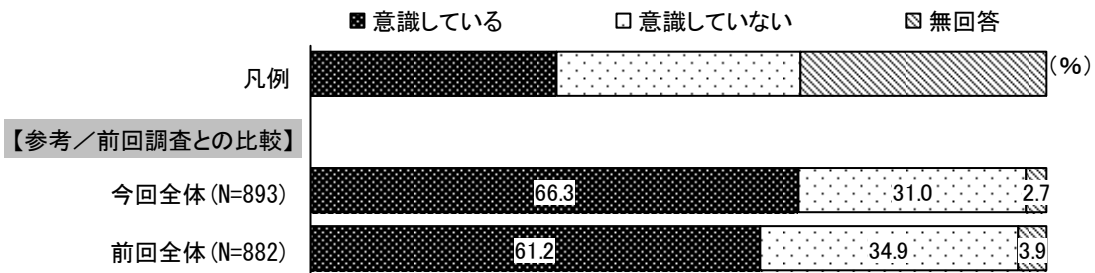
(24) あなたは、農産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか。

農産物購入時の地元産意識については、66.3%が「意識している」と回答している。性別では女性、年齢別では年齢が上がるほど多くなる傾向がみられる。



### 【前回調査との比較】

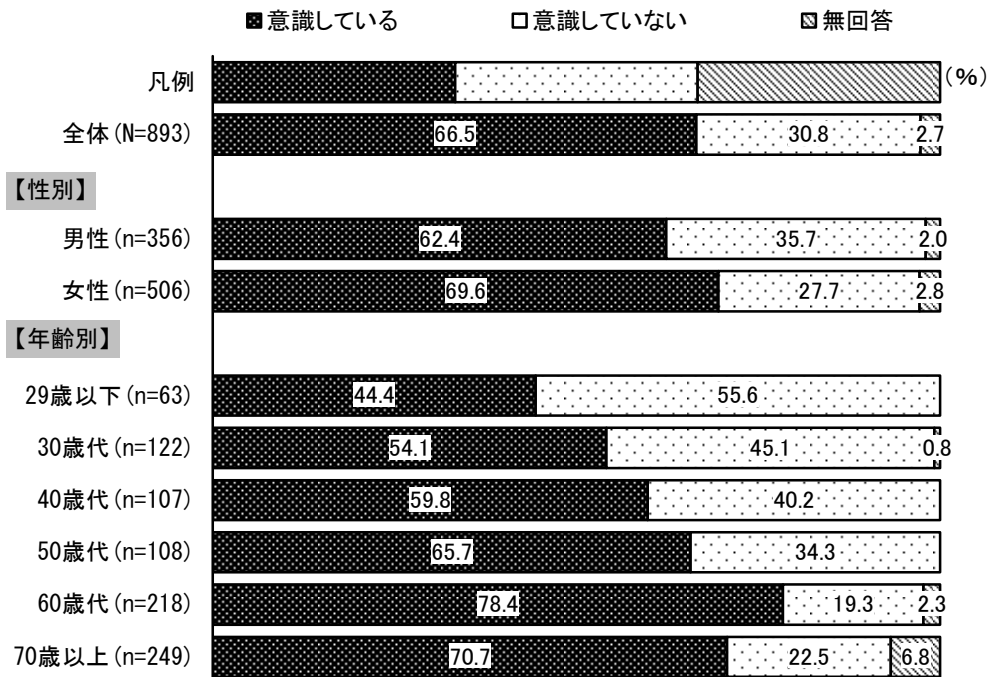
前回調査に比べ「意識している」は増加している。



## 25. 水産物購入時の地元産意識

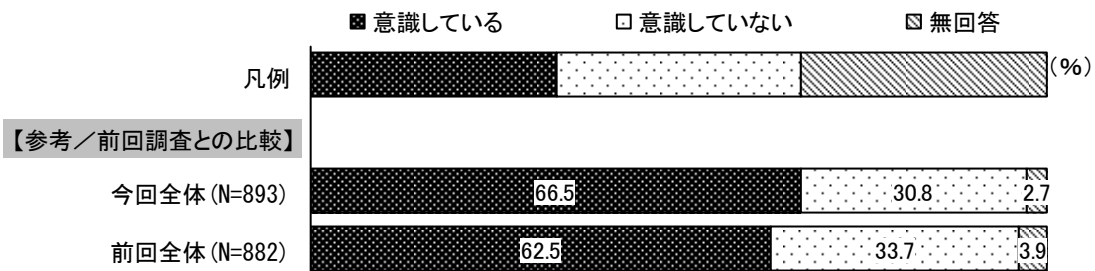
(25) あなたは、水産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか。

水産物購入時の地元産意識については、66.5%が「意識している」と回答している。性別では女性、年齢別では年齢が上がるほど多くなる傾向がみられる。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ「意識している」はやや増加している。



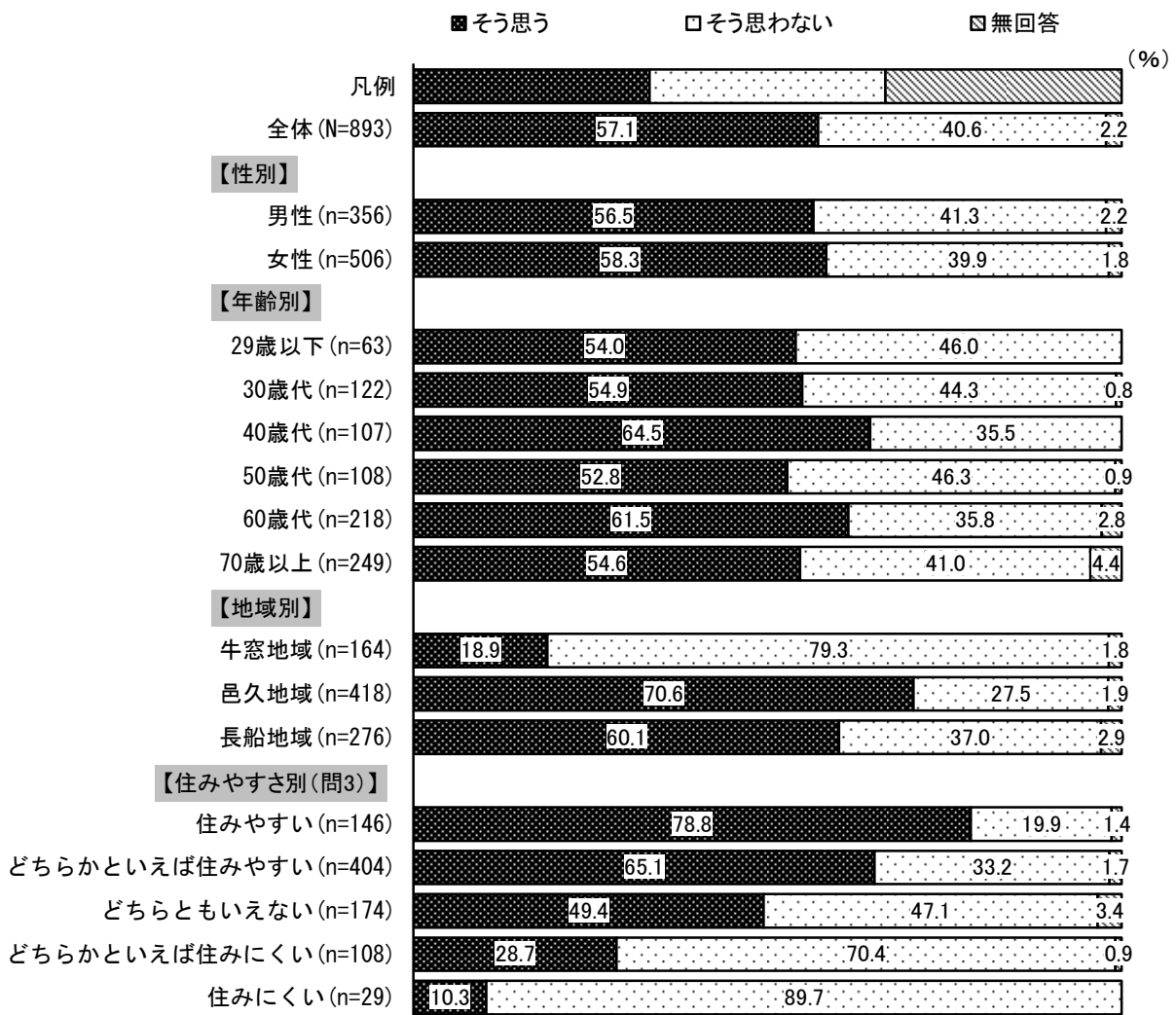
26. 日常生活品の買い物のしやすさについて

(26) あなたは、瀬戸内市は日常生活品の買い物がしやすいまちだと思いますか。

日常生活品の買い物のしやすさについては、57.1%が「そう思う（買い物がしやすいまちだと思う）」と回答しているが、「そう思わない」も40.6%みられた。

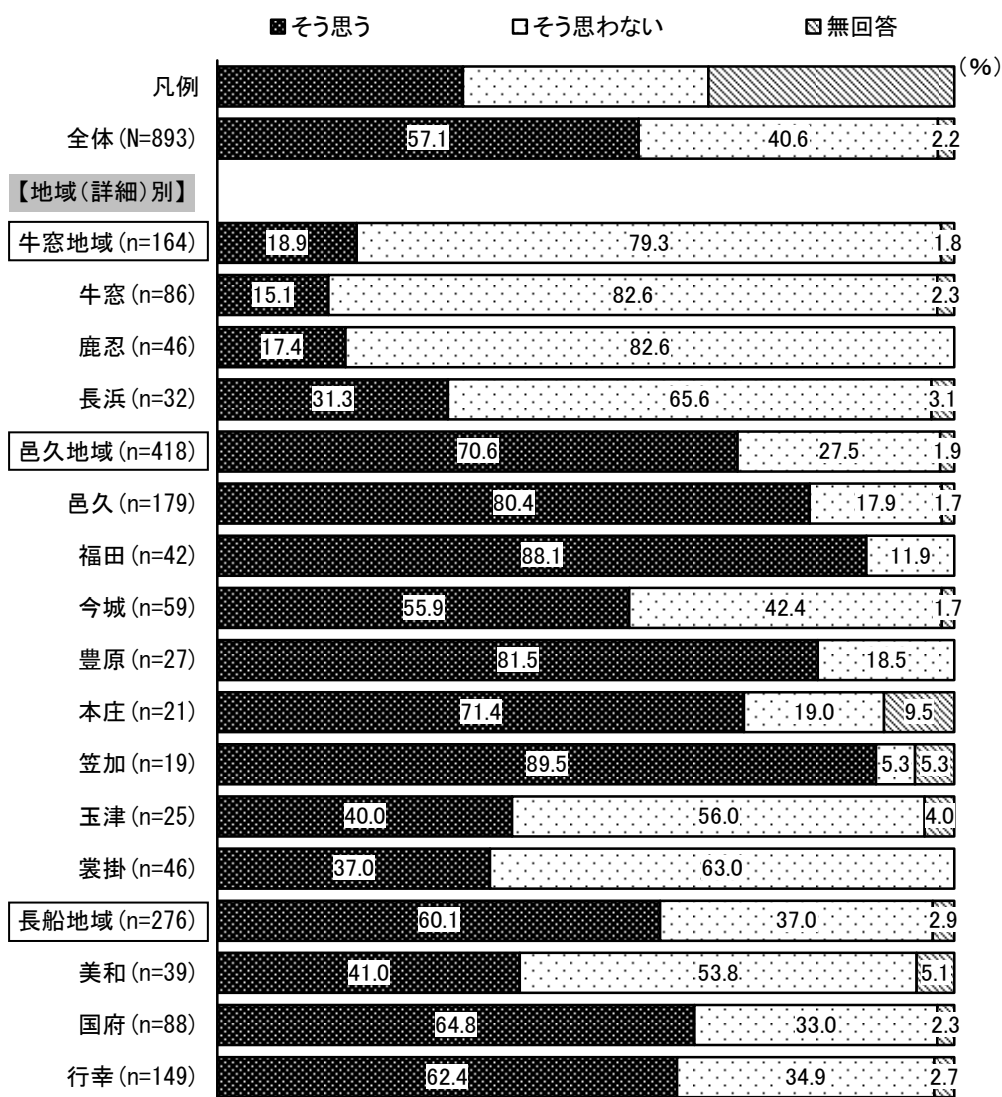
性別では大きな男女差は目立たないが、年齢別では40歳代及び60歳代で「そう思う」が多くみられる。地域別では、牛窓地域において「そう思わない」が「そう思う」を大きく上回っている。

また住みやすさ別では、住みやすい評価層ほど「そう思う」への回答が多い傾向にあり、相関がみられる。



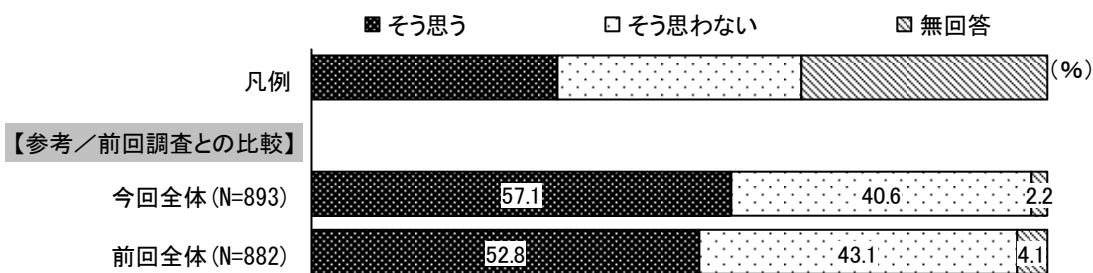


さらに、地域別を詳細にみると、特に福田、笠加などで「そう思う」が多いことが目立っているが、牛窓、鹿忍では「そう思わない」が多くなっており、地域差が顕著にみられる。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ「そう思う」は増加している。

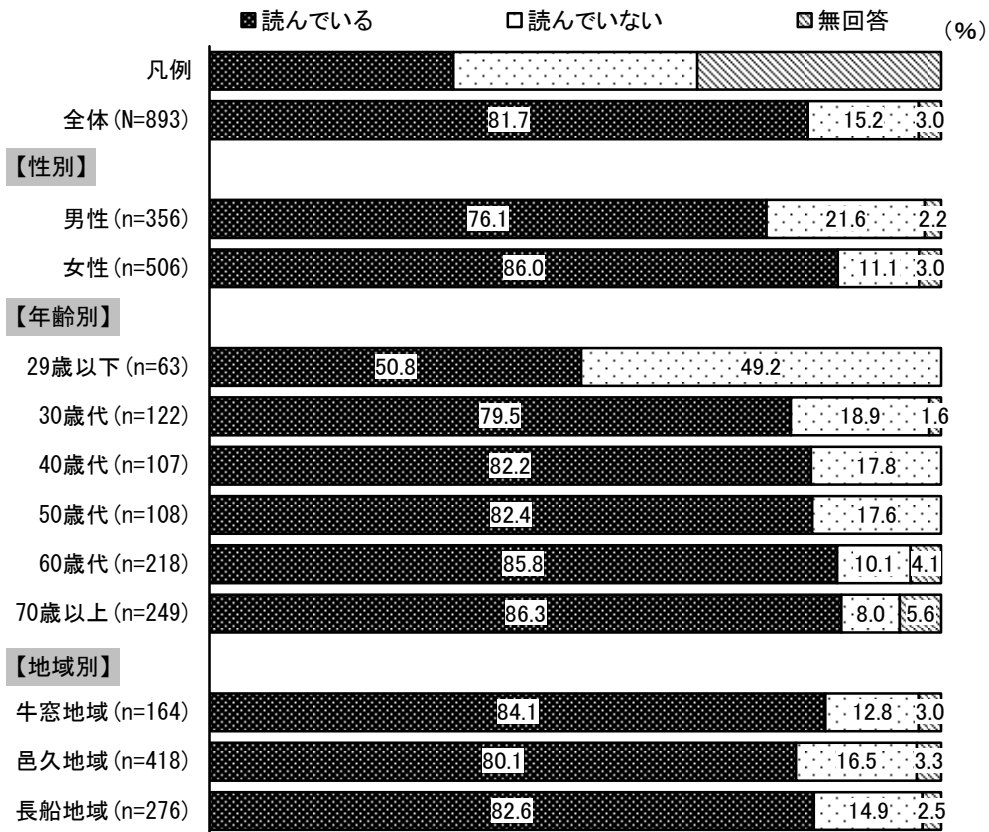


## 27. 「広報せとうち」購読状況

(27) あなたは、「広報せとうち」を読んでいますか。

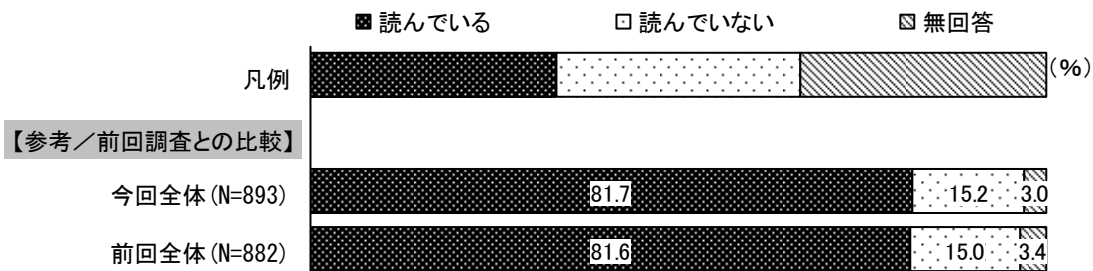
「広報せとうち」購読状況については、81.7%が「読んでいる」と回答している。性別では女性、年齢別では30歳以上の各年齢層において大半が「読んでいる」と回答している。

地域別による大きな差は目立たない。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ大きな差は目立たない。

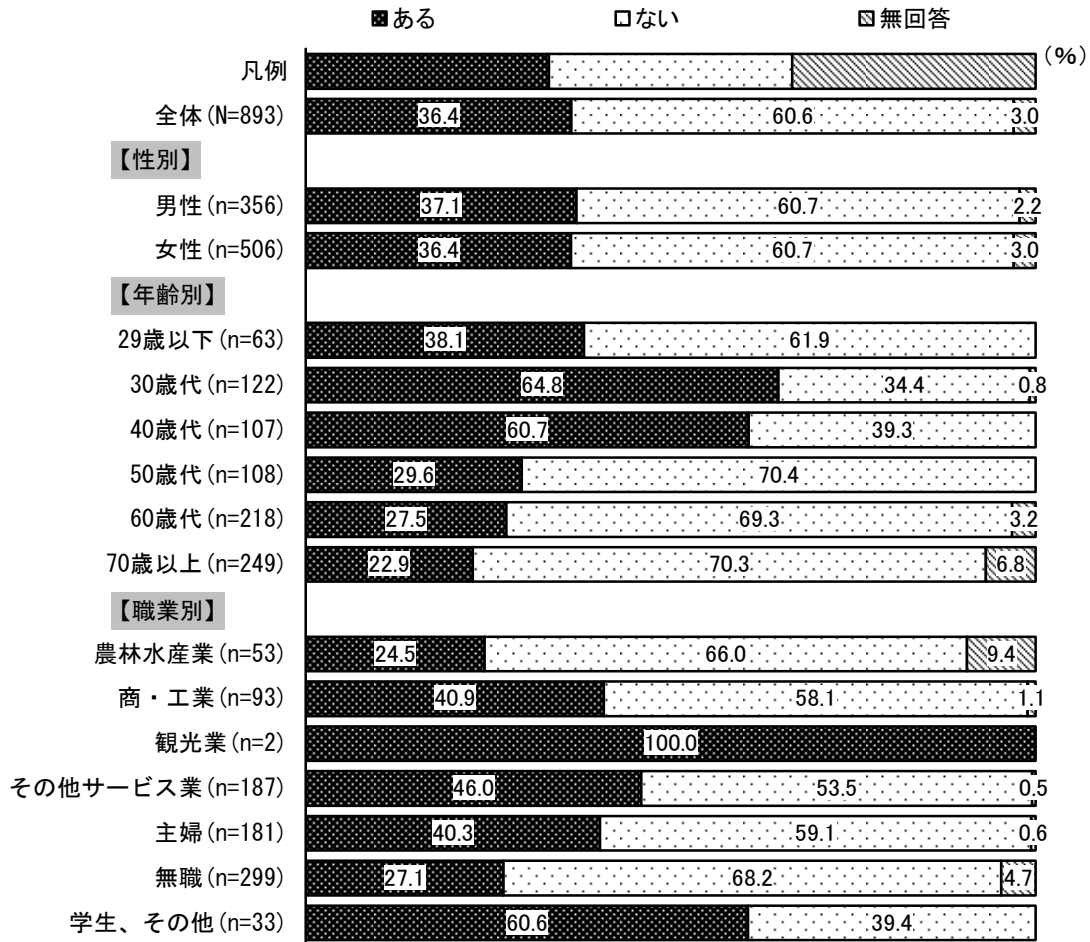


## 28. 瀬戸内市のホームページ閲覧状況

(28) あなたは、瀬戸内市のホームページを見たことがありますか。

瀬戸内市のホームページ閲覧状況については、36.4%が「ある」と回答している。

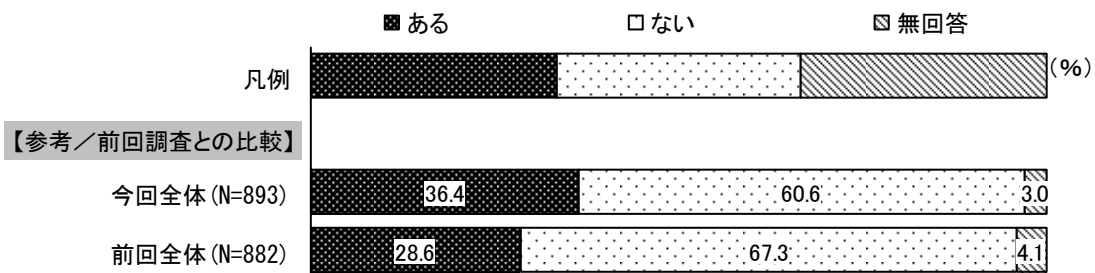
性別では大きな男女差は目立たないが、年齢別では30～40歳代、職業別では学生、その他において多くみられる。



注:「観光業」は母数(n)が少ないため参考値として参照

### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ「ある」は増加している。



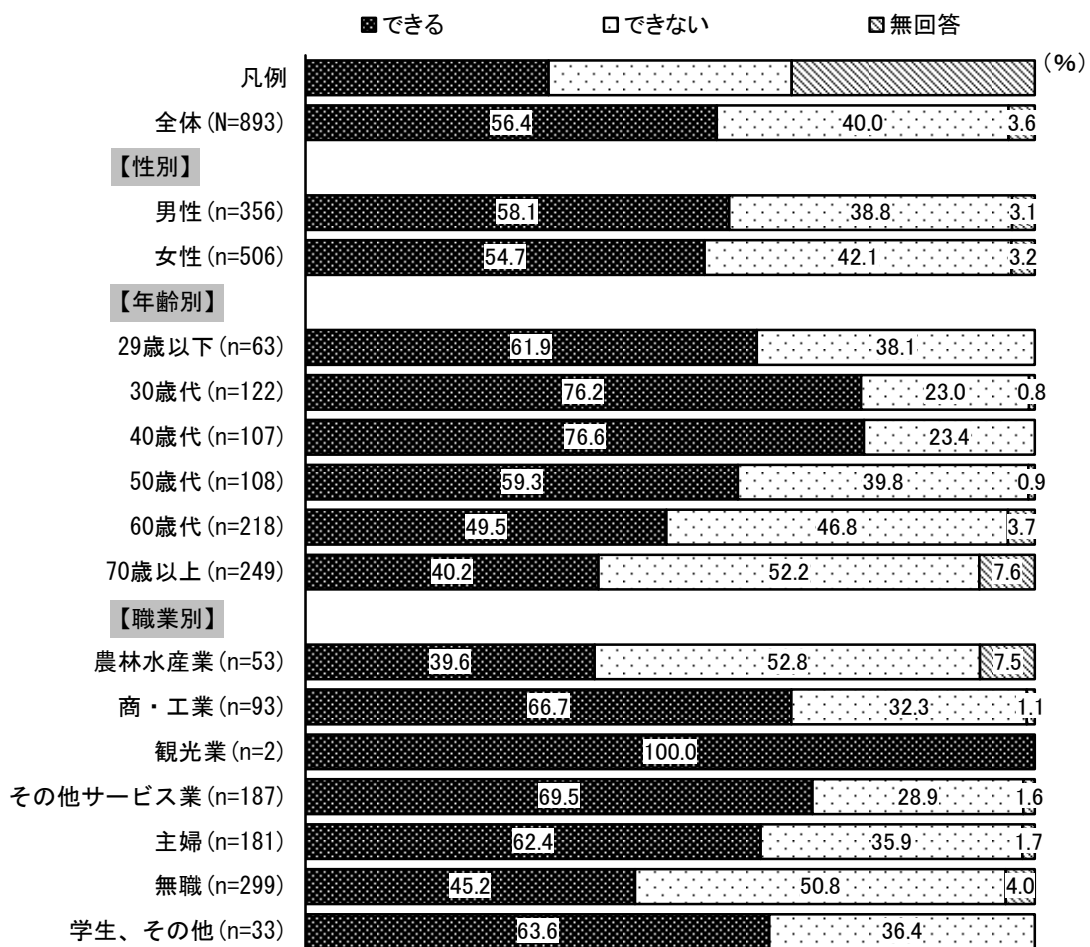
## 29. 広報紙やホームページによる市の情報入手

(29) あなたは、広報紙やホームページで必要な市の情報を手に入れることができますか。

広報紙やホームページによる市の情報入手については、56.4%が「できる」と回答している。

性別では男性、年齢別では30～40歳代、職業別では商・工業、その他サービス業、主婦、学生、その他において多くみられる。

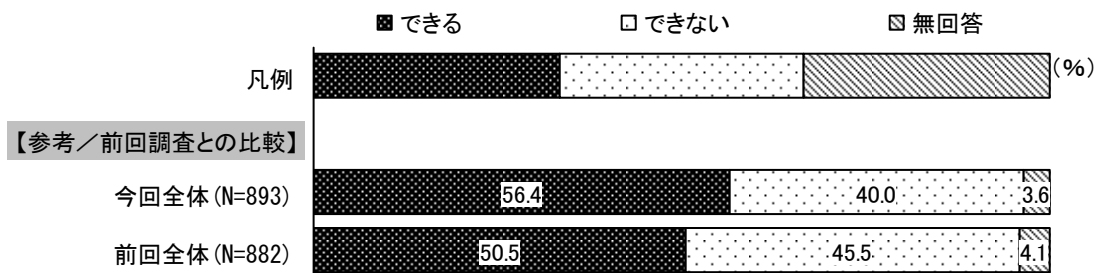
また、50歳以上の年齢層では、年齢が上がるほど「できない」が多くなる傾向にあるとともに、29歳以下でも「できない」が比較的多くなっている。



注:「観光業」は母数(n)が少ないため参考値として参照

### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ「できる」は増加している。



### 30. 市政への関心

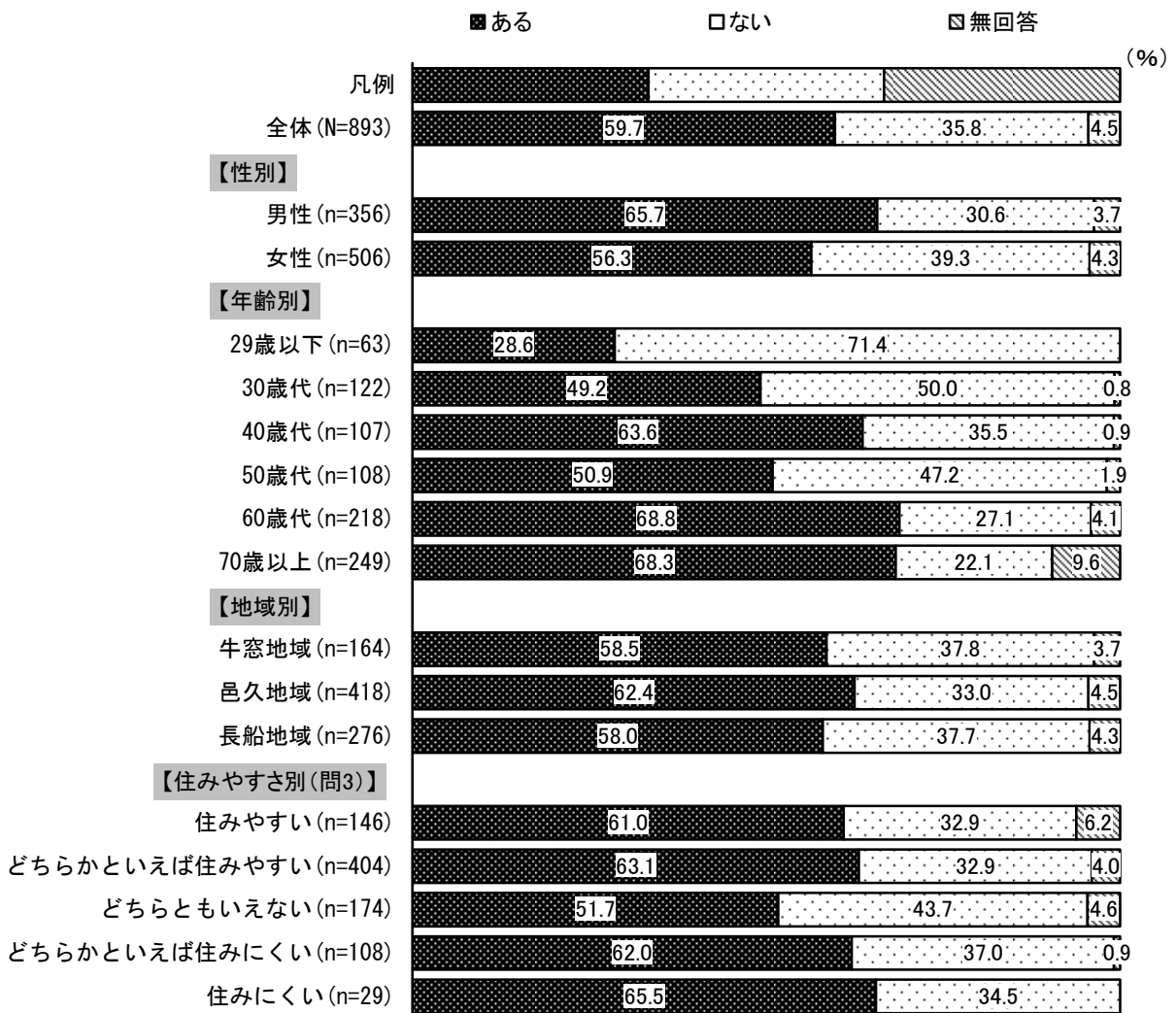
(30) あなたは、市政に関心がありますか。

市政への関心については、59.7%が「(関心が) ある」と回答している。

性別では女性に比べて男性で「ある」が多くみられる。

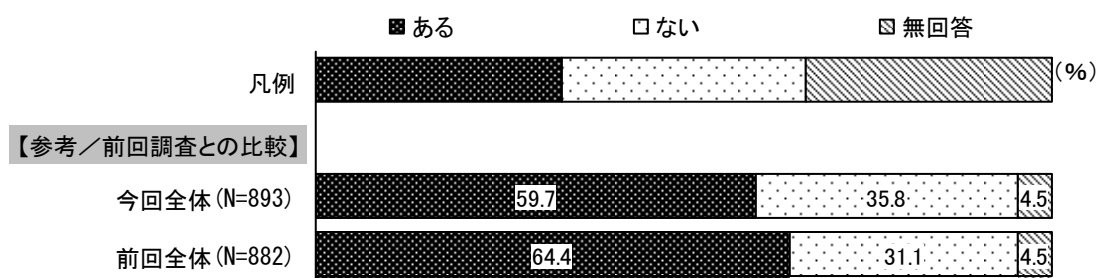
年齢別では29歳以下では「ある」は相対的に少なく、また地域別による大きな差は目立たない。

住みやすさ別では、どちらともいえないと評価する層で「ある」の回答がやや少ないが、住みやすさ意識による大きな差は目立たない。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ「ある」はやや減少している。



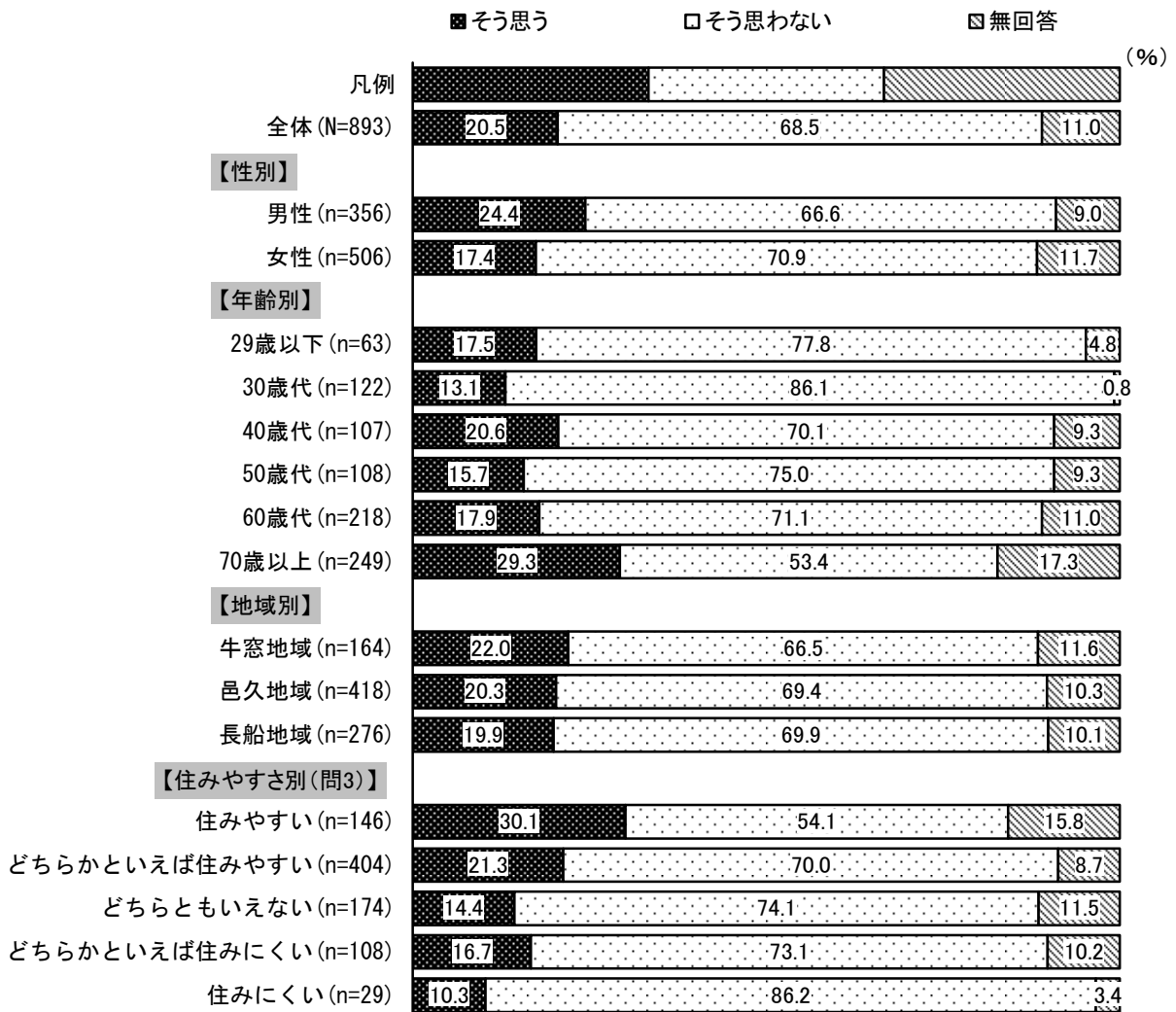
### 31. 市の財政改善状況について

(31) 広報紙やホームページを通じて市の財政状況を公表していますが、あなたは、市の財政が改善されていると思いますか。

市の財政改善状況については、20.5%が「そう思う」と回答している。

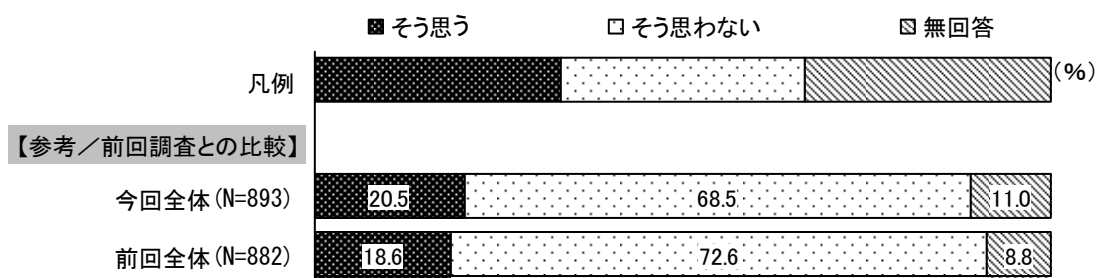
性別では男性、年齢別では70歳以上などにおいて「そう思う」回答が比較的多くみられる。

また、住みやすい評価層ほど「そう思う」が多い傾向にある。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ大きな差は目立たない。

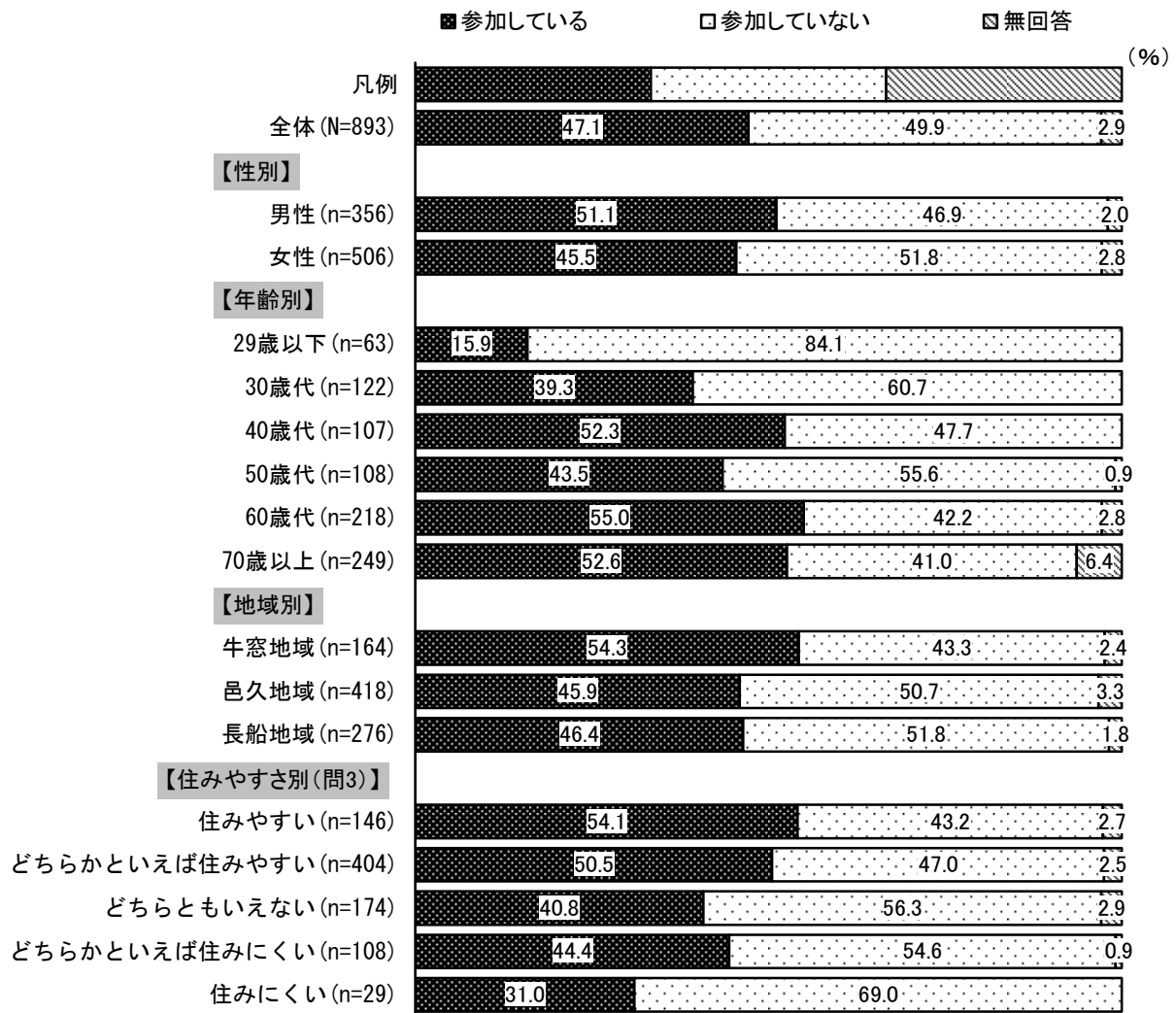




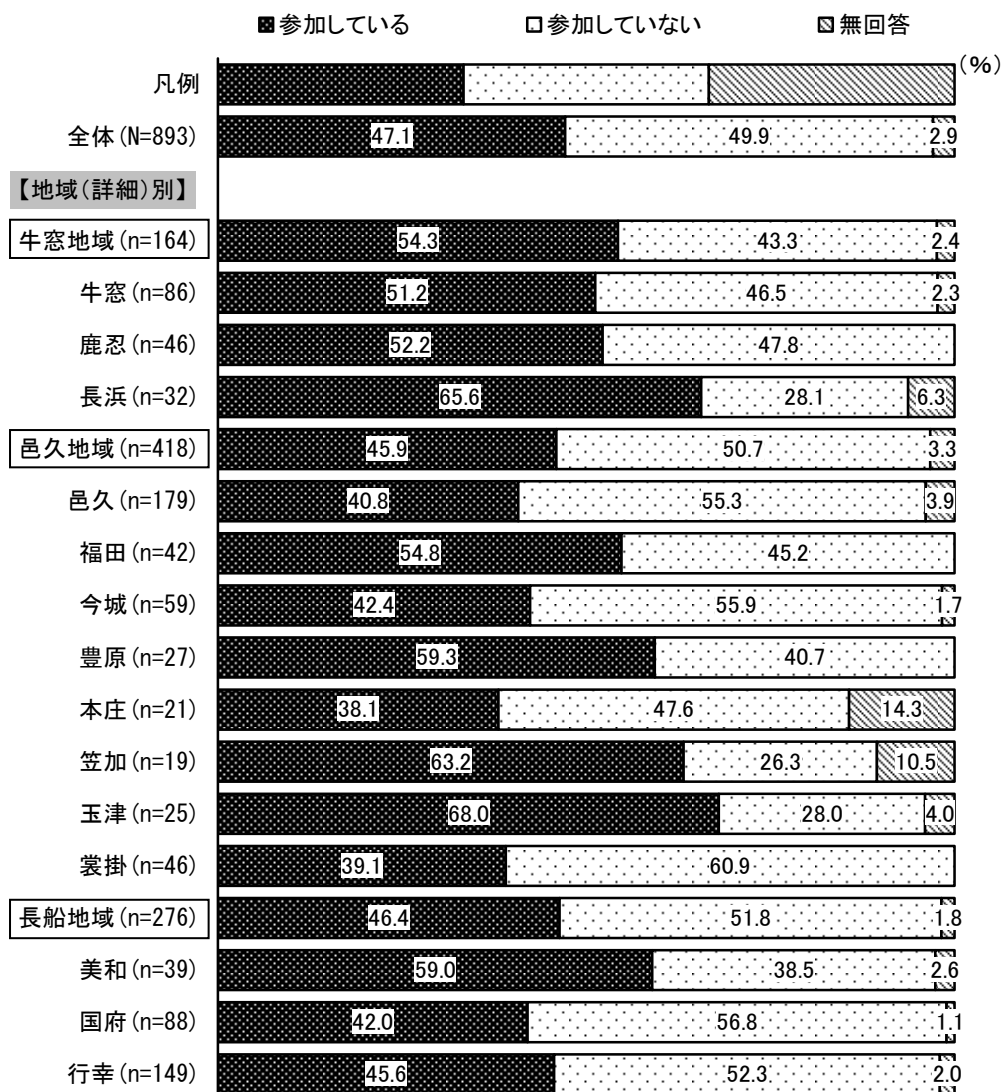
### 32. 地域コミュニティ活動参加状況

(32) あなたは、自治会などでの地域のコミュニティ活動に参加していますか。

地域コミュニティ活動参加状況については、47.1%が「参加している」と回答している。性別では男性、年齢別では40歳代や60歳代以上において過半数を占め多くみられ、一方、29歳以下では「参加していない」が大半を占める。また、住みやすい評価層ほど「参加している」が多い傾向にある。

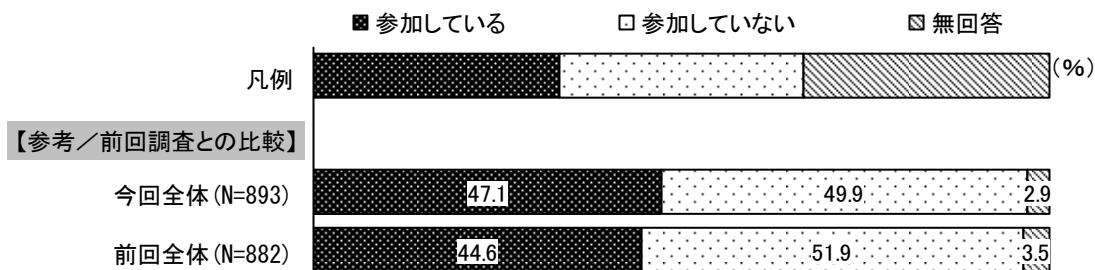


さらに、地域別を詳細にみると、特に長浜、豊原、笠加、玉津などで「参加している」が多いことが目立っている。



**【前回調査との比較】**

前回調査に比べ「参加している」はやや増加している。



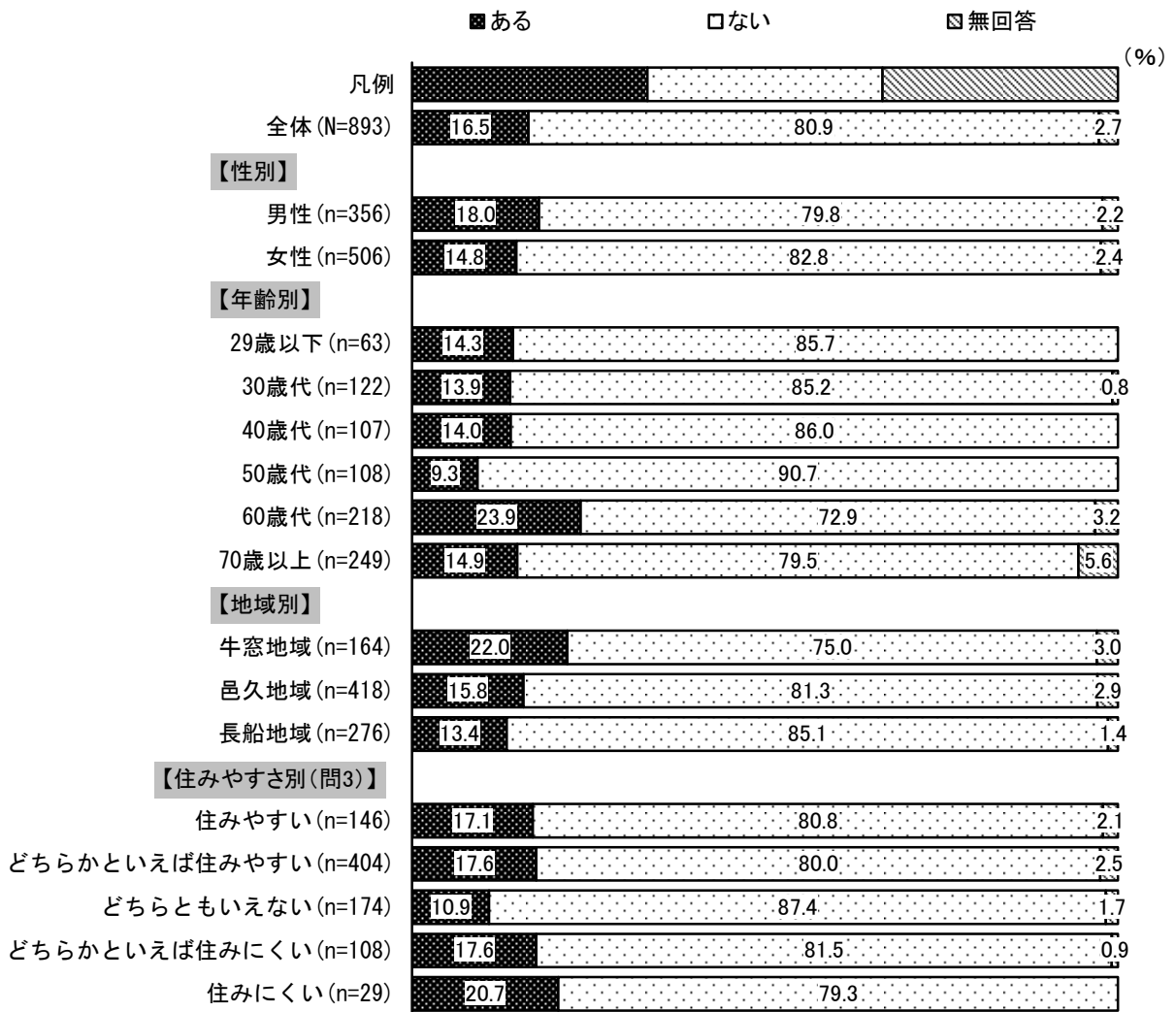
### 33. ボランティア・NPO活動参加経験

(33) あなたは、過去1年間にボランティア、NPO活動に参加したことがありますか。

ボランティア・NPO活動参加経験については、「(参加したことが)ある」への回答は16.5%であった。

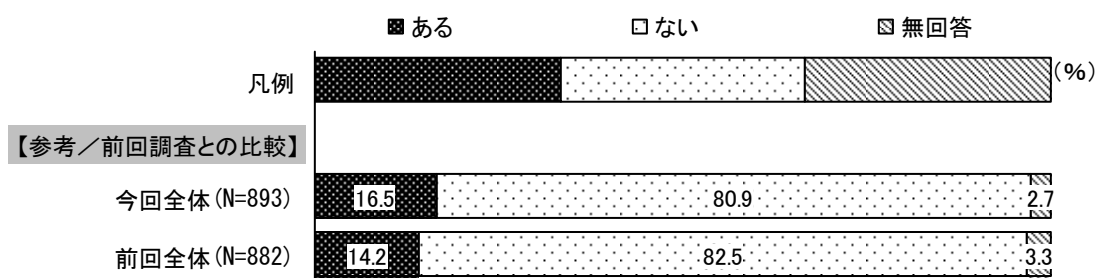
性別では男性でやや多く、年齢別では60歳代において多い。

地域別では、牛窓地域でやや多く、住みやすさ別による顕著な差は目立たない。



### 【前回調査との比較】

前回調査に比べ大きな差は目立たない。



#### 【4】自由意見

現在もしくは将来に向けての市の行政やまちづくりにご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

自由記述欄では、1人の方が複数の意見を記入している場合は分割するなどして、総計500件を超える意見がみられた。以下は、それらの内容を項目ごとに整理・分類したものである。

最も多かった意見は、「NO9. 質の高い医療が受けられるまち」と「NO19. 便利で快適な道路が通ったまち」についてが各34件、次いで「NO17. 活力を生み調和のとれた土地利用を進めるまち」(33件)、「NO34. 商業の経営の安定化に取り組むまち」(31件)、「NO21. 自由に行き来できるまち」(28件)、「NO39. 市民ニーズに答える市役所があるまち」(27件)、「NO38. 透明で聞かれた市役所があるまち」(26件)、「NO18. 住んでみたい・住み続けたいと思える住宅があるまち」(24件)、「NO28. 防災意識の高いまち」(23件)などの順となっており、市政全体と医療、ハード整備と災害対策、経済の活性化などが上位に上がっている。

一方、「NO31. 消費者を守り育てるまち」「NO33. 水産業に活力が生まれるまち」に関する回答はみられなかった。

【フリーアンサー集約結果】

施策大綱	分類NO	施策	今後の主な取組（略表記）	回答件数
未来に輝く文化の創造	1	みんなの思いやりがあふれるまち	人権教育・人権啓発	1
	2	子どもが楽しく学び成長が実感できるまち	学校教育	14
	3	子どもの成長をみんなで見守るまち	家庭教育	2
	4	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	生涯教育	8
	5	スポーツを通じ健やかに暮らせるまち	スポーツ活動の場と機会	6
	6	国際社会にはばたく人を育むまち	国際理解のための学習機会	1
	7	歴史や文化を大切にするまち	文化財の保護と保存	3
健やかでいきいきとした暮らしの実現	8	健やかに暮らせるまち	健康づくり活動への理解と意識啓発	4
	9	質の高い医療が受けられるまち	医療体制の充実	34
	10	安心して笑顔で子育てできるまち	子育て家庭への情報提供・相談体制	19
	11	働きながらでも安心して子育てできるまち	保育サービス	4
	12	高齢者が元気なまち	高齢者の社会参加	9
	13	いくつになっても安心して暮らせるまち	ニーズに合った介護・福祉サービス	15
	14	障害者がいきいきと暮らせるまち	障害者の自立支援	6
	15	生活に困難を覚える人が自立できるまち	生活困窮者の自立支援	5
	16	地域ぐるみで支えあうまち	地域福祉	5
安全・安心して快適な暮らしの実現	17	活力を生み調和のとれた土地利用を進めるまち	土地利用の促進	33
	18	住んでみたい・住み続けたいと思える住宅があるまち	定住促進	24
	19	便利で快適な道路が通ったまち	道路整備	34
	20	河川・海岸・港湾が整備された安心なまち	河川の改修	5
	21	自由に行き来できるまち	公共交通機関の利用促進	28
	22	便利な情報ネットワークがあるまち	行政手続きにおけるオンライン化の促進	6
	23	安全で良質な水が飲めるまち	上水道の整備	6
	24	きれいな水を未来へ渡すまち	下水道の整備	6
	25	環境に配慮したまち	ゴミの減量	12
	26	人と地球にやさしいまち	新エネルギーの導入	4
	27	光輝く自然・まちなみが残るまち	自然景観の保存	6
	28	防災意識の高いまち	防災・災害の防止	23
	29	交通事故がないまち	交通安全教育・啓発	6
	30	地域みんなで防犯に力を入れているまち	市民の防犯意識	8
	31	消費者を守り育てるまち	消費者教育の実施	0
魅力ある観光都市の創出	32	農林業にやりがいを見出すまち	農業後継者の確保と集落営農組織の育成	7
	33	水産業に活力が生まれるまち	獲る漁業から育てる漁業への転換	0
	34	商業の経営の安定化に取り組むまち	買物環境の創出	31
	35	工業が進出しやすく経営が安定するまち	企業間の相互連携	13
	36	雇用・労働環境が整ったまち	雇用機会の創出	9
	37	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のある観光	16
（※）市民と協働	38	透明で聞かれた市役所があるまち	市民公聴会の実施	26
	39	市民ニーズに答える市役所があるまち	財政のスリム化	27
	40	みんなが知恵を出しあい助けあうまち	NP0等市民活動の支援	2
	41	その他	その他	35
			合計	503

（※）市民と市役所が協働で進める自主自立した都市の実現